

特216  
413



始





特

413

岐阜市  
稲葉郡  
用排水普通水利組合諸規程





目次  
規約、諸規程

岐阜市 稲葉郡 用排水普通水利組合規約	.....	一
岐阜市 稲葉郡 用排水普通水利組合議規則	.....	一四
岐阜市 稲葉郡 用排水普通水利組合傍聽人取締規則	.....	二〇
岐阜市 稲葉郡 用排水普通水利組合給與規程	.....	二一
岐阜市 稲葉郡 用排水普通水利組合有給吏員退隱料退職給與金及遺族扶助料支給規程	.....	二五
岐阜市 稲葉郡 用排水普通水利組合處務規程	.....	二七
岐阜市 稲葉郡 用排水普通水利組合事務代決規程	.....	二九
岐阜市 稲葉郡 用排水普通水利組合會計規程	.....	三一
岐阜市 稲葉郡 用排水普通水利組合有給吏員納金收入規程	.....	三五
岐阜市 稲葉郡 用排水普通水利組合公告式規則	.....	六五
岐阜市 稲葉郡 用排水普通水利組合協議員選任ノ件	.....	六六
岐阜市 稲葉郡 用排水普通水利組合縣營境川排水事業費寄附金負擔歩合ノ件	.....	六六
岐阜市 稲葉郡 用排水普通水利組合境川排水改良事業費負擔ノ件	.....	六七
岐阜市 稲葉郡 用排水普通水利組合排水機補償費支辨及用地買收ノ件	.....	六七

訓令



市町村其ノ他ノ公共団体ニ於ケル地租・特別地稅等ノ附加稅及反別割等ノ  
制限外課稅許可稟請書ニ添付書類ノ件……………六八

告 示

岐阜市 稲葉郡 用排水普通水利組合設置區域指定……………七七  
岐阜市 稲葉郡 用排水普通水利組合管理者指定……………八〇  
縣費(改良費ノミ)支辨河川ニ編入ノ件……………八〇

法 令

水利組合法……………一  
水利組合法ニ依リ豫算調製ノ式及費目流用其ノ他財務ニ關スル件……………二二  
水利組合會議員ノ資格及組合費賦課ノ資料調査方ノ件……………三一  
水利組合吏員服務紀律……………三一  
附府縣郡吏員服務紀律……………三一  
水利組合吏員賠償責任及身元保證令……………三二  
水利組合條例施行ノ件……………三四  
水利組合法施行ニ關スル手續……………三四  
選舉錄樣式……………三七  
水利組合法第八十條ニ依ル命令ノ件……………四五  
水利組合法豫算編成ニ關スル件……………四六

土木工事取締規則……………四六  
土木工事取締規則ニ據リ提出スル願書ニ關スル件……………五〇  
堰埭竝水路設置ニ關スル書類進達方ノ件……………五〇  
縣稅土木費支辨規則……………五二  
土木費補助規則……………五三  
土木補助規則施行細則……………六五  
樋管工事設計ニ關スル件……………七三  
土木受負規則……………七六



岐阜市 稻葉郡 用排水普通水利組合規約

大正十五年六月七日設定

(沿革) 大正十五年七月十日組合告示第十四號、昭和二年一月十一日組合告示第一號、昭和二年三月十七日組合告示第九號

第一章 總 則

第一條 本組合ハ 岐阜市 稻葉郡 用排水普通水利組合ト稱ス

第二條 本組合ニ於テ施行スル事業左ノ如シ

- 一、長良、木曾兩川間本組合地域ニ關係ノ木曾川上流改修工事附帶事業又ハ縣營トシテ行ハル、境川放水境川ニ敷設シアル樋管ノ改廢荒田川上流、中流、下流大江川、論田川ノ工事及之ニ附隨スル事業費ノ負擔竝ニ之ニ伴フ施設維持ニ必要ナル事業
- 二、他ノ組合ト聯合シテ前號ノ事業ヲ行フコト
- 三、本組合ニ利益アル事業ニ對シ補助又ハ寄附ヲ爲スコト

第三條 本組合ノ區域ハ左ノ如シ

岐阜 市	全部	但シ長良川堤外ヲ除ク
稻葉郡 加納町	全部	
同 郡 本莊村	全部	
同 郡 三里村	全部	
同 郡 鏡島村	全部	但シ長良川堤外ヲ除ク



稻葉郡市橋村	全部	但シ長良川堤外ヲ除ク
同 郡日置江村	全部	但シ長良川及境川堤外ヲ除ク
同 郡佐波村	全部	但シ境川堤外ヲ除ク
同 郡鶉村	全部	但シ境川堤外ヲ除ク
同 郡茜部村	全部	但シ境川堤外ヲ除ク
同 郡厚見村	全部	但シ大字羊島及大字東中島ヲ除ク
同 郡南長森村	全部	
同 郡北長森村	全部	
同 郡那加村ノ内	左記以西全部	
元新加納村外六ヶ所入會地	二五一番	二五〇番
二四七番	五一八番	二四九番
字影野	五番	一三番
大字前洞字甥田	三、七〇九番	三、七一四番
三、七二三番	三、七二八番	三、七二〇番
大字前洞字巾下	三、四六八番	三、四六六番
三、四七四番	三、四六〇番	三、四五七番
三、四五八番	三、四五六番	三、二九八番
三、二九九番	三、三〇二番	三、三〇三番
三、三〇八番	三、二六九番	三、二六七番
		三、二六八番
		三、〇八六番

三、二六六番	三、二六五番	三、〇八二番	三、〇八三番	三、〇八五番
三、〇七五番	三、〇七三番	三、〇七二番	三、〇七二番	
大字前洞字濱井場	一、一八五番	一、一九五番	一、一九二番	一、一九四番
一、一九三番	一、一八六番	一、一八六番	一、一八八番	一、一八四番
大字前洞字金附	九九〇番	九九一番	九九六番	九九八番
九九九番				
大字前洞字東野	一一番	一二番	八番	九番
一一三番				
同 郡蘇原村ノ内	左記以西全部			
大字大島字サナブリ	一一三〇番	一二五番	一二四番	一二三番
一二二番	一一二番	一一九番	一一七番	一一六番
一一三番	一一〇番	一〇九番		
大字大島字西島	四番、七番、六番、二〇番、二二番、二四番、二三番			

第二章 組合會ノ組織及選舉

第四條 組合會議員ハ六十四人トシ選舉區ノ數及其ノ區域竝各選舉區ヨリ選出スル議員數ヲ左ノ如ク定ム

- 第一區 岐 阜 市 三十人
- 第二區 稻葉郡加納町 一人



第三區	同	郡本莊村	一人
第四區	同	郡三里村	四人
第五區	同	郡鏡島村	三人
第六區	同	郡市橋村	四人
第七區	同	郡日置江村	三人
第八區	同	郡佐波村	四人
第九區	同	郡鶉村	三人
第十區	同	郡茜部村	三人
第十一區	同	郡厚見村	二人
第十二區	同	郡南長森村	二人
第十三區	同	郡北長森村	二人
第十四區	同	郡那加村	一人
第十五區	同	郡蘇原村	一人

第五條 本組合員ニシテ左ノ要件ヲ具備スル者ハ組合會議員ノ選舉權ヲ有ス但シ禁治產者準禁治產者一定ノ住居ヲ有セサル者、貧困ニ依リ生活ノ爲公私ノ救助ヲ受ケ又ハ扶助ヲ受クル者及六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ハ此限ニ在ラス

一、帝國臣民タル男子ニシテ滿二十五年以上ノ者

二、組合區域内ニ於テ選舉人名簿調製期日前滿一ケ年以上土地ヲ有シ尙引續キ有スル者家督相續ニ依リテ取得シタル土地ニ付テハ被相續人ノ有シタル年限ヲ通算ス

共有者其ノ共有ノ土地ニ付前二項ニ該當スルトキハ選舉人名簿調製期日後三日以内ニ共有者連署ノ届出ニ依リ總代人一人ヲ限リ選舉權ヲ有セシム

但シ前二項ニ依リ選舉權ヲ有スル者ハ共有地ニ付選舉權ヲ有セス

第六條 選舉權ヲ有スル者租稅滯納處分中ハ其ノ選舉權ヲ停止ス

破産ノ宣告ヲ受ケ其ノ確定シタルトキヨリ復權ノ決定確定スル迄又禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタルトキヨリ其ノ刑ノ執行ヲ終リ又ハ其ノ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄亦同シ

陸海軍ノ現役ニ服スル者(未タ入營セサル者及歸休下士官兵ヲ除ク)ハ選舉ニ參與スルコトヲ得ス現役以外ノ兵役ニ在ル者ニシテ戰時又ハ事變ニ際シ召集中ノ者亦同シ

第七條 選舉人ハ左ノ區分ニ依リ其ノ選舉區ニ屬ス

- 一、選舉區内ニ土地及住所ヲ有スル者ハ其ノ住所地ノ選舉區トス
- 二、前號以外ノ者ハ其ノ所有土地所在地ノ選舉區トシ選舉人名簿調製期日後三日以内ニ本人ノ届出ニ依ル

第八條 組合費ヲ賦課セサル土地ハ第五條第七條ノ要件ニ算入セス

第九條 選舉權ヲ有スル組合員ハ被選舉權ヲ有ス但シ左ニ掲タル者ハ此ノ限ニ在ラス

- 一、所屬縣ノ官吏及有給吏員
- 二、所屬市町村及組合ノ有給吏員
- 三、在職檢事、警察官吏及收稅官吏
- 四、組合ノ爲メ工事ノ受負物件勞力其ノ他供給ノ契約若ハ金錢出納ノ取扱ヲ爲ス者又ハ組合ノ爲メ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ役員



第十條 組合會議員ハ名譽職トス

組合會議員ノ任期ハ四箇年トス

議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲新ニ選舉セラレタル議員ハ總選舉ニ依リ選舉セラレタル議員ノ任期滿了ノ日迄在任ス

第十一條 組合會議員中關員ヲ生シタルトキハ三ヶ月以内ニ補闕選舉ヲ行フヘシ但シ第二十條第二項ノ規定ニ依リ當選者トナラサリシ者アルトキハ直ニ其ノ者ニ就キ同條ニ據リ當選者ヲ定ムヘシ

補闕議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス

第十二條 管理者ハ選舉期日前三十日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ選舉人ノ資格ヲ記載セル選舉人名簿ヲ各選舉區毎ニ調製スヘシ

選舉人名簿ハ七日間毎日午前九時ヨリ午後四時迄關係者ノ縱覽ニ供スヘシ若シ關係者ニ於テ異議アルトキハ縱覽期限内ニ之ヲ管理者ニ申立ツルコトヲ得

前項ノ異議ハ管理者ニ於テ審査判定シ其ノ選舉人名簿ノ修正ヲ要スルモノハ確定期日迄ニ修正ヲ加ヘ直ニ其ノ要領ヲ告示スヘシ

選舉人名簿ハ選舉期日ノ前三日ヲ以テ確定ス

本條ニ依リ確定シタル名簿ハ其ノ確定シタル日ヨリ一箇年以内ニ於テ行フ選舉ニ之ヲ用フ

選舉人名簿調製後ニ於テ選舉期日ヲ變更スルコトアルモ其ノ名簿ニ依リ選舉ヲ行フ

確定名簿ニ登錄セラレサル者及登錄セラルルモ選舉權ヲ有セサルトキハ選舉ニ參與スル

コトヲ得ス

第十三條 選舉ヲ行フトキハ管理者ハ選舉ノ日ヨリ少クモ七日前ニ各選舉區ニ於ケル選舉會場投票日時及選舉スヘキ議員數ヲ告示スヘシ

投票時間内ニ選舉會場ニ入りタル選舉人ハ其ノ時間ヲ過クルモ投票ヲ爲スコトヲ得

第十四條 管理者又ハ管理者ノ要求ヲ受ケタル市町村長若ハ其ノ代理者ハ選舉長トナリ選舉會ヲ開閉シ會場ノ取締ニ任ス

管理者又ハ管理者ノ要求ヲ受ケタル市町村長若ハ其ノ代理者ハ臨時ニ選舉人中ヨリ二名乃至四名ノ選舉立會人ヲ選任スヘシ

選舉立會人ハ名譽職トス

第十五條 選舉人ノ外選舉會場ニ入ルコトヲ得ス但シ選舉會場ノ事務ニ從事スル者選舉會場ヲ監視スル職權ヲ有スル者又ハ警察官吏ハ此ノ限ニ在ラス

選舉會場ニ於テ演說討論ヲ爲シ若ハ喧擾ニ涉リ又ハ投票ニ關シ協議若ハ勸誘ヲ爲シ其ノ他選舉會場ノ秩序ヲ紊ルモノアルトキハ選舉長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ選舉會場外ニ退出セシムヘシ

前項ニ依リ選舉會場外ニ退出セシメタル者ハ最後ニ至リ選舉人名簿ノ對照ヲ經テ投票ヲ爲スコトヲ得但シ投票時間經過後ハ此ノ限ニ在ラス

第十六條 選舉ハ投票ニ依リ之ヲ行フ

投票ハ一人一票ニ限ル

選舉人ハ選舉ノ當日自ラ選舉會場ニ至リ選舉人名簿ノ對照ヲ經テ投票スヘシ



選舉人ハ選舉會場ニ於テ投票用紙ニ自ラ被選舉人一名ノ氏名ヲ記載シテ投票スヘシ  
投票用紙ニハ選舉人ノ氏名ヲ記載スルコトヲ得ス

自ラ被選舉人ノ氏名ヲ書スルコト能ハサル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ス  
投票用紙ハ管理者ノ定ムル所ニ依リ一定ノ式ヲ用ウヘシ

選舉人名簿ノ調製後選舉人ノ所屬選舉區ニ異動ヲ生スルコトアルモ其ノ選舉人ハ前所屬  
ノ選舉區ニ於テ投票ヲ行フヘシ

第十七條 増員選舉ト補闕選舉ト同時ニ行フ場合ニ於テハ一ノ選舉ヲ以テ合併シテ之ヲ行  
フ

第十八條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス

- 一、成規ノ用紙ヲ用ヒサルモノ
- 二、現ニ組合會議員ノ職ニアル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
- 三、一票中二人以上ノ被選舉人ヲ記載シタルモノ
- 四、被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ
- 五、被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルノ
- 六、被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ但シ爵位職業身分住所又ハ敬稱ノ類ヲ記  
入シタルモノハ此ノ限りニ在ラス
- 七、被選舉人ノ氏名ヲ自署セサルモノ

第十九條 投票ノ拒否及效力ハ選舉立會人ノ意見ヲ聽キ選舉長之ヲ決定スヘシ

第二十條 組合會議員ノ選舉ハ有效投票ノ最多数ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス

前項ニ依リ當選者ヲ定ムルニ當リ投票ノ數同シキトキハ年長者ヲ取り年齡同シキトキハ  
選舉長抽籤シテ之ヲ定ム

第二十一條 選舉長ハ選舉錄ヲ製シテ選舉ノ顛末ヲ記載シ選舉ヲ終リタル後之ヲ朗讀シ選  
舉立會人二名以上ト共ニ之ニ署名スヘシ

選舉錄ハ投票、選舉人名簿其ノ他關係書類ト共ニ議員ノ任期中之ヲ保存スヘシ

第二十二條 選舉ヲ終リタルトキハ選舉長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知シ同時ニ選舉錄  
ヲ添ヘ當選者ノ住所氏名ヲ管理者ニ報告スヘシ

當選者ニシテ當選ヲ辭セムトスルトキハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ管  
理者ニ申立ツヘシ

一人ニシテ數選舉區ノ選舉ニ當選シタルトキハ最終ニ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ五日  
以内ニ何レノ選舉區ニ應スヘキカヲ管理者ニ申立ツヘシ其ノ期間内ニ之ヲ申立テサル者  
ハ總テ其ノ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

第二十三條 組合會議員ノ當選ヲ辭シタル者アルトキ又ハ當選無効ト確定シタルトキ若ハ  
選舉ノ無効ニ屬シタルトキハ管理者ハ選舉期日ヲ定メ更ニ選舉ヲ行フヘシ

第二十四條 議員ノ定數ニ足ル當選者ヲ得ル能ハサルトキハ管理者ハ選舉期日ヲ定メ更ニ  
選舉ヲ行フヘシ

### 第三章 組合吏員ノ組織及選任

第二十五條 本組合ニ常設委員五名ヲ置ク



臨時委員ヲ置クノ必要アルトキハ其ノ時々組合會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム  
委員ハ組合員中組合會議員ノ被選舉權ヲ有スル者ニ就キ管理者ノ推薦ニ依リ組合會之ヲ  
選任ス

第二十六條 委員ハ名譽職トス

委員ノ任期ハ常設委員ハ二箇年トシ臨時委員ハ委員ヲ要スル事件終了ト共ニ解任スルモ  
ノトス但シ補闕ノ爲メ選任セラレタル常設委員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス  
委員ニシテ被選舉權ヲ有セサル者ハ其ノ職ヲ失フ其ノ被選舉權ニ關スル異議ハ組合會之  
ヲ決定ス

第二十七條 本組合ニ左ノ有給吏員ヲ置ク

主事	一名
書記	七名以內
技術員	七名以內
雇員	若干名

前項ノ外顧問又ハ囑託者ヲ置クコトヲ得

第四章 財務

第二十八條 組合ノ費用ハ財産ヨリ生スル收入其ノ他組合ニ屬スル收入ヲ以テ之ニ充テ尙  
不足スルトキハ別表ノ負擔歩合ニ依リ賦課ス但シ左記ノ土地ニ對シテハ之ヲ賦課セス  
岐阜市字達目洞全部

稻葉郡那加村

大字新加納外六ヶ所入會大字各務野ノ内

自 九四番	自 一〇五番	自 五一八番	自 五四三番	自 五六一番	自 六〇一番
至 九七番	至 二五二番	至 五二八番	至 五五〇番	至 五六四番	至 六〇九番

字山日向全部

大字新加納字稻荷、字各務野、字宮裏、字北巾、字町裏、字濱見塚、字大谷、字村内  
各全部

字坂下ノ内 一、九八九番ノ二 自一、九九一番 至二、〇〇一番

大字長塚字神畑、字奔下、字霜畑、字村中、字南山、字狐塚、字上リ戸各全部

大字更木新田各務野、字稻荷、字新田東、字林南、字古藪、字新田前各全部

字船橋ノ内 自七八番 至八一番

大字前洞字向野ノ内 二、五〇二番ノ一 二、五〇二番ノ二 自二、五〇三番ノ一 至二、五〇三番ノ一四

組合事業(本組合關係縣營業事業ヲ含ム)ノ爲必要ナル用地敷並ニ長良川改修工事ニ依リ其  
ノ堤敷又ハ堤外トナルコトノ決定シタル土地

第二十九條 本組合ハ其ノ必要ニ依リ夫役及現品ヲ組合員全部又ハ一部ニ賦課スルコトヲ  
得但シ學藝、美術及手工ニ關スル勞役ヲ課スルコトヲ得ス

夫役現品ハ急迫ノ場合ヲ除クノ外組合費賦課額ヲ標準トシ金額ニ算出シテ賦課スヘシ  
夫役ヲ課セラレタル者ハ其ノ便宜ニ從ヒ本人自ラ之ニ當リ又ハ適當ノ代人ヲ出スコトヲ  
得又夫役現品ハ急迫ノ場合ヲ除クノ外金錢ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得



第三十條 夫役現品ノ賦課ヲ受ケタル者定期内ニ其ノ履行ヲ爲サス又ハ夫役現品ニ代フル

金錢ヲ納メサルトキハ管理者ハ期限ヲ指定シテ督促スヘシ其ノ急迫ノ場合ニ賦課シタル

第三十一條 組合費其ノ他ノ收入金ヲ定期内ニ納付セサル者アルトキハ管理者ハ期限ヲ指

定シテ督促スヘシ  
本條及前條ノ督促ヲ爲ストキハ督促狀一通ニ付手数料金拾五錢ヲ徴收ス

組合區域外ニ在ル滯納者ニ對シテハ前項手数料ノ外脚夫ヲ以テスル場合ハ其ノ里程ニ應

第三十二條 水利組合法第五十四條ニ依リ區域内ノ市町村ニ於テ管理者ノ求ニ依リ組合費

其ノ他ノ收入ノ賦課徴收ヲ爲ストキハ之ニ對シテ徴收金百ノ分二ヲ其ノ市町村ニ交附ス

第三十三條 組合ノ事務ニ從事スル者ニ對シ手當、報酬、賞與、慰勞等ノ給與ヲ要スルト

第三十四條 財産ノ賣却、工事ノ請負及物件、勞力其ノ他ノ供給ハ競争入札ニ付スヘシ

附 則

本組合創立ノ當初ニ限リ第十二條ノ期日ヲ十五日トス

本規約ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

別表 負擔歩合

一、岐阜市千分ノ四百七十五、稻葉郡千分ノ五百二十五ノ割合ヲ以テ兩分シ岐阜市ハ  
耕宅地面積ニ百分ノ三十同地租及地租條例第十三條ノ二ニ依リ地租ヲ課セラレサル  
土地ニ對スル特別地稅ニ百分ノ七十ノ割合、稻葉郡ハ左ノ負擔歩合ニ依リ耕宅地面  
積ニ百分ノ七十同地租及地租條例第十三條ノ二ニ依リ地租ヲ課セラレサル土地ニ對  
スル特別地稅ニ百分ノ三十ノ割合ヲ以テ賦課ス

加納町	面積、地租、特別地稅額ノ百分ノ	二十五
本莊村	同	二十五
三里村	同	八十
鏡島村	同	八十
市橋村	同	八十
日置江村	面積、地租、特別地稅額ノ百分ノ	四十五
佐波村	面積、地租、特別地稅額ノ百分ノ	八十
鶉部村	同	七十五
厚見村	同	七十
南長森村	同	五十五



北長森村	大字岩戸ハ面積、地租、特別地稅額ノ百分ノ上百分ノ	七十五
那加村	其他ノ各大字ハ同	十三
蘇原村	面積、地租、特別地稅額ノ百分ノ上	十
同		十

- 二、市町村ノ區域變更アリタルトキハ其ノ部分ニ對スル負擔金ヲ計算シ前項ノ割合ヲ變更スルモノトス
- 三、本組合區域ニ關スル縣營工事完成シ組合ヘ引繼ヲ受ケタル後ノ維持費負擔歩合ハ享利ノ狀況ニ依リ更ニ協定スルモノトス
- 四、市町村其ノ他ヨリ特定ノ市町村ノ負擔ヲ輕減スヘキ指定寄附金アル場合ハ其ノ市町村ニ係ル組合費負擔金額中ヨリ該寄附金額ヲ控除シ賤課率ヲ定ムルコトヲ得

●岐阜市 稻葉郡 用排水普通水利組合會議規則 大正十五年六月二十六日

第一章 總 則

- 第一條 會議ハ午前九時ニ始メ午後四時ニ終ル但シ時宜ニ依リ議長之ヲ伸縮スルコトアルヘシ
- 第二條 會議ノ席次ハ總選舉後ノ初會ニ於テ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム但シ補闕議員ハ前任者ノ席次ニ依リ増加シタル議員ノ席次ハ末席トス其ノ數名アル場合ハ抽籤ニ依リ又減員ニ依

- ル空席アルトキハ之ヲ充當スルコトヲ得
- 第三條 會議規則ノ疑義其ノ他總テ會議中起リタル議題外ノ事件ハ議長之ヲ決ス但シ議長ハ會議ニ諮リ之ヲ決スルコトアルヘシ
- 第四條 議事ノ順序ハ議長之ヲ定ム但シ會議ノ決議ニ依リ其ノ順序ヲ變更スルコトヲ得
- 第五條 議長ハ議員着席後議案又ハ報告書ヲ配布スヘシ
- 第六條 議長ハ議事ニ先タチ諸般ノ事項ヲ報告シ然後會議ヲ開クコトヲ宣告スヘシ議長開議ノ宣告ヲ爲サル前及散會延會又ハ中止ヲ宣告シタル後ハ何人ト雖發言スルコトヲ得ス
- 第七條 議長ハ讀會ニ先タチ書記ヲシテ議案又ハ報告書ヲ朗讀セシムヘシ但シ會議ニ諮ヒ其ノ朗讀ヲ省略スルコトヲ得
- 第八條 議場ニ於テハ議長ハ其ノ職名ヲ呼ビ議員ハ其ノ席次番號ヲ稱フルモノトス

第二章 議 事

- 第一節 會議及讀會
- 第九條 凡ソ議案ハ三讀會ヲ經テ議決ス但シ議長ノ意見若ハ會議ノ決議ニ依リ其ノ順序ヲ省畧スルコトヲ得
- 選舉諮問又ハ決算報告ニ就テハ讀會ノ順序ヲ要セサルモノトス
- 第十條 第一讀會ニ於テハ議案ノ大體ヲ議シ其ノ議案ニ就キ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ決スヘシ



第二讀會ヲ開クヘカラスト決シタルトキハ其ノ議案ハ廢棄シタルモノト看做ス

第十一條 議員議案ニ付質問セムト欲スルトキハ第一讀會ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第十二條 第二讀會ニ於テハ議案ノ逐條（豫算案ハ一欸毎）ヲ審議スヘシ但シ議長ノ意見

ニ依リ數條數欸ヲ連結シ又ハ全部ヲ議題トシ若ハ分割シテ審議ニ付スルコトヲ得

第十三條 修正ノ動議ハ第二讀會ニ於テ之ヲ提出スヘシ但シ賛成者アルニ非サレハ議題ト

爲スコトヲ得ス

第十四條 第三讀會ニ於テハ第二讀會ニ於テ議決シタルモノヲ以テ議案トシ議案ノ全體ニ

就キ可否ヲ決スヘシ

第三讀會ニ於ケル修正動議ハ三名以上ノ賛成者アルニ非サレハ議題トナスコトヲ得ス但

シ議案中相互牴觸スルコトヲ發見シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二節 修正及建議

第十五條 議案ニ對スル修正動議ハ議席ニ於テ之ヲ述ヘ又ハ文案ヲ具ヘテ議長ニ提出スヘ

シ

第十六條 議員建議ヲ爲サムト欲スルトキハ案ヲ具ヘ理由ヲ附シ議員五名以上連署シ議長

ニ提出スヘシ但シ緊急ヲ要スルトキ又ハ其ノ事件簡明ナルモノハ議席ニ於テ口頭ヲ以テ

陳述スルコトヲ得

第十七條 會議ニ於テ否決シタル建議案及修正案ハ同會議ニ於テ再ヒ提出スルコトヲ得ス

第三節 發言及討論

第十八條 發言セムト欲スル者ハ起立シテ議長ト呼ヒ議長ニ於テ席次番號ヲ回呼スルヲ俟

ツテ發言スヘシ

第三讀會ニ於テハ一議題ニ付發言二回ニ涉ルコトヲ得ス但シ質疑應答ハ此ノ限ニ在ラス

第十九條 二人以上同時ニ起立シテ發言ヲ求ムルトキハ議長ハ先起立者ト認ムルモノヲ指

定シテ發言セシムヘシ

第二十條 討論ハ議題外ニ涉ルコトヲ得ス

議長ハ會議中時宜ニ依リ議員ノ發言ヲ止メ或ハ議事ヲ中止スルコトヲ得

第二十一條 討論未タ終ラサルモ議長ニ於テ論旨盡キタリト認ムルトキハ採決スルコトヲ

得

第四節 委員會

第二十二條 議案ノ調査其ノ他必要ト認ムルトキハ議長ノ意見又ハ會議ノ決議ニ依リ委員

ヲ設クルコトヲ得

第二十三條 委員ハ議員中ヨリ互選スルモノトス但シ委員ノ數ハ奇數トス

第二十四條 委員會ハ委員中ヨリ委員長ヲ互選スルモノトス

第二十五條 委員會ハ委員長之ヲ招集ス

第二十六條 委員會ハ委員半數以上出席スルニ非サレハ議事ヲ開クコトヲ得ス

出席委員定數ニ充タスシテ委員會ヲ開クコト能ハサルトキハ第二十三條ニ依リ臨時委員

ヲ選舉シ出席セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ前委員ノ出席ヲ待チテ交代スルモノト

ス

第二十七條 委員會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ委員長ノ決スル所ニ依



第二十八條 委員會ハ議會ニ參與スヘキ吏員及議員ノ外傍聽ヲ許サス

第五節 採決

第二十九條 委員會ノ終リタルトキハ委員長ヨリ其ノ經過及結果ヲ會議ニ報告スヘシ

第三十條 出席議員ハ可否ノ數ニ入ラサルコトヲ得ス

採決ノ際議場ニ現在セサル議員ハ可否ノ數ニ加ハルコトヲ得ス

第三十一條 議長採決ヲ爲サムトスルトキハ其ノ問題ヲ宣告スヘシ

前項ノ宣告アリタル後ハ何人ト雖發言スルコトヲ得ス

第三十二條 採決ヲ爲サムトスルトキハ其ノ問題ノ可否ニ關シ起立セシメ書記ヲシテ人員

ヲ調査シ其ノ結果ヲ宣告スヘシ

議長ノ意見若ハ會議ノ決議ニ依リ記名又ハ無記名投票ヲ以テ可否ヲ決スルコトアルヘシ

投票ノ結果ハ議長之ヲ宣告スヘシ

第三十三條 議題ニ對シ發言スルモノナキトキ又異議ナキトキハ議長ハ採決ノ手續ヲ履マ

スシテ全會一致ヲ以テ可決シタルモノト認メ其ノ旨ヲ宣告スルコトヲ得

第三十四條 動議ハ原案ニ先立チ可否ヲ決スヘシ

數個ノ動議アルトキハ最モ原案ニ異リタルモノヲ先ニスルヲ法トス

第三十五條 修正動議否決セラレタルトキハ原案ニ就キ決ヲ採ルヘシ

第三十六條 修正案原案共ニ過半数ノ賛成ヲ得タルトキハ更ニ原案ニ就キ存廢ヲ決シ其ノ

存スルモノト議決シタルトキハ特ニ委員ヲ設ケ其ノ案ヲ整理セシメ會議ニ付スルコトヲ

得

第六節 秘密會議

第三十七條 內議ヲ要スル場合ニ於テハ管理者ノ要求議長ノ意見又ハ會議ノ決議ニ依リ秘

密會議ヲ開クコトヲ得

秘密會議ヲ開クトキハ議長ハ直ニ傍聽人ヲ退出セシムヘシ

第三十八條 秘密會議ノ議事ハ本則ニ從フコトヲ要セス秘密會議ヲ終リタルトキハ更ニ本

會ヲ公開シ議決ノ要領ヲ報告スヘシ

第七節 會議錄

第三十九條 會議錄ニハ左ノ事項ヲ記載スルモノトス

一、開會閉會ニ關スル事項及年月日時

二、會議ノ延會中止及散會ノ月日時

三、會議ニ參與シタル吏員ノ氏名

四、出席缺席ノ議員氏名

五、會議錄ニ署名スヘキ議員ノ氏名

六、議長及委員長ノ報告事項

七、會議ニ附シタル議案及報告ノ題目

八、議題トナリタル動議建議及其ノ提出者氏名

九、採否可否ノ數ヲ計算シタルトキハ其ノ數

一〇、議決事件及選舉ノ顛末



一一、其ノ他會議ニ於テ必要ト認メタル事項

### 第二章 議場ノ秩序

第四十條 何人ト雖議場ニ在ル者ハ相互ニ私語シ若ハ賛否ノ聲ヲ發シ又ハ喧噪ニ涉リ議事ヲ妨クヘカラス

第四十一條 議員公務疾病其ノ他ノ事故ニ依リ會議ニ出席スルコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ具シタル書面ヲ以テ會議定刻前議長ニ届出ツヘシ

第四十二條 議員會議ニ列スルトキハ洋服又ハ羽織袴ヲ着用スヘシ

第四十三條 議事開始後參會シタル議員ハ議長ノ許可ヲ得テ議席ニ着クヘシ會議中其ノ席ヲ退クトキ亦同シ

第四十四條 議員ハ會議中無禮ノ語ヲ用ヒ及他人ノ身上ニ涉リ言論スルコトヲ得ス

第四十五條 會議中此ノ會議規則ニ違ヒ其ノ他議場ノ秩序ヲ乱スモノアルトキハ議長ハ之ヲ警戒シ又ハ制止シ其ノ命ニ從ハサルトキハ當日ノ會議ヲ終ル迄發言ヲ禁止シ又ハ議場外ニ退去セシムヘシ

### ●岐阜市 稻葉郡 用排水普通水利組合會傍聽人取締規則 大正十五年六月二十六日

第一條 議長ハ傍聽席ノ都合ニ依リ傍聽人ノ人員ヲ制限スルコトアルヘシ

第二條 戎器兇器ヲ携帯シ又ハ異様ノ服裝ヲ爲シタル者若ハ酩酊シタルト認ムル者ハ傍聽

席ニ入ルコトヲ許サス

第三條 傍聽席ニ在ル者ハ左ノ事項ヲ遵守スヘシ

一、帽子外套襟卷ノ類ヲ着スヘカラス

二、傘杖ノ類ヲ携帯スヘカラス

三、私語又ハ喫煙スヘカラス

四、議員ノ言論ニ對シ可否ヲ評論シ又ハ喧噪ニ涉リ議事ノ妨害ヲ爲スヘカラス

第四條 如何ナル事由アルモ傍聽人ハ議席ニ入ルコトヲ得ス

第五條 傍聽ヲ禁シタルトキハ傍聽人ハ速ニ退場スヘシ

第六條 傍聽席騷擾ナルニ依リ議長ヨリ傍聽人ノ全部又ハ一部ニ退場ヲ命シタルトキハ傍聽人ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

### ●岐阜市 稻葉郡 用排水普通水利組合給與規程 大正十五年六月二十六日

(沿革) 昭和二年四月一日組合告示第十一號改正

第一條 本組合ノ經濟ニ屬スル諸給與ハ別ニ定ムルモノ、外此規程ニ據ルモノトス

第二條 名譽職員報酬、費用辨償、囑託員手當、有給吏員職員俸給給料ハ左ノ區分ニ依リ之ヲ支給ス

常設委員報酬ハ年額金六百圓以内トシ豫算ノ定ムル所ニ依リ年額ヲ二分シ九月及三月ニ於テ各半額ヲ支給ス



但特別報酬ハ隨時支給スルコトヲ得

委員ノ費用辨償ハ旅費手當トシ別表ニ依リ之ヲ支給ス

但シ組合外ノ出張ニハ出務手當ヲ組合内ノ出張ニハ日當及宿泊料ヲ支給セス

議員ノ費用辨償ハ年額金參拾圓及車馬賃、鐵道賃トシ年額ハ以下各項ニ依リ車馬賃及鐵道賃ハ別表ニ依リ之ヲ支給ス

組合會ノ招集ニ應セサル者若ハ招集ニ應スルモ出席セサル者又ハ在職中組合會ノ招集ナキトキハ支給セス

通常組合會、臨時組合會ヲ問ハス出席日數開會日數ノ半ニ至ラサル者ハ事故ノ如何ヲ問ハス半額ヲ支給ス

費用辨償ハ左ノ方法ニ依リ之ヲ支給ス

一、通常組合會ニハ閉會ノ際年額ノ三分ノ二

二、臨時組合會ニハ閉會ノ際年額ノ六分ノ一

三、臨時組合會ノ招集三回又ハ其以上ナルトキハ新ニ當選ノ者ニ限り閉會ノ際六分ノ一

四、年度内臨時組合會ノ招集一回ナルトキ若ハ臨時組合會ノ招集ナキトキハ其ノ年度末ニ殘額ヲ精算支給ス

五、通常組合會閉會後精算期限到來前失職退職又ハ死亡ノ者ニハ通常組合會後臨時組合會ノ招集ナキ場合ニ限り其年度末ニ殘額ヲ精算支給ス

臨時出納検査立會ノ爲出席シタル議員ノ費用辨償ハ一日金參圓トシ出務日數ニ應シ

之ヲ支給ス

組合會議員選舉立會人ノ費用辨償ハ一日金壹圓五拾錢トシ出務日數ニ應シ之ヲ支給ス

主事、技師 年俸參千五百圓以内

助手、書記 月俸百六拾圓以内

雇 月俸六拾圓又ハ日給參圓以内

給仕、使丁 日給貳圓以内

囑託手當及特別手當、豫算ノ範圍内ニ於テ管理者隨時決定支給ス

第三條 報酬及年額又ハ月額ノ俸給給料ハ選任告知又ハ發令ノ翌日ヨリ日割ヲ以テ計算支給ス

日給ノ者ハ就職ノ日ヨリ支給ス

第四條 俸給給料ハ毎月二十一日之ヲ支給ス但休日ニ當ルトキハ順延トス

第五條 報酬及年額又ハ月額ヲ以テ支給スル俸給給料ニシテ退職若ハ死亡ノトキハ其ノ全月分ヲ支給ス

第六條 管理者出納吏及囑託員等ニシテ官公職ニ在ル者ノ出張旅費ハ其ノ官職相當ノ額ヲ其ノ支給方法ニ依リ支給ス

第七條 吏員、囑託者ノ旅費ハ別表ニ依リ之ヲ支給ス

旅費支給ノ場合組合内出張ト縣内又ハ縣外出張ト重復スルトキハ多キ一方ノミヲ支給ス

第八條 俸給給料並旅費支給ノ方法ニシテ本規程ニ明文ナキモノハ俸給給料ニ付テハ岐阜縣吏員其ノ他俸給規則、旅費ニ付テハ岐阜縣吏員職員其ノ他旅費規則ヲ準用ス



附 則

本規程ハ大正十五年分ヨリ之ヲ施行ス  
別表

職名	區分	車馬賃	日當	宿泊料	食卓料	組合區域内	出務手當
主事	縣内	五拾錢	參圓	四圓	貳圓五拾錢	日額	一日ニ付
	縣外	五拾錢	參圓	四圓	貳圓五拾錢	日額	一日ニ付
技師	縣内	四拾五錢	貳圓參拾錢	參圓五拾錢	貳圓	日額	一日ニ付
	縣外	四拾五錢	貳圓參拾錢	參圓五拾錢	貳圓	日額	一日ニ付
議員	縣内	四拾錢	壹圓參拾錢	參圓	貳圓	日額	一日ニ付
	縣外	四拾錢	壹圓參拾錢	參圓	貳圓	日額	一日ニ付
委員	縣内	四拾錢	壹圓參拾錢	參圓	貳圓	日額	一日ニ付
	縣外	四拾錢	壹圓參拾錢	參圓	貳圓	日額	一日ニ付
書記	縣内	四拾錢	壹圓參拾錢	參圓	貳圓	日額	一日ニ付
	縣外	四拾錢	壹圓參拾錢	參圓	貳圓	日額	一日ニ付
雇員	縣内	四拾錢	壹圓參拾錢	參圓	貳圓	日額	一日ニ付
	縣外	四拾錢	壹圓參拾錢	參圓	貳圓	日額	一日ニ付

鐵道賃及船賃ハ大正九年<sup>五</sup>大藏省令第十六號主事及技師ハ高等官其ノ他ハ判任官ノ給額ヲ準用ス但シ軌道法ニ依ル軌道敷設區間ノ車馬賃並日當ハ鐵道旅行ノ例ニ依リ之ヲ支給ス囑託員ニシテ官公職ニ在ラサル者ノ旅費ハ岐阜縣吏員職員其ノ他旅費規則第二十六條ヲ準用シ同條第一號該當者ハ前表技師ノ額ヲ第二號該當者ハ同委員ノ額ヲ支給ス組合ノ雇上タル船車乗用ノ場合ハ車馬賃ヲ支給セス

●岐阜市 稲葉郡 用排水普通水利組合有給吏員退職給與金及遺族扶助料支給規程

大正十五年七月十日組合告示第一五號

遺族扶助料支給規程

- 第一條 本組合有給吏員退職シタルトキハ退職料又ハ退職給與金ヲ支給ス
- 第二條 本組合有給吏員在職中死亡シタルトキハ死亡給與金ヲ其ノ遺族ニ支給ス
- 第三條 本組合有給吏員又ハ退職料ヲ受クル者死亡シタルトキハ其ノ遺族ニ遺族扶助料又ハ一時扶助料ヲ支給ス
- 第四條 退職料ヲ受クル者再ヒ本組合有給吏員トナリタルトキハ其ノ間退職料ノ支給ヲ停止ス但シ其ノ受クル給料ノ支給額退職料ノ金額ヨリ少ナキトキハ其ノ差額ヲ支給ス
- 第五條 本組合有給吏員ハ其ノ給料百分ノ一ヲ組合ニ納ムヘシ
- 第六條 本規程ニ依ル有給吏員中ニハ日給者及囑託員ハ之ヲ包含セス
- 第七條 前各條ニ規定セル退職料其ノ他ノ給與金ノ給與ヲ受クヘキ權利ノ發生及消滅、在職年數ノ計算、支給金額、遺族其ノ他本規程施行上必要ナル事項ハ總テ岐阜縣吏員及職員退職料退職給與金遺族扶助料死亡給與金規則ヲ準用ス

參 照

岐阜縣有給吏員及職員退職料退職給與金遺族扶助料死亡給與金給與規則拔萃

第二十七條 有給縣吏員又ハ職員在職年十五年以上ニシテ失格原因ナクシテ退職シタルトキハ之ニ退職料ヲ給ス



前項退職料年額ハ在職十五年以上十六年未滿ニ對シ退職當時ノ給料年額ノ百五十分ノ五十二相當スル金額トシ十五年以上一年ヲ増ス毎ニ其ノ一年ニ對シ退職當時ノ給料年額ノ百五十分ノ一ニ相當スル金額ヲ加ヘタル金額トス  
在職四十年ヲ超ヘタル者ニ給スヘキ退職料年額ハ之ヲ在職四十年トシテ計算ス

第二十八條 有給縣吏員又ハ職員在職一年以上十五年未滿ニシテ失格原因ナクシテ退職シ退職料ヲ給スヘカラサルトキハ之ニ退職給與金ヲ給ス

前項ノ退職給與金ノ金額ハ退職當時ノ給料月額ニ相當スル金額ニ退職ニ引續キタル在職年ノ年數ヲ乘シタル金額トス

第三十三條 遺族扶助料ノ年額ハ左ノ各號ニ依ル

一、有給縣吏員又ハ職員公務ニ因ル傷痍疾病ノ爲死亡シタルトキハ其ノ退職料年額ノ十分ノ八ニ相當スル金額

二、其ノ他ノ場合ニ於テハ有給縣吏員又ハ職員ニ給セラル、退職料年額ノ十分ノ五ニ相當スル金額

第四十條 有給縣吏員又ハ職員在職一年以上十五年未滿ニシテ在職中死亡シタル場合ニハ其ノ遺族ニ一時扶助料ヲ給ス

第三十一條第三十二條ノ規定ハ前項ノ遺族ノ範圍資格及順位ニ付之ヲ準用ス

一時扶助料ノ金額ハ有給縣吏員又ハ職員ノ死亡ノ當時ノ給料月額ニ相當スル金額ニ其ノ有給縣吏員又ハ職員ノ在職年ノ年數ヲ乘シタル金額トス

第四十一條 有給縣吏員又ハ職員在職中死亡シタルトキハ其ノ遺族ニ年俸ノ者ハ在職最終年俸ノ三分ノ一月俸ノ者ハ在職最終月俸三箇月ニ相當スル死亡給與金ヲ第三十條ニ規定スル順位ニ依リ之ヲ給ス子數人アル場合ニ於テハ家督相續ノ順位ニ依ル

死亡給與金ハ之ヲ遺族扶助料ト併給スルコトヲ得

●岐阜市用排水普通水利組合處務規程 大正十五年六月二十九日組合連第一號 稻葉郡

第一條 組合ノ事務ハ總テ管理者ノ決裁ヲ經テ執行スヘシ但シ特ニ委任セラレタル事項ハ此ノ限ニ在ラス

管理者不在ノトキハ主事之ヲ代決シ主事不在ノトキハ上席書記之ヲ代決スルモノトス 管理者不在中代決シタル主要ナル事項ハ管理者ノ後閱ヲ受クヘシ

第二條 各主任者ハ其ノ擔當ニ屬スル事務又ハ技術事項ヲ遲滯ナク執行シ且關係ノ臺帳、例規、文書、圖面、器具等ヲ整頓スルノ責務ヲ負フモノトス擔當外ト雖モ特ニ命ヲ受ケタル事件ニ就キ亦同シ

第三條 組合ノ文書簿冊ハ左ノ區分ニ隨ヒ永久、十年、三年ノ三種トシ處分完結ノ翌年(會計ニ係ルモノハ翌年度)ヨリ起算スルモノトス

永久保存

- 一、將來徵考例證トナル書類簿冊圖面等
  - 二、諸例規、臺帳、原簿等
  - 三、組合會々議錄及組合會ニ關スル重要書類
  - 四、其ノ他永久保存ノ要アリト認ムルモノ
- 十年保存
- 一、金品出納徵收ニ關スル帳簿



- 二、決算又ハ調査ヲ了リタル金品ニ關スル證據書類諸報告統計ノ材料工事設計書
- 三、吏員其ノ他身分ニ關スル願届書類
- 四、其ノ他永久保存ノ必要ナキモノ

三年保存

- 一、一時限ノ願届伺書類
- 二、一時ノ通牒照會等ニシテ他日参照ヲ要セサルモノ
- 三、原簿臺帳等ニ登錄ヲ了リタル諸通知、報告等ニシテ他日参照ヲ要セサルモノ
- 四、其ノ他輕易ノ文書、簿冊ニシテ十年保存ノ要ナキモノ

第四條 吏員ノ勤務時間ハ一般官廳ノ例ニ依ル但シ繁劇ノ場合ハ時間外ト雖モ勤務スヘシ  
 吏員出勤シタルトキハ出勤簿ニ捺印スヘシ  
 病氣其ノ他ノ事故ニ依リ缺勤スルトキハ出勤時限前届出スヘシ其ノ取扱事項中急ヲ要スルモノアルトキハ支障ナキ方法ヲ採ルヘシ

賜暇、忌服等ハ一般官吏ノ例ニ依ル

第五條 退職シタル者ハ其ノ取扱中ニ係ル事務ノ引繼書ヲ作製シ説明ヲ要スルモノハ之ヲ詳記シ管理者ノ指示シタルモノニ引繼キ連署ノ上届出スヘシ

第六條 出張ハ命令簿ヲ以テ命令ス  
 出張中處理シタル事務ノ顛末ハ遲滞ナク口頭ヲ以テ復命シ且其ノ要點ヲ命令簿中ニ記入スヘシ但シ重要ナルモノ若ハ參考ノ資料トナルモノ其ノ他必要ナルモノハ別ニ復命書ヲ提出スヘシ

●水利組合事務代決規程

大正十五年七月一日郡役所廢止ニ依リ發布施行

第一條 組合ノ上席吏員(但シ技術員ヲ除ク)ヲシテ代決セシムヘキ事項ハ本規程ノ定ムル所ニ依ル

第二條 上席吏員ヲシテ代決セシムヘキ事項左ノ如シ

- 一、組合吏員以下ノ諸願届ニ關スル件
- 一、組合吏員ノ除服ヲ命スル件
- 一、組合吏員組合區域内及其ノ隣接市町村岐阜市並名古屋市ニ出張ノ件
- 一、輕易ナル事件ノ報告又ハ進達及却下ノ件
- 一、輕易ナル事件ニ付文書往復ノ件
- 一、堤塘及水利使用ニ關スル件
- 一、河川法準用河川堤塘川敷占用料金及生産物拂下副申ノ件
- 一、工事價格見積書ヲ徵スル件
- 一、定例ニ依ル輕易ナル告示廣告ノ件
- 一、文書ノ閱覽謄寫ニ關スル件
- 一、鐵道賃車馬賃ノ實費拂認可ノ件
- 一、土工用物品貸借ニ關スル件
- 一、市外電話使用承認ノ件
- 一、人夫船車馬類備入若ハ購入物品ノ價格見積ヲ徵スル件



- 一、組合有トナルヘキ土地建物ノ登記ノ件
- 二、地種目變換土地分割及有租地又ハ免租地成ニ關スル件
- 三、保證物件ノ受入及返還ノ件
- 一、徵稅令書督促狀未渡ノモノ公示ニ關スル件
- 一、組合費其ノ他組合ノ收入ノ督促ニ關スル件
- 一、出納検査ニ關スル件
- 一、組合費調定及徵收ノ件
- 一、一廉貳百圓未滿ノ工事施行ニ關スル件
- 二、一廉百圓未滿ノ竹木、土石、雜草其ノ他生産物不用品ノ賣却ニ關スル件
- 一、一廉五拾圓未滿ノ物件購入修繕又ハ圖書類印刷ノ件
- 一、組合費徵收交付金ニ關スル件
- 一、差押物件ノ賣却ニ關スル件
- 一、財産收入使用料手數料、補助金、雜收入、繰越金、繰入金其ノ他ノ收入ニ關スル件
- 一、仕拂義務ノ確定シタル俸給、給料、費用辨償、手當、旅費、雇人料、慰勞金、備品費、消耗品費、工事費其他ノ支出ニ關スル件
- 一、議決ニ依リテ定マレル借入金及利子ノ償還ニ關スル件

●岐阜市 稻葉郡 用排水普通水利組合會計規程

大正十五年七月十日組合告示第一三號

(沿革) 昭和二年一月十四日組合告示第二號改正

- 第一條 本組合ノ會計事務ハ特別ノ規程アルモノノ外本規程ニ依リ取扱フモノトス
- 第二條 歳入出豫算成立シタルトキハ管理者ハ直ニ其ノ謄本ヲ出納吏ニ交付シ同時ニ否決シタル費途竝金額ヲ通知スルモノトス  
費目ノ流用又ハ豫備費ノ充用ニ關スル議決若ハ決定ヲ爲シタルトキ若ハ監督官廳ヨリ豫算ニ加ヘラレタル場合亦前項ノ例ニ依ル
- 第三條 組合費ノ徵收ハ水利組合法第五十四條第一項ニ依リ關係市町村ニ委嘱スルモノトス
- 第四條 組合費ハ徵收期限三十日前ノ現在ニ依リ之ヲ賦課ス  
但シ臨時徵收ヲ要スル場合ノ賦課期日ハ管理者隨時之ヲ定ム
- 第五條 組合費ノ賦課徵收期限ハ毎年度五月三十一日及十月三十日トス但シ臨時徵收ヲ要スルトキハ其ノ時々管理者之ヲ定ム
- 第六條 組合費ノ賦課率ハ歳入豫算書ニ添付スル課率表ノ定ムル處ニ依ル
- 第六條 組合費外ノ收入金ニ對スル徵收期限ハ其ノ時々管理者之ヲ定メ納額告知書ヲ以テ指定ス
- 第七條 天災地變其ノ他ノ事故ニ依リ期限内ニ徵收ノ手續ヲ爲シ能ハサルトキハ管理者ニ



於テ更ニ其ノ徵收期限ヲ定ム

前項及前二條ノ徵收期日カ官公署ノ休日ニ當ルトキハ其ノ翌日ヲ以テ期限トス

第八條 市町村長組合費ヲ徵收スルニハ市町村稅徵收ノ例ニ依リ取扱フモノトス

第九條 市町村長組合費ヲ測定シタルトキハ其ノ額ヲ直ニ管理者ニ報告スルモノトス異動ヲ生シタルトキ亦同シ

管理者前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ收入整理簿第一號 樣式ヲ調製シ出納吏ニ交付スルモノトス

第十條 夫役、現品ヲ徵收スルニハ管理者ハ收入臺帳第二號 樣式ヲ調製シ之ニ依リ賦課令書第三號 樣式ヲ作り納人ニ配付シ同時ニ收入臺帳ヲ出納吏ニ交付スルモノトス

第十一條 夫役ヲ使用シ現品ヲ受領スルトキハ出納吏ハ納人ヲシテ賦課令書ヲ差出サシメ領收證書ヲ交付スルモノトス

第十二條 組合費外ノ收入金ヲ收入スルニハ管理者ハ收入臺帳第四號 樣式ヲ調製シ之ニ依リ納額告知書第五號 樣式ヲ作り各納人ニ發付シ同時ニ收入臺帳ヲ出納吏ニ交付スルモノトス

第十三條 組合費ヲ納期限内ニ完納セザルトキハ市町村長ハ滯納ノ金額、滯納者ノ住所氏名其ノ他必要ナル事項ヲ直ニ管理者ニ報告スルモノトス

第十四條 前條ノ報告ヲ受ケタルトキハ管理者ハ滯納整理簿第六號 樣式ヲ調製シ之ニ依リ督促狀第七號 樣式ヲ作り滯納者ニ送達シ同時ニ滯納整理簿ヲ出納吏ニ交付スルモノトス

第十五條 第九條第十條第十二條第十四條ノ帳簿ハ納期限經過後出納吏ヨリ管理者ニ返還其ノ他ノ收入金ヲ納期限内ニ完納セザルトキハ亦前項ノ例ニ依ル

スルモノトス

第十六條 督促狀ニ指定スヘキ期限ハ特別ノ事由アルモノノ外ハ七日以内トス

第十七條 市町村長ハ其ノ徵收シタル組合費ヲ徵收期限後三日以内ニ納付書第八號 樣式ヲ製シ之ヲ出納吏ニ送付シ領收證書ヲ得テ納入ノ義務ヲ了スルモノトス

第十八條 組合費ノ徵收ニ對スル交付金ハ毎年四月ニ於テ其ノ前一ケ年分ヲ交付ス

第十九條 納人ニ於テ納期限後(督促狀發付前) 組合費ヲ納付セムトスルトキハ納付書第八號 樣式ヲ製シ出納吏へ拂込ムモノトス

第二十條 出納吏ニ於テ現金ヲ領收スルトキハ帳簿及領收書ニ領收印第九號 樣式ヲ押捺シ領收スルモノトス徵收令書、納額告知書、納付書又ハ督促狀ニ依ラサル收入ニ付テハ收入臺帳ニ依リ領收ノ手續ヲ爲スモノトス

第二十一條 滯納處分ノ結果收入金ヲ收入スルニハ管理者ハ收入命令ヲ爲シ滯納整理簿ニ現金ヲ添へ出納吏ニ交付シ出納吏ハ之ニ依リ領收ノ手續ヲ爲スモノトス

第二十二條 收入命令ハ收入整理簿、收入臺帳、滯納整理簿ノ所定欄ニ捺印シ之ヲ爲スモノトス

收入金ノ還付ヲ要スルトキハ其ノ支出命令ハ前項ノ例ニ依ル

第二十三條 支出命令ハ支出命令書第十號 樣式ヲ以テ之ヲ爲スモノトス但シ請求書アルモノハ其ノ餘白ニ第十一號 樣式捺印ヲ爲シ代用スルモノトス

支出金ノ戻入ヲ要スルトキハ支出金戻入命令書第十二號 樣式ヲ發スルモノトス但シ返納告知書第十三號 樣式ニ依ルモノトス



第二十四條 出納吏ニ於テ支出命令ヲ受ケタルトキハ豫算ニ對照調査シタル上領收證書ト引換ニ元金ヲ支拂フモノトス領收證書ヲ徵スルコトヲ得サルモノニ付テハ出納吏ニ於テ仕拂證明書ヲ調製スヘシ

第二十五條 出納吏ニ於テ收支ヲ爲シタルトキハ現金内譯簿第十四號樣式歲入簿第十五號樣式歲出簿第十六號樣式ニ記帳スルモノトス

第二十六條 徵收令書、納額告知書、納付書、命令書其ノ他ノ證書類ニ記載スル計數文字ハ壹貳參拾ノ文字ヲ用ヒ明瞭ナルヲ要ス若シ誤字脫字等アリテ訂正ヲ要スルトキハ金額ニ係ルモノハ其ノ全項ヲ朱抹シ右傍ニ正字ヲ明記其ノ他ニアリテハ之ヲ挿入削除シタル上欄外ニ其ノ旨ヲ記載シ當該證書ノ氏名下ニ押捺セルモノト同一ノ印章ヲ押捺スヘシ諸帳簿ノ誤記訂正ハ誤記ノ部分ニ朱線二條ヲ直書シテ正當ナル文字ヲ其ノ傍ニ記載シ主任者之ヲ認印スルモノトス

第二十七條 前各條ニ定ムルモノノ外左ノ帳簿ヲ備ヘ整理スルモノトス

現金前渡及概算拂整理簿

第十七號樣式

保管金品受拂簿

第十八號樣式

組合債整理簿

第十九號樣式

費目流用並豫備費充用通知簿

第二十號樣式

郵便切手類受拂簿

第二十一號樣式

財產臺帳

第二十二號樣式

備品臺帳

第二十三號樣式

物品購入簿

第二十四號樣式

人夫使用簿

第二十五號樣式

前項ニ定ムルモノノ外必要ニ應シ帳簿ヲ設クルコトヲ得其ノ樣式ハ管理者之ヲ定ム

第二十八條 諸帳簿ハ會計年度毎ニ之ヲ調製スルモノトス但シ前條ノ諸帳簿ハ年度ヲ區分シ繼續使用スルコトヲ得

第二十九條 財產ノ賣却工事又ハ作業ノ請負物件勞力其ノ他ノ供給ニシテ左ノ各號ノ一ニ

該當スルトキハ隨意契約ニ依ルコトヲ得

- 一、特定ノ人又ハ會社ノ専有スル物件ヲ買入又ハ借入ルルトキ
- 二、臨時急施ヲ要シ工事作業又ハ物件ノ買入借入ヲ爲スニ競争ニ付スル暇ナキトキ
- 三、物件ノ性質若ハ使用ノ目的上特定ノ製産所又ハ生産者ヨリ直接ニ買入若ハ借入ヲ要スルトキ

四、參百圓未滿ノ作業又ハ工事ノ請負並物件買入又ハ借入ルルトキ

五、國債證券其ノ他ノ有價證券ヲ買入ル、トキ

六、不用物品ヲ賣却スルトキ

七、相手方カ官公署、公共團體又ハ公益法人若ハ之ニ準スヘキ營利ヲ目的トセサル團體ナルトキ

八、入札者ナキトキ又ハ再入札ニ付スルモ尙落札者ナキトキ

九、職工人夫ヲ傭入ルルトキ

十、競争入札ニ付スル場合却テ不利ト認メタルトキ



物品ノ修繕ニ關シテハ總テ前項ノ規定ヲ準用ス

前二項ニ定ムルモノノ外隨意契約ニ依ル場合ハ其ノ都度組合會ノ同意ヲ得ルヲ要ス

第三十條 組合費出納吏ニ係ル例日検査ハ毎月五日迄ニ其ノ前月分ヲ執行スルモノトス

第三十一條 出納吏ハ例日検査前ニ出納ヲ計算シ(現金出納簿ニ依リ)管理者ニ提出スヘシ

第三十二條 例日検査ハ收入ニ在リテハ徵收令書納額告知書納付書其ノ他ノ證憑書類支出ニ在リテハ支出命令書、領收證書、仕拂證明書其ノ他ノ證憑書類ヲ調査シ之ヲ關係諸帳簿ニ對照シ其ノ適否ヲ査閱スルモノトス

第三十三條 管理者例日検査ヲ了リタルトキハ現金内譯簿當該月末日欄ノ上部餘白ニ認印ヲ爲スモノトス

第三十四條 第三十一條第三十二條ノ規定ハ臨時検査ニ之ヲ準用ス

臨時検査ヲ了リタルトキハ管理者ハ現金内譯簿ノ末尾ニ年月日ヲ記入シ立會議員ト共ニ署名捺印スルモノトス

第三十五條 出納吏決算ヲ爲ストキハ收入支出ノ證書類ヲ豫算説明書ノ區別ニ依リ目別ニ整理シ款項目金額及證憑書ノ枚數ヲ記載シ更ニ之ヲ款項毎ニ區別シ科目金額ヲ記載シテ之ヲ編綴スヘシ

附 則

本則ハ大正十五年度分ヨリ施行ス

第五條ノ徵收期限ハ大正十五年度ニ限リ七月三十一日限リトス

(第一號様式)

昭和何年度

組合費收入整理簿

納期 月 日限

岐阜市 稲葉郡 用排水普通水利組合

反 別 割 (地租割)		何(市)(町)村 (何々)	
年 月 日	摘 要	收入 命令	調定 額
年 月 日	調 定	①	一〇〇〇
年 月 日	何ニヨリ調定減	①	△一〇
年 月 日	收 入		九九九〇
			未收入額
			一〇〇〇

備考 △印ハ朱書トス以下各式皆同シ







圖C

書證收領	右領收候也 此代納金何程 一人夫何人 (何品何程)	昭和年月日	職名 岐阜市 稲葉郡用排水普通水利組合出納吏 氏名 出納吏印
第何號	昭和何年度 岐阜市 稲葉郡用排水 普通水利組合費人	何	某

書令課賦 (品現) 役夫	一人夫役何人 (何品何程) 此代納金何程 右何年月何日ヨリ何月何日ヲ毎日ノ午前何時ヨリ何處ニ出役スル (何處ニ差出入ル)但シ金錢ヲ以テ代納セルトスルモノハ何年月何日 限リ組合出納吏ニ納付スル	昭和年月日	官名 岐阜市 稲葉郡用排水普通水利組合管理者 氏名 印
第何號	昭和何年度 岐阜市 稲葉郡用排水 普通水利組合費人	何	某

(第三號様式) 用紙適宜 縦六寸横四寸ノモノニ枚接續

(第四號様式)

昭和何年度  
組合費外收入臺帳

岐阜市  
稲葉郡  
用排水普通水利組合

番號	納人	摘要	命令月日		命令印	金額	領日
			納期	收入			
一	何町村 某		月 日	月 日	印	五〇〇	月 日
二							
△月分	計						
	累計						

備考  
一、本收納簿ハ種目毎ニ口取ヲナスモノトス  
二、摘要ノ欄ニハ收入ヲ要スル事由ノ概要並分納シタルトキ延期ヲ許可シタルトキ、免除シタルトキ、缺損ニ  
歸シタルトキ、過誤納還附其ノ他ノ事故ノ要旨ヲ記載スルモノトス  
三、納額告知書ヲ發セサル收入金ニ付テハ番號及納期ハ記載セサルモノトス



領收證

第一金何程 但シ何々 右領收

第一金何程 但シ何々

第何號 昭和何年度 何地 何 某納

岐阜市 稲葉郡 用排水普通水利組合出納吏 職 氏 名 〇印

納額告知書

第一金何程 但シ何々 昭和何年何月何日

第一金何程 但シ何々

第何號 昭和何年度 何地 何 某納

岐阜市 稲葉郡 用排水普通水利組合管理者 官 氏 名 〇印

日限リ本組合出納吏ニ納付ス

(第五號様式) 用紙適宜 横六寸、モノ二枚接續 様四寸

(第六號様式) 用紙美濃紙

昭和何年度 組合費 滞納整理簿 其他收入

岐阜市 稲葉郡 用排水普通水利組合

番號	滞納人	收命入印	種目	金額	督促狀發布月日	指示期	手数料	收入命印	滞處分納	領日印	摘要
一	何村大字何々 某	〇印	地租割	二〇	月月日	日日日	一五			何日 〇印	
二	何村同何々 某	〇印	同	一五〇	月月日	日日日	一五	〇印	五〇	何日 〇印	月日月日 日財産 日公賣公 日公賣決行
三	何村何字 某	〇印	反別割	二二	月月日	日日日	一五				

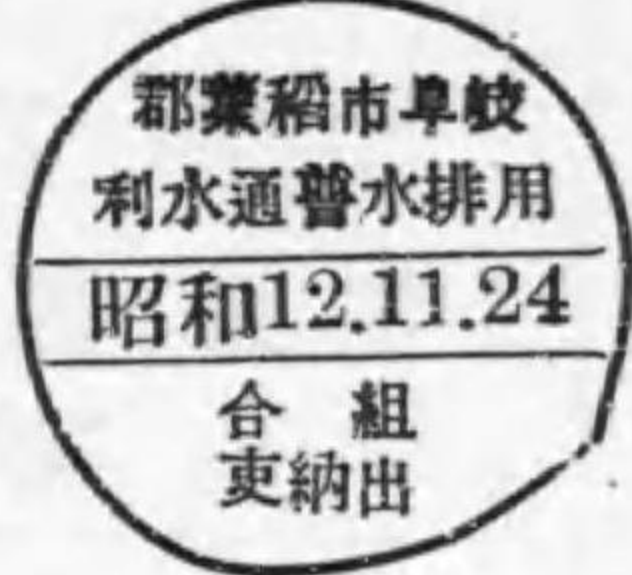
備考 一、本簿ハ組合費ト其ノ他ノ收入トヲ區別シ種目毎ニ口座ヲ設クルモノトス







(第九號様式) 寸法適宜



備考、一、本印章ハ朱肉ヲ用ユ但シ赤、紫インキヲ使用スルモ妨ケス  
 (第十號様式) 用紙半紙

書令命出支	昭 和 年 月 日	命 令	昭 和 年 經 常 部	記 帳 日 月 印
	管 理 者	係	任 主	款 項 種 目
一金	但 何 々	何 某 (何 某 外 何 人) 渡		
備考				

備考  
 一、但シ書ニハ種別、名稱、員數、單價及從事又ハ納入ノ月日等ヲ詳記スルモノトス  
 二、事項ノ多キモノ及債主ノ多數ナル場合ニハ別紙ヲ以テ任職書ヲ付スルモ妨ケナシ  
 三、現金前渡繰替拂ニ属スルモノハ其ノ旨備考ニ朱書スヘシ

右一金 昭領收候也 昭和 年 月 日 住所 殿 氏 名 印

(第十一號様式)

支出命令	管理者	係	主任	昭和 年 月 日	年度	經常部	款項	種目	記帳月日印
------	-----	---	----	----------	----	-----	----	----	-------

(第十二號様式)

書令命入戻金出支	昭 和 年 月 日	命 令	昭 和 年 度 經 常 (臨 時) 部	記 帳 日 月 印
管 理 者	係	任 主	款 項 種 目	戻 入 日 月 印
一金 何 程	但 何 々	右 戻 入 スヘシ		



書 證 收 領

第 何 號	昭和何年度	何 某納
一金何程	但シ何々	右 領 收
岐阜市 稲葉郡 用排水普通水利組合 出納吏 職 氏 名 印		

書 知 告 返 納

第 何 號	昭和何年度	何 某納
一金何程	但シ何々	右昭和 年 月 日限ッ本組合出納吏へ返納スヘシ
岐阜市 稲葉郡 用排水普通水利組合 管理者 官 氏 名 印		

(第十三號様式)

(第十四號様式)

昭 和 何 年 度  
現 金 内 譯 簿

岐阜市 稲葉郡 用排水普通水利組合

何 費		要 受		高 拂		高 残	
月 日	摘 要	受	高	拂	高	残	高
何 月 何 日	前年度繰越高		300.00			300.00	
何 月 何 日	何々費支拂			100.00		200.00	
△何 月 何 日	計						
△何 月 何 日	計						

- 備考
- 一、本簿ハ毎日ノ受拂ヲ毎ニ合算記載スヘシ
  - 二、殘高最終ニ於テ記帳スヘシ
  - 三、誤配アリテ後日發見シタルトキハ其ノ日ニ於テ事由金額ヲ記シ其ノ増減額ヲ整理スヘシ



(第十五號様式)

昭和何年度  
歳入簿

岐阜市  
稲葉郡 用排水普通水利組合

経常部	年月日	摘要	豫算額	歳入			豫算トノ 定差
				調定済額	収入済額	不納欠損額	
何	何	豫算議決高	356800			356800	
何	何	調定		175900		175900	
何	何	収入			98500	77400	
何	何	調定減		750		76650	
						181650	

備考  
 一、本簿ハ種目毎ニ口座ヲ設ケ見出シ入全部ヲ以テ一冊トス  
 二、一時借入金ハ別ニ口座ヲ設ケヘシ  
 三、過誤納金還付一時借入金償還ハ其ノ金額ヲ收入額欄ニ朱書スヘシ  
 四、調定額豫算ヲ超過シタルトキハ差額ヲ豫算額ト差ノ欄ニ朱書スヘシ  
 五、収入額調定額ヲ超過シタルトキハ差額ヲ收入未済額ノ欄ニ朱書スヘシ  
 六、調定減額ヲシタルトキハ差額欄ニ朱書シ豫算額ト調定額トノ差ノ欄ヲ整理スヘシ  
 七、其ノ他現金内訳簿備考ニ準ス

(第十六號様式)

昭和何年度  
歳出簿

岐阜市  
稲葉郡 用排水普通水利組合

経常部	年月日	摘要	仕拂		仕發	命令額	仕拂豫算残高
			額	増(減)			
何	何	豫算議決高	200000			200000	
何	何	何々何々某渡				15000	
何	何	何々ヨリ流用				20000	
何	何	何々何々某渡			20000	0	

備考  
 一、豫備費其ノ他ノ種目ヨリ豫算不足ノ爲メ充用スルハ流用ヲシタルトキハ流用増(減)欄ニ黒書スヘシ  
 二、他ノ種目ハ流用ヲシタルトキハ流用増(減)欄ニ朱書スヘシ



昭和何年度  
現金前渡及概算拂整理簿

岐阜市  
稲葉郡 用排水普通水利組合

現金前渡整理簿

月日	摘要	精算月日	精算支出額			精算戻入額			未精算額
			円	角	分	円	角	分	
何月何日	何々支拂ノ爲 何 某 渡							20000	
何月何日	精算(何某渡分)	何月何日	1	9	0	0	0	0	

概算拂整理簿

經常部	款		項		目		備考
	何	々	何	々	何	々	
月日	概算拂	摘要	精算月日	追給額	返納額	備考	
何月何日	1500	何地出張旅費 何 某 渡	何月何日	120	何月何日	精算追給	
何月何日	1300	何地出張旅費 何 某 渡	何月何日		何月何日	精算戻入	

備考 一、本簿ハ現金前渡概算拂各別トシ概算拂ハ科目毎ニ口取ヲ爲スモノトス  
二、第二十八條但書ニ依リ數年度繼續使用ノ場合ニハ年度毎ニ分冊シ得ル様區別スルコト  
(第十八號樣式)

昭和何年度  
保管金品受拂簿

岐阜市  
稲葉郡 用排水普通水利組合











財產臺帳

岐阜市 稲葉郡 用排水普通水利組合

所在地		土地之部		山林(何々)	
郡村大字字	地番	反別地價	管理方法	貸付料	造林地
何何何何	何番	一 <sup>反</sup> 二〇〇	六 <sup>円</sup> 〇〇〇		
					何年何月何日付買得登記

有價證券之部 公債、社債

種類名稱	記號	額面金額	拂込金額	利率	購入(申込)價	管理方法	摘要
何公債	何號	一〇〇 <sup>円</sup>	一〇〇 <sup>円</sup>			九五 <sup>円</sup> 郵便貯金局管	何年何月何日何某ヨリ買入

有價證券之部 株券

種類名稱	記號	株數	一株ノ金額	券面金額	拂込金額	購入(申込)價	管理方法	摘要
何々株券	は 二〇〇	五	二〇	一〇〇	五〇	七〇	組合金庫ニ收藏	何年何月何日何某ヨリ買入















示場ニ揭示スルヲ以テ公告式トス

第二條 本組合同規約規則其ノ他ノ公告ニシテ施行ヲ要スルモノハ發布ノ日ヨリ起算シ五日ヲ經テ施行ス但シ特ニ施行ノ期日ヲ指定シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第三條 本組合同規約規則其ノ他ノ公告ハ總テ發布ノ年月日ヲ記入シ組合管理者又ハ其ノ代理者之ニ署名ス

### ●組合聯合協議員選任ノ件

大正十五年六月二十六日議決

本組合ト蘇北普通水利組合及羽島郡中部普通水利組合ト聯合シ左ノ事業ヲ行フ爲組合聯合ヲ組織スル協議員二十名ヲ本組合ニ於テ選任セムトス

記

一、縣營境川放水事業ニ伴フ負擔金繰替納付金ノ支辨竝ニ其ノ附隨事業ノ施行及完成後引繼ヲ受ケタル時ハ其ノ維持管理

二、本聯合ニ關シ利益アル事業ニ補助又ハ寄附ヲナスコト

### ●縣營境川排水事業費寄附金負擔歩合ノ件

昭和元年度ヨリ起工スル境川排水改良縣營事業ニ對スル寄附金貳拾五萬圓ノ負擔歩合ニ關シ  
岐阜市 稲葉郡 用排水普通水利組合、蘇北普通水利組合及羽島郡中部普通水利組合ハ各協議員ヲ選出シ數次協議ヲ重ネ大正十五年十一月三日左ノ通負擔歩合ヲ決定セリ

一金貳拾萬貳千五百圓 (百分ノ八十一)

岐阜市 稲葉郡 用排水普通水利組合

一金參萬貳千五百圓 (百分ノ十三)

蘇北普通水利組合

一金壹萬五千圓 (百分ノ六)

羽島郡中部普通水利組合

計 貳拾五萬圓

### ●境川排水改良事業費負擔ノ件

大正十五年十二月二十七日議決

一、大正十五年度ヨリ縣營トシテ施行セララルヘキ境川排水改良事業費寄附金貳拾五萬圓ノ内金貳拾萬貳千五百圓(總額百分ノ八十一)ヲ本組合ノ負擔トシ本年度ニ於テ寄附スルモノトス

二、前項事業繰上施行ノ爲立替ヲ要スル金參拾六萬圓ハ其ノ百分ノ八十一ニ相當スル金額ヲ本組合ヨリ縣ノ指定スル時期ニ於テ納付スルモノトス

三、同事業費豫算額百拾萬圓ヲ超過スル場合ニ於テ其ノ超過額ノ負擔ヲ命セラレタルトキハ前項ノ負擔歩合ニヨリ本組合ノ負擔スヘキ金額ヲ縣ノ指定時期ニ寄附スルモノトス

### ●排水機補償費支辨及用地買收ノ件

昭和二年三月十三日議決

一、本組合第二期事業計畫ノ内大江川ノ排水機ヲ日置江村茶屋新田地内若ハ其ノ附近ニ於テ直接長良川ヘ排水シ得ル様設置スルトキハ現在日置江村茶屋新田ニ設置ノ排水機ハ其ノ機能ヲ失フニ至ルヘキヲ以テ之レカ補償トシテ昭和二年度ニ於テ金參千五百圓、



昭和三年度ニ於テ金參千圓ヲ交付スルモノトス  
 二、同計畫ノ内論田川延長工事ヲ施行セラルル際日置江村大字高河原ノ内西高河原ノ土地全部ヲ縣ニテ買收セラレサルトキハ組合ニ於テ其ノ殘部ヲ買收シ且家屋ノ移轉費ヲ支辨スルモノトス

岐阜縣訓令甲第三十七號

支 廳 市 役 所  
 町 村 役 場 水利組合管理者

市町村其ノ他ノ公共團體ニ於ケル地租、特別地稅、營業收益稅、所得稅ノ附加稅若ハ段別割及家屋稅附加稅（戶數割ヲ賦課スル市町村ノモノニ限ル）ノ制限外課稅若ハ間接國稅附加稅ノ賦課又ハ特別稅ノ新設增額變更ニ關スル議決ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ其ノ稟請書ニ左ノ書類ヲ添付スヘシ

明治四十三年訓令甲第三十二號訓令ハ之ヲ廢止ス

昭和二年五月二十五日

岐阜縣知事 大野 綠 一 郎

- 一、歲入一覽表 第一號様式ニ依リ調製スヘシ
- 一、歲出一覽表 第二號様式ニ依リ調製スヘシ

歲出一覽表ハ經濟ヲ異ニスルモノニ在リテハ各別ニ之ヲ調製スヘシ、第二回目以後ノ稟請ニハ前回稟請ノ際ニ添付シタル歲出一覽表ハ之ヲ添付スルヲ要セス  
 財源ヲ特定シタル費目ニ付テハ摘要欄内ニ其ノ財源ヲ附記スヘシ

一、地租、特別地稅、營業收益稅、所得稅ノ附加稅若ハ段別割及戶數割ヲ賦課スル市町村ニ於ケル家屋稅附加稅ノ制限外課稅若ハ間接國稅附加稅ノ賦課又ハ特別稅ノ新設、增額變更ニ關スル議決書ノ謄本及議決ノ理由書  
 議決書ハ別紙第三號様式ニ依リ調製シ、特別稅ノ新設、增額、變更ニ在リテハ其ノ旨ヲ明記スヘシ

第一號

△印ハ朱書

何縣何郡(市)村「昭和」何年度歲入一覽表

△(第一例)

費 途	附 加 稅				特 別 稅			其ノ他 ノ收入	合 計
	地 租	特別地稅	家屋稅	營業 收益稅	何々	戶數割 段別割	何々		
本 市 町 費	0.000 円	0.000 円	0.000 円	0.000 円	0.000 円	0.000 円	0.000 円	0.000 円	0.000 円
何町村外何ヶ 町村組合費									
本 町 何 區 費									
何 々									
計									







備考

凡例

- 一、豫算ノ議決二回以上ニ涉リタルトキハ今回議決ニ係ル分ヲ墨書シ從前ノ議決ニ係ル分ヲ朱書スヘシ
- 一、其ノ他ノ收入欄ニハ課税外一切ノ收入即チ財産ヨリ生スル收入、使用料及手数料、國庫及府縣交付金、雜收入等ヲ合計シ附記ニ其ノ内譯ヲ記載スヘシ
- 一、地租附加税ノ附記ハ第一回議決ノトキハ甲號ニ依リ、第二回目以後議決ノトキハ乙號ニ依ル、但シ從前ノ議決二回以上ニ涉リタル場合ニ於テ前後地租額ヲ異ニスルトキハ附記ヲ各別ニ記載シ其ノ事由ヲ備考ニ記載スヘシ、今回ノ議決ト從前ノ議決ト地租額ヲ異ニスル場合其ノ事由ノ記載方ニ付又同シ
- 一、營業收益税、所得税、戸數割ヲ賦課スル市町村ニ於ケル家屋税ノ附加税又ハ間接國税附加税ノ附記モ亦地租附加税ノ例ニ依ル
- 一、市町村内ノ各部賦課ノ率ヲ異ニシ又ハ負擔ノ區域ヲ異ニスルトキハ歲入一覽表ハ第二例ニ依リ負擔ノ同シキ區域毎ニ調製スヘシ
- 一、一部賦課及不均一課率ノ賦課ニ付許可ヲ受クルコトヲ要スルモノ及起債ニシテ縣知事ノ許可ヲ受クルモノニアリテハ其ノ許可ヲ受ケタル旨及其ノ年月日ヲ備考ニ記載スヘシ

第一號

何縣何郡(市)町「昭和」何年度歲入一覽表

△(第二例)

備考

第二號

何縣何郡(市)何町「昭和」何年度歲出一覽表  
經常費

費途	附加税		特別税		其ノ他 ノ收入 合計
	地租	特別地稅 家屋稅	營業 收益稅	何々	
△何區費 本市町村費	(附記) 記載方第 一例ニ同				
計					
△何區費 本市町村費					
計					
合計					

科目	金額	摘要
		要



神 社 費	〇〇〇〇	神饌幣帛料
會 議 費		議員實費辨償額、書記給料、印刷料、筆工料、消耗品費、雇給、通信費
役所(役場)費		給料、雜給、需要費、常時修繕費、通信運搬費、備品費、消耗品費
上 木 費		道路、橋梁各修繕費、堤防修繕費何圓、用惡水路修繕費何圓、樋門修繕費何圓
教 育 費		教員給料、同思給金、備品費、消耗品費、修繕費
衛 生 費		種痘費何圓、傳染病豫防費何圓、何々何圓
勸 業 費		害蟲驅除費、勸業會費
救 助 費		貧困者救助費、罹災救助費
警 備 費		消防費、水防費何圓
基本財産造成費		基本財産造成費、小學校(何學校)基本財産造成費
財 産 費		管理費、何
諸税及負擔		地租、地租附加税、何町村組合費負擔何圓
何 々		何々何圓

豫 備 費		豫算外ノ費用又ハ豫算超過ノ費用ニ充ツヘキ分
計		
臨 時 費		
教 育 費		何小學校營繕費、何々
土 木 費		道路橋梁費、何々何圓
公 債 費		某年度起債ノ内本年度償還元利金何圓
何 々		何々何圓
計		
合 計		

凡 例

一、明治四十一年法律第三十七號第五條第一項第二項、大正十五年法律第二十四號第七條第一項第二項、大十五年勅令第三百三十九號第十條第二項第三項ニ依リ制限外課税ヲ爲シ得ヘキ費目ニ付テハ其ノ豫算ノ金額ヲ摘要欄ニ記載スヘシ

一、追加豫算ノ分ハ別ニ調製スヘシ



第三號

何縣何市(何市) 何郡何町(何町) 何郡何區(何區) 會議決書謄本

本市(町村區本市) 費支辨ノ爲左ノ課率ヲ以テ(左ノ課率ノ範圍内ニ於テ別ニ議決ノ上) 地租附加稅、特別地租附加稅、段別割、營業收益稅附加稅、所得稅附加稅及家屋稅附加稅ヲ賦課(追加賦課)スルモノトス

一、地租附加稅

宅地地租金壹圓ニ付金若干(以內)

其ノ他地租金壹圓ニ付金若干(以內)

地價〇・〇三七ノ百分ノ若干(以內)

田(畑)一段歩ニ付金若干(以內)

何々一段歩ニ付金若干(以內)

一、營業收益稅附加稅

本稅壹圓ニ付金若干(以內)

一、所得稅附加稅

本稅壹圓ニ付金若干(以內)

一、家屋稅附加稅

本稅壹圓ニ付金若干(以內)

但シ昭和何年度分(自昭和何年度至何年度何年度分) 昭和何年何月何日議決

凡 例

一、課率ハ厘位以下忽位ニ止ラサルトキハ四捨五入ノ法ヲ以テ忽位ニ止ムルモノトス

一、一部賦課ニ在リテハ賦課ノ區域及課率ヲ不均一課率ノ賦課ニ在リテハ其ノ課率ヲ明記スルモノトス

飛驒支廳長 殿  
各市町村長  
各水利組合管理者

內務部長

二地第六六二號

昭和二年五月二十五日

市町村其ノ他公共團體ノ課稅許可

稟請書ニ添付スヘキ書類ノ件依命通牒

市町村其ノ他公共團體ニ於ケル課稅許可稟請書ニ添付スヘキ書類様式ノ件本日訓令第三十七號ヲ以テ訓令相成候處地益調、負債調、特別稅ニ關スル收支調等ハ尙從前ノ通添付ヲ要スル義ニ付御了知相成度

岐阜市用排水普通水利組合設置區域指定

水利組合法第十條ニ依リ 岐阜市用排水普通水利組合設置區域左ノ通指定ス

岐阜市全部

但長良川堤外ヲ除ク

稻葉郡加納町全部

同 郡本莊村全部

同 郡三里村全部

(大正十五年三月十八日岐阜縣告示第百八號)  
(大正十五年七月十日岐阜縣告示二百九十號)



同 郡鏡島村全部  
 但長良川堤外ヲ除ク  
 同 郡市橋村全部  
 但長良川堤外ヲ除ク  
 同 郡日置江村全部  
 但長良川及境川堤外ヲ除ク  
 同 郡佐波村全部  
 但境川堤外ヲ除ク  
 同 郡鶉村全部  
 但境川堤外ヲ除ク  
 同 郡茜部村全部  
 但境川堤外ヲ除ク  
 同 郡厚見村全部  
 但境川堤外ヲ除ク  
 同 郡南長森村全部  
 但大字辛島及大字東中島ヲ除ク  
 同 郡北長森村全部  
 但大字辛島及大字東中島ヲ除ク  
 同 郡那加村ノ内左記以西全部  
 元新加納村外六ヶ村入會地  
 二四七番 五一八番  
 二五一番 二五〇番  
 二四九番 二四八番

字影野 五番

大字前洞字甥田 三、七〇九番 三、七一四番 三、七一〇番 三、七一一番  
 三、七一二番 三、七一八番 三、七二〇番  
 大字前洞字巾下 三、四六八番 三、四六六番 三、四六五番 三、四七四番  
 三、四六三番 三、四六〇番 三、四五九番 三、四五七番 三、四五八番  
 三、四五四番 三、四五六番 三、二九八番 三、三〇〇番 三、二九九番  
 三、三〇二番 三、三〇三番 三、三〇五番 三、三〇九番 三、三〇八番  
 三、二六九番 三、二六七番 三、二六八番 三、〇八六番 三、二六六番  
 三、二六五番 三、〇八二番 三、〇八三番 三、〇八五番 三、〇七五番  
 三、〇七三番 三、〇七二番  
 大字前洞字濱井場 一、一九五番 一、一九二番 一、一九四番 一、一九三番  
 一、一八五番 一、一八六番 一、一八八番 一、一八四番  
 大字前洞字金附 九九〇番 九九一番 九九六番 九九八番  
 九九九番  
 大字前洞字東野 一一番 一二番 八番 九番 一三番  
 稻葉郡蘇原村ノ内左記以西全部  
 大字大島字サナブリ 一二二番 一二五番 一二四番 一二三番  
 一二二番 一二二番 一一七番 一一六番 一一三番  
 一一〇番 一〇九番



大字大島字西島 四番 七番 六番 二〇番 二一番 二四番 二三番

八〇

●岐阜市 稲葉郡 用排水普通水利組合管理者指定

(大正十五年六月七日 岐阜縣告示第二百一號)

岐阜市 稲葉郡 用排水普通水利組合 本年三月岐阜縣告示第百八號區域ノ通設置ス其ノ管理者左ノ通り

稲葉郡長

郡役所廢止ニ伴ヒ大正十五年七月一日岐阜縣告示第二百七十六號ヲ以テ左ノ如ク水利組合 管理者ヲ指定セラレタリ

記

組合名稱	管理者氏名
岐阜市 稲葉郡 用排水普通水利組合	地方事務官 朝比奈 泰

岐阜縣告示第二十三號

左記河川ヲ縣費(改良費ノミ)支辨河川ニ編入ス

昭和二年一月十九日

岐阜縣知事 鈴木信太郎

川名 同 上 區 域

境 川 右岸 稻葉郡蘇原村大字大島 縣道山崎橋以下長良川合流点ニ至ル  
左岸 同 郡同 村大字大島

逆 川 右岸 羽島郡竹ヶ鼻町大字駒塚 木曾川合流点ニ至ル  
左岸 同 郡下中島村大字西加賀野井



大字大島字西島 四番 七番 六番 二〇番 二一番 二四番 二三番

八〇

●岐阜市 用排水普通水利組合管理者指定

(大正十五年六月七日 岐阜縣告示第二百一號)

岐阜市 稲葉郡 用排水普通水利組合本年三月岐阜縣告示第百八號區域ノ通設置ス其ノ管理者左ノ通り

稲葉郡長

郡役所廢止ニ伴ヒ大正十五年七月一日岐阜縣告示第百七十六號ヲ以テ左ノ如ク水利組合 管理者ヲ指定セラレタリ

記

組合名稱	管理者氏名
岐阜市 稲葉郡 用排水普通水利組合	地方事務官 朝比奈 泰

岐阜縣告示第二十三號

左記河川ヲ縣費(改良費ノミ)支辨河川ニ編入ス

昭和二年一月十九日

岐阜縣知事 鈴木信太郎

川名	同 上 區 域
境川 [右岸] [左岸]	稲葉郡蘇原村大字大島 縣道山崎橋以下長良川合流点ニ至ル
逆川 [右岸] [左岸]	羽島郡竹ヶ鼻町大字駒塚 木曾川合流点ニ至ル
	同 郡下中島村大字西加賀野井

水利組合法令



# ● 水利組合法

(明治四十一年四月十) 改(大正十五年六月二十)  
(三日法律第五十號) 正(四日法律第七十九號)

## 第一章 總 則

第一條 水利土功ニ關スル事業ニシテ特別ノ事情ニ依リ府縣其他ノ地方公共團體ノ事業ト爲スコトヲ得サルモノアル場合ニ於テハ水利組合ヲ設置スルコトヲ得

第二條 水利組合ハ法人トス

第三條 水利組合ハ組合同規約ヲ設ケ組合ニ關スル重要ノ事項ヲ規定スヘシ  
2 組合同規約ハ之ヲ告示スヘシ其ノ改正アリタルトキ亦同シ

第四條 水利組合ハ分チテ左ノ二種トス

一 普通水利組合

二 水害豫防組合

第五條 普通水利組合ハ灌溉排水ニ關スル事業ノ爲設置スルモノトス

第六條 普通水利組合ハ組合同事業ノ爲利益ヲ受クル土地ヲ以テ區域トシ其ノ區域内ニ於テ土地ヲ所有スル者ヲ以テ組合員トス但シ舊慣アルモノハ其ノ舊慣ニ依リ區域ヲ劃スルコトヲ得

第七條 水害豫防組合ハ水害防禦ニ關スル事業ノ爲設置スルモノトス

第八條 水害豫防組合ハ水害ヲ受クヘキ土地ヲ以テ區域トシ其ノ區域内ニ於テ土地、家屋及組合同規約ニ指定スル工作物ヲ所有スル者ヲ以テ組合員トス但シ舊慣アルモノハ其ノ舊



慣ニ依リ區域ヲ劃スルコトヲ得

二

第九條 水害豫防組合ニ於テ其ノ區域全部ニ涉リ灌溉排水ニ關スル事業ノ必要アルトキハ組合會ノ議決ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ得テ其ノ事業ヲ兼營スルコトヲ得

2 前項ノ場合ニ於テ灌溉排水ノ事業ニ關スル部分ニ付テハ普通水利組合ノ規定ヲ準用ス

## 第二章 組合ノ設置及廢止

第十條 水利組合ヲ設置セムトスルトキハ府縣知事ニ於テ組合區域ヲ指定シ關係地ノ市町村長ノ内一人又ハ數人ニ創立委員ヲ命スヘシ但シ普通水利組合ノ設置ニ付テハ組合員タルヘキ者五人以上ノ申請又ハ組合事業ニ關係アル市町村長ノ具申アル場合ニ限ル(大正十五年法律第七十九號改正)

2 第三十三條第三項ノ規定ハ創立委員ニ之ヲ準用ス

第十一條 創立委員ハ組合規約案ヲ調製シ關係者ノ總會議ニ付スヘシ關係者百人以上アルトキハ府縣知事ノ許可ヲ得テ便宜總代人ヲ選ハシメ其ノ集會ヲ以テ總會議ニ充ツルコトヲ得

2 總會議又ハ總代人會ノ議長ハ創立委員ヲ以テ之ニ充ツ創立委員數人アルトキハ府縣知事其ノ内一人ヲ指定ス

3 總會議又ハ總代人會ハ關係者又ハ總代人ノ三分ノ二以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス但シ特別ノ事情アルトキハ創立委員ハ府縣知事ノ定ムル所ニ依リ關係者又ハ總代人ノ代人ヲ許スコトヲ得

4 總會議又ハ總代人會ノ議事ハ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

5 總會議費又ハ總代人會費其ノ他創立ニ關スル費用ハ組合設置ノ後組合費ヨリ之ヲ支辨スヘシ

第十二條 創立委員ハ組合規約ノ議決ヲ經タルトキ府縣知事ニ其ノ許可ヲ請フヘシ

第十三條 普通水利組合關係者ノ總會議又ハ總代人會ニ於テ議決シタル組合規約又ハ其ノ議決ノ方法令ニ背キ又ハ公益ニ害アリト認ムルトキハ府縣知事ハ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ內務大臣ノ指揮ヲ請フヘシ

2 水害豫防組合關係者ノ總會議若ハ總代人會成立セス又ハ其ノ議決スヘキ事件ヲ議決セス又ハ議決スルモ其ノ議決公益ニ害アリト認ムルトキハ府縣知事ニ於テ其ノ議決スヘキ事件ヲ處分スルコトヲ得

第十四條 水利組合ハ組合規約ノ許可又ハ前條第二項ニ依ル組合規約ノ設定ニ依リ成立ス

2 前項ノ場合ニ於テハ府縣知事ハ組合設置ノ旨ヲ告示スヘシ

第十五條 水利組合ノ廢置分合又ハ區域ノ變更ハ普通水利組合ニ在リテハ組合會ノ議決又ハ協議ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ得テ之ヲ行ヒ水害豫防組合ニ在リテハ組合會ノ意見ヲ徵シ府縣知事之ヲ行フ

2 前項ノ場合ニ於テ組合規約ノ設定若ハ改正又ハ財産處分ヲ要スルトキハ組合會ノ議決又ハ協議ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ但シ水害豫防組合ニ於テ協議調ハサルトキハ府縣知事之ヲ定ム

三



3 水利組合ハ民法上ノ義務ヲ完了スルニ非サレハ之ヲ廢止スルコトヲ得ス  
4 普通水利組合ノ區域ヲ變更スル場合ニ於テ新ニ組合區域ニ編入セラルル土地アルトキハ管理者ハ其ノ土地ノ關係者ノ同意又ハ關係者ノ總會議若ハ總代人會ノ同意ヲ得ルヲ要ス

5 前項總會議又ハ總代人會ニ關シテハ第十一條ノ規定ヲ準用ス但シ創立委員ノ職務ハ管理者之ヲ行フ

第十六條 水利組合ノ廢置分合又ハ區域ノ變更アリタルトキハ府縣知事ハ之ヲ告示スヘシ

### 第二章 組合ノ會議

第十七條 水利組合ニ組合會ヲ置ク

第十八條 組合會議員ハ其ノ被選舉權アル者ニ就キ選舉人之ヲ選舉ス

2 組合會議員選舉人被選舉人ノ資格議員ノ定數任期及選舉ニ關スル事項ハ組合同規約ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

3 組合會議員ノ選舉ヲ終リタルトキハ管理者ハ直ニ選舉錄ノ謄本ヲ添ヘ之ヲ第一次監督官廳ニ報告スヘシ

4 當選者定リタルトキハ管理者ハ直ニ其ノ住所氏名ヲ告示シ併セテ之ヲ第一次監督官廳ニ報告スヘシ

5 組合會議員ノ選舉ニ付テハ衆議院議員選舉ニ關スル罰則ヲ準用ス

第十九條 選舉ノ規定ニ違反スルコトアルトキハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スルノ虞アル場合

ニ限リ其ノ選舉ノ全部又ハ一部ヲ無効トス

2 當選者ニシテ被選舉權ヲ有セサルトキハ其ノ當選ヲ無効トス

第二十條 選舉人選舉又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選舉ニ關シテハ選舉ノ日ヨリ當選ニ關シテハ告示ノ日ヨリ七日以内ニ之ヲ管理者ニ申出ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ管理者ハ十四日以内ニ組合會ノ決定ニ付スヘシ組合會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ決定スヘシ

2 前項組合會ノ決定ニ不服アル者ハ第一次監督官廳ニ訴願スルコトヲ得

3 第一次監督官廳ニ於テ選舉又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選舉又ハ當選ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之ヲ處分スルコトヲ得

4 前項ノ處分アリタルトキハ其ノ前後ニ爲シタル異議ノ申立及組合會ノ決定ハ無効トス

5 本條第一次監督官廳ノ處分又ハ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得(大正十五年法律第七十九號改正)

6 組合會議員ハ選舉又ハ當選ニ關スル異議ノ決定訴願ノ裁決確定シ又ハ判決アル迄ハ會議ニ列席シ議事ニ參與スルノ權ヲ失ハス

第二十一條 組合會議員ニシテ被選舉權ヲ有セサル者ハ其ノ職ヲ失フ其ノ被選舉權ニ關スル異議ハ組合會之ヲ決定ス

2 管理者ニ於テ組合會議員中被選舉權ヲ有セサル者アリト認ムルトキハ之ヲ組合會ノ決定ニ付スヘシ

3 本條組合會ノ決定ニ不服アル者ハ第一次監督官廳ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁



判所ニ出訴スルコトヲ得(同上)

4 第二十條第六項ノ規定ハ本條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十二條 前二條ニ規定スル異議ノ決定訴願ノ裁決及第二十條第三項ノ處分ハ直ニ之ヲ告示スヘシ

第二十三條 組合會ハ組合ニ關スル事件ヲ議決ス

2 組合會ノ議決スヘキ事件ノ概目左ノ如シ

- 一 組合規約ヲ設定改正スル事
  - 二 組合費ヲ以テ支辨スヘキ事業
  - 三 歳入出豫算ヲ定ムル事
  - 四 決算報告ヲ認定スル事
  - 五 法律勅令ニ定ムルモノヲ除クノ外使用料手数料加入金組合費及夫役現品ノ賦課徴收ニ關スル事
  - 六 不動産ノ管理處分及取得ニ關スル事
  - 七 積立基金ノ設置管理及處分ニ關スル事
  - 八 歳入出豫算ヲ以テ定ムル者ヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ拋棄ヲ爲ス事
  - 九 財産及營造物ノ管理方法ヲ定ムル事
  - 十 組合吏員ノ身元保證ニ關スル事
  - 十一 組合ニ係ル訴願訴訟及和解ニ關スル事
- 第二十四條 組合會ハ組合ノ事務ニ關スル書類及計算書ヲ檢閲シ管理者ノ報告ヲ請求シテ

事務ノ管理議決ノ執行及出納ヲ檢査スルコトヲ得

2 組合會ハ議員中ヨリ委員ヲ選舉シ管理者又ハ其ノ指定シタル吏員立會ノ上實地ニ就キ前項組合會ノ權限ニ屬スル事件ヲ行ハシムルコトヲ得

第二十五條 組合會ハ管理者ヲ以テ議長トス管理者故障アルトキハ其ノ代理者議長ノ職務ヲ代理ス管理者及其ノ代理者共ニ故障アルトキハ臨時ニ議員中ヨリ假議長ヲ選舉スヘシ

2 組合會ハ組合ノ區域數市町村ニ涉ルモノニ在リテハ組合規約ヲ以テ議員中ヨリ議長副議長各一人ヲ選舉スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ議長故障アルトキハ副議長之ニ代リ議長副議長共ニ故障アルトキハ前項ノ例ニ依ル

3 前項選舉ニ關スル事項ハ組合規約ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

4 議員中ヨリ議長ヲ選舉スル組合ニ在リテハ議長ハ會議録ヲ添ヘ會議ノ結果ヲ管理者ニ報告スヘシ

第二十六條 管理者及其ノ委任又ハ囑託ヲ受ケタル者ハ會議ニ於テ議事ニ付辨明ヲ爲スコトヲ得

第二十七條 組合會ハ毎年一回通常會ヲ開キ其ノ他臨時ノ必要アル毎ニ臨時會ヲ開ク

2 臨時會ニ付スヘキ事件ハ招集ノ告知ト共ニ之ヲ告知スヘシ但シ其ノ開會中急施ヲ要スル事件アルトキハ管理者ハ直ニ之ヲ其ノ會議ニ付スルコトヲ得

3 組合會ハ管理者之ヲ招集ス議員定數三分ノ一以上ノ請求アルトキハ管理者ハ之ヲ招集スヘシ



- 4 管理者ハ必要アル場合ニ於テハ會期ヲ定メテ組合會ヲ招集スルコトヲ得
- 5 組合會ノ會議ハ公開ス但シ左ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス
  - 一 管理者ヨリ傍聽禁止ノ要求ヲ受ケタルトキ
  - 二 議長ニ於テ傍聽禁止ノ必要アリト認メタルトキ
  - 三 議員三人以上ノ發議ニ依リ傍聽禁止ヲ可決シタルトキ
- 6 前項第三號ニ依ル發議ハ討論ヲ用キス其ノ可否ヲ決スヘシ
- 7 招集ハ開會ノ日ヨリ少クトモ三日前ニ告知スヘシ但シ急施ヲ要スル場ハ此ノ限ニ在ラス
- 8 組合會ハ管理者之ヲ開閉ス
- 第二十八條 組合會ハ議員定數ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス但シ同一ノ事件ニ付招集再回ニ至ルモ仍半數ニ滿タサルトキ又ハ招集ニ應スルモ出席議員定數ヲ闕キ議長ニ於テ更ニ出席ヲ催告シ仍半數滿タサルトキハ此ノ限ニ在ラス
- 第二十九條 組合會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル
- 第三十條 組合規約ノ設定改正及普通水利組合ノ廢置分合又ハ區域ノ變更ニ關スル議決ハ議員定數ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス
- 第三十一條 組合會ノ職務權限及處務規程ニ關シテハ本章中規定スルモノノ外市制町村制ノ規定ヲ準用ス
- 第三十二條 特別ノ事情アル組合ニ於テハ府縣知事ハ組合會ヲ設ケス組合員ノ總會ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得但シ總會ニ出席スヘキ組合員ニ關シテハ組合規約ノ定ムル所ニ依ル
- 2 組合總會ニ關シテハ組合會ニ關スル規定ヲ準用ス

### 第四章 組合ノ管理

- 第三十三條 府縣知事ハ水利組合關係地ノ市町村長ノ内一人ヲ指定シ其ノ組合ノ事務ヲ管理セシムヘシ但シ府縣知事必要アリト認ムルトキハ官吏ヲ指定シ組合ノ事務ヲ管理セシムルコトヲ得(大正十五年法律第七十九號改正)
- 2 府縣知事ニ於テ管理者ヲ指定シタルトキハ直ニ之ヲ告示スヘシ
- 3 管理者タル市町村長故障アルトキハ其ノ代理者之ヲ代理ス(同上)
- 4 組合ノ區域數市町村ニ涉ル場合ニ於テ選舉區又ハ選舉分會ヲ設ケタルトキハ各市町村長又ハ其ノ代理者ハ管理者ノ求ニ依リ議員選舉ニ關スル事務ヲ管理スヘシ組合員及組合費賦課物件ノ異動ニ關スル事務ニ付テモ亦同シ
- 第三十四條 組合ノ出納其ノ他會計事務ハ官吏管理者タル場合ハ府縣知事ノ指定シタル官吏又ハ府縣吏員ヲシテ之ヲ掌ラシメ市町村長管理者タル場合ハ其ノ市町村收入役ヲシテ掌ラシムヘシ(同上)
- 2 特別ノ事情アル場合ニ於テハ管理者ニ於テ第三十六條ノ吏員中ニ就キ會計事務ヲ掌ル者ヲ定ムルコトヲ得
- 3 前項會計事務ヲ掌ル吏員ニ付テハ第一次監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ
- 第三十五條 組合ハ組合規約ヲ以テ臨時又ハ常設ノ委員ヲ置クコトヲ得
- 2 委員ノ組織選任任期等ニ關スル事項ハ組合規約ヲ以テ之ヲ定ムヘシ
- 第三十六條 組合ハ書記技術員其ノ他ノ有給吏員ヲ置クコトヲ得



2 吏員ハ管理者之ヲ任免ス

第三十七條 管理者ハ組合ヲ代表シ組合一切ノ事務ヲ擔任ス

2 管理者ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ

- 一 組合會ノ議決ヲ經ヘキ事件ニ付其ノ議案ヲ發シ及其ノ議決ヲ執行スル事
- 二 財産及營造物ヲ管理スルコト
- 三 收入支出ヲ命令シ及會計ヲ監督スル事
- 四 證書及公文書類ヲ保管スル事
- 五 法令又ハ組合會ノ議決ニ依リ使用料手数料加入金組合費及夫役現品ヲ賦課徴收スル事

第三十八條 管理者ハ組合吏員ヲ指揮監督シ其ノ任命ニ係ル組合吏員ニ對シテハ懲戒ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責及五圓以下ノ過怠金トス

第三十九條 組合會ノ議決若ハ選舉其ノ權限ヲ越ヘ又ハ法令若ハ組合規約ニ背クト認ムルトキハ管理者ハ其ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シ其ノ執行ヲ要スルモノニ在リテハ其ノ執行ヲ停止シ之ヲ再議ニ付シ又ハ再選舉ヲ行ハシメ仍議決ニ付テハ其ノ議決ヲ改メサルトキハ第一次監督官廳ノ指揮ヲ請フヘシ但シ場合ニ依リ再議ニ付セスシテ直ニ指揮ヲ請フコトヲ得

2 監督官廳ハ前項ノ議決又ハ選舉ヲ取消スコトヲ得但シ指揮ノ申請アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

3 前二項府縣知事ノ處分ニ不服アル組合會ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得(大正十五年

法律第七十九號改正)

4 組合會ノ議決公益ヲ害シ又ハ組合ノ收支ニ關シ不適當ナリト認ムルトキハ管者理ハ其ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シ其ノ執行ヲ要スルモノニ在リテハ其ノ執行ヲ停止シ之ヲ再議ニ付シ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ第一次監督官廳ノ指揮ヲ請フヘシ但シ場合ニ依リ再議ニ付セスシテ直ニ指揮ヲ請フコトヲ得

5 前項第一次監督官廳ノ處分ニ不服アル組合會ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得(同上)

第四十條 組合會成立セス又ハ第二十八條但書ノ場合ニ於テ仍會議ヲ開クコト能ハサルトキハ管理者ハ第一次監督官廳ニ具狀シテ指揮ヲ請ヒ其ノ議決スヘキ事件ヲ處分スルコトヲ得

2 組合會ニ於テ其ノ議決スヘキ事件ヲ議決セサルトキハ前項ノ例ニ依ル

3 組合會ノ決定スヘキ事件ニ關シテハ前二項ノ例ニ依ル此ノ場合ニ於ケル管理者ノ處分ニ關シテハ各本條ノ規定ニ準シ訴願及訴訟ヲ提起スルコトヲ得

4 本條ノ處分ハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ組合會ニ報告スヘシ  
第四十一條 組合會ノ權限ニ屬スル事件ニ關シ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ組合會成立セス又ハ管理者ニ於テ之ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキハ管理者ハ專決處分シ次回ノ會議ニ於テ之ヲ組合會ニ報告スヘシ

2 前項管理者ノ處分ニ關シテハ各本條ノ規定ニ準シ訴願及訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第四十二條 委員ハ管理者ノ指揮監督ヲ承ケ財産又ハ營造物ヲ管理シ其ノ他組合事務ノ一部ヲ調査シ又ハ一時ノ委託ニ依リ事務ヲ處辨ス



第四十三條 吏員ハ管理者ノ命ヲ承ケ庶務ニ従事ス

第四十四條 組合會議員及委員ハ職務ノ爲要スル費用ノ辨償ヲ受クルコトヲ得官吏又ハ市町村長ニ於テ管理者タル職務ヲ行フ爲要スル費用第三十三條第四項ノ事務ヲ行フ爲要スル費用及官吏、府縣吏員又ハ市町村收入役ニ於テ組合ノ會計事務ヲ行フ爲要スル費用ニ付亦同シ（大正十五年法律第七十九號改正）

2 吏員ニハ退隱料退職給與金死亡給與金及遺族扶助料ヲ支給スルコトヲ得

第四十五條 費用辨償額給料類旅費額及其ノ支給方法ハ組合會ノ議決ヲ經第一次監督官廳ノ許可ヲ得テ之ヲ定ム

2 退隱料退職給與金死亡給與金遺族扶助料及其ノ支給方法ハ組合會ノ議決ヲ經內務大臣ノ許可ヲ得テ之ヲ定ム

第四十六條 費用辨償、給料、旅費、退隱料、退職給與金、死亡給與金及遺族扶助料ハ組合ノ負擔トス

## 第五章 組合ノ財務

第四十七條 組合ハ其ノ必要ナル費用及法律勅令ニ依リ組合ノ負擔ニ屬スル費用ヲ支辨スルノ義務ヲ負フ

第四十八條 普通水利組合費ハ土地ニ對シテ之ヲ賦課シ水害豫防組合費ハ土地及家屋其ノ他第八條ニ依ル工作物ニ對シテ之ヲ賦課スルモノトス但シ特別ノ事情アルモノハ土地ニ對シテノミ之ヲ賦課スルコトヲ得

2 普通水利組合ニ於テハ新ニ區域内ニ編入スル土地ニ付組合費ノ外一時ノ加入金ヲ徵收スルコトヲ得

第四十九條 組合ハ其ノ事業ノ爲夫役現品ヲ組合員ニ賦課スルコトヲ得

2 水害豫防組合ニ在リテハ夫役ニ限リ其ノ區域内總居住者ニ之ヲ賦課スルコトヲ得

3 夫役現品及其ノ代納ニ關スル規定ハ組合格約ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第五十條 非常災害ノ爲必要アルトキハ組合ハ他人ノ土地ヲ一時使用シ又ハ其ノ土石竹木其ノ他ノ現品ヲ使用シ若ハ收用スルコトヲ得但シ其ノ損失ヲ補償スルコトヲ要ス

2 水害豫防組合ニ於テハ前項ノ外出水ノ爲危険アルトキニ限リ管理者警察官又ハ監督官廳ニ於テ組合區域内ノ總居住者ヲシテ防禦ニ從事セシムルコトヲ得

3 第一項ニ依リ補償スヘキ金額ハ協議ニ依リ之ヲ定ム協議調ハサルトキハ鑑定人ノ意見ヲ徵シ府縣知事之ヲ決定ス其ノ決定ニ不服アル者ハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得

4 第一項土地ノ一時使用ニ關スル組合ノ處分ニ不服アル者ハ第一次監督官廳ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得（大正十五年法律第七十九號改正）

第五十一條 組合内ノ一部ニ對シテ利益アル事件ニ關シテハ組合ハ不均一ノ賦課ヲ爲シ又ハ組合内ノ一部ニ對シテ賦課スルコトヲ得

2 舊慣アルモノハ組合格約ヲ以テ特別ノ賦課方法ヲ定ムルコトヲ得

第五十二條 組合費ノ賦課ヲ免除スヘキモノニ關シテハ市町村稅ノ例ニ依ル

第五十三條 組合ハ其ノ營造物ヲ事業ノ妨害ト爲ラサル範圍内ニ於テ他ノ目的ニ使用セシムルコトヲ得



2 前項ノ使用ニ付テハ使用料ヲ徴收スルコトヲ得

第五十四條 組合ノ區域數市町村ニ涉ルトキハ各市町村ハ管理者ノ求ニ依リ其ノ市町村内ニ於ケル組合費其ノ他組合ノ收入ノ賦課徴收ヲ爲スヘシ

2 前項組合費其ノ他組合ノ收入ノ徴收ニ關シテハ組合規約ノ規定ニ依リ徴收金百分ノ四以内ヲ其ノ市町村ニ交付スルコトヲ得

第五十五條 市町村ハ避クヘカラサル災害ニ依リ既收ノ組合費其ノ他組合ノ收入ヲ失ヒタルトキハ其ノ納入義務ノ免除ヲ組合ニ請求スルコトヲ得

2 組合ニ於テ前項ノ請求ニ應セサルトキハ市町村ハ其ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ組合ノ第一次監督官廳ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得(大正十五年法律第七十九號改正)

3 前項ノ裁決ニ對シテハ組合ヨリモ亦訴願ヲ提起スルコトヲ得

4 本條ノ裁決書ハ之ヲ市町村及組合ニ交付スヘシ

第五十六條 組合費其ノ他組合ノ收入ノ督促及滯納處分ニ關シテハ市町村税ノ例ニ依ル

2 前項ノ場合ニ關シテハ第五十四條第一項ノ規定ヲ準用ス

第五十七條 組合費其ノ他組合ノ收入ノ督促ニ付テハ手数料ヲ徴收スルコトヲ得

2 前條第二項ノ場合ニ於テハ前項ノ督促手数料ヲ其ノ市町村ニ交付スヘシ組合ノ徴收金ハ市町村ノ徴收金ニ次テ先取特權ヲ有シ其ノ追徴還付及時效ニ付テハ國稅ノ例ニ依ル

第五十八條 管理者ハ組合費ノ賦課ヲ受ケタル者ノ中特別ノ事情アル者ニ對シ會計年度内ニ限リ其ノ納付ノ延期ヲ許スコトヲ得其ノ年度ヲ越ユル場合ハ組合會ノ議決ヲ經ヘシ

2 管理者ハ特別ノ事情アル者ニ限リ組合會ノ議決ヲ經テ組合費ヲ減免スルコトヲ得

第五十九條 組合費及夫役現品ノ賦課ヲ受ケタル者其ノ賦課ニ付違法又ハ錯誤アリト認ムルトキハ賦課令狀ノ交付後三月以内ニ管理者ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

2 加入金使用料及手数料ノ徴收ニ付テモ亦前項ノ例ニ依ル

3 本條ノ異議ハ組合會ノ決定ニ付スヘシ其ノ決定ニ不服アル者ハ第一次監督官廳ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得(大正十五年法律第七十九號改正)

4 組合費其ノ他組合ノ收入ノ滯納處分ニ不服アル者ハ第一次監督官廳ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得(同上)

5 組合費其ノ他組合ノ收入ノ滯納處分中差押物件ノ公賣ハ處分ノ確定ニ至ル迄執行ヲ停止ス

第六十條 組合ハ特定ノ目的ノ爲積立基金ヲ設クルコトヲ得

第六十一條 組合ハ其ノ事業ノ關係上必要アル場合ニ於テハ寄附又ハ補助ヲ爲スコトヲ得  
第六十二條 組合ハ其ノ負債ヲ償還スル爲又ハ組合永久ノ利益トナルヘキ支出ヲ要スル爲又ハ天災事變等ノ爲已ムヲ得サル場合ニ限リ組合債ヲ起スコトヲ得

2 組合債ヲ起スニ付組合會ノ議決ヲ經ルトキハ併セテ起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ニ付議決ヲ經ヘシ

3 組合ハ豫算内ノ支出ヲ爲ス爲本條ノ例ニ依ラス一時ノ借入金ヲ爲スコトヲ得

4 前項ノ借入金ハ其ノ會計年度内ノ收入ヲ以テ償還スヘシ



第六十三條 管理者ハ毎會計年度ノ歲入出豫算ヲ調製シ會計年度前通常組合會ノ議決ニ付スヘシ

2 管理者ハ組合會ノ議決ヲ經テ既定豫算ノ追加又ハ更正ヲ爲スコトヲ得

3 組合ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ同シ

第六十四條 組合費ヲ以テ支辨スル事件ニシテ數年ヲ期シテ施行スヘキモノ又ハ數年ヲ期シテ其ノ費用ヲ支出スヘキモノハ組合會ノ議決ヲ經テ其ノ年期間各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

第六十五條 豫算外ノ支出又ハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲豫備費ヲ設クヘシ

2 豫備費ハ組合會ノ否決シタル費途ニ充ツルコトヲ得ス

第六十六條 豫算ハ議決ヲ經タル後直ニ之ヲ第一次監督官廳ニ報告シ且ツ其ノ要領ヲ告示スヘシ

第六十七條 組合會ニ於テ豫算ヲ議決シタルトキハ管理者ヨリ其ノ謄本ヲ組合ノ會計事務ヲ掌ル官吏吏員ニ交付スヘシ

2 會計事務ヲ掌ル官吏吏員ハ管理者又ハ監督官廳ノ命令アルニ非サレハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス又命令ヲ受クルモ支出ノ豫算ナキトキ又ハ豫備費支出及費目流用其ノ他財務ニ關スル規定ニ依ラサルトキ亦同シ

第六十八條 組合ノ支拂金ニ關スル時効ニ付テハ政府ノ支拂金ノ例ニ依ル

第六十九條 組合ノ出納ハ翌年ノ六月三十日ヲ以テ閉鎖ス

2 決算ハ出納閉鎖後一月以内ニ證書類ヲ併セテ會計事務ヲ掌ル官吏吏員ヨリ之ヲ管理者ニ

提出スヘシ管理者ハ之ヲ審査シ意見ヲ附シテ次ノ通常會迄ニ組合會ノ認定ニ付スヘシ

3 決算及其ノ認定ニ關スル組合會ノ議決ハ之ヲ第一次監督官廳ニ報告シ且決算ハ其ノ要領ヲ告示スヘシ

4 決算ノ認定ニ關スル會議ニ於テハ管理者及其ノ代理者共ニ議長タルコトヲ得ス

### 第六章 組合ノ聯合

第七十一條 水利組合ニ於テ共同事業ヲ爲スノ必要アルトキハ其ノ協議ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ得テ水利組合ノ聯合ヲ設クルコトヲ得

2 水利組合聯合ハ之ヲ法人トス

3 水利組合聯合ニシテ其ノ聯合組合ノ數ヲ増減シ又ハ共同事業ノ變更ヲ爲サムトスルトキハ組合ノ協議ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ其ノ聯合ヲ解カムトスルトキ亦同シ

4 水利組合聯合ニ關シテハ水利組合ニ關スル規定ヲ準用ス其ノ準用シ難キ事項及特ニ必要ナル事項ハ内務大臣ノ許可ヲ得テ府縣知事之ヲ定ム

### 第七章 組合ノ監督

第七十二條 組合ハ第一次ニ於テ府縣知事之ヲ監督シ第二次ニ於テ内務大臣之ヲ監督ス  
(大正十五年法律第七十九號改正)

2 監督官廳ハ組合事務ノ監督上必要ナル命令ヲ發シ處分ヲ爲スコトヲ得



3 上級監督官廳ハ下級監督官廳ノ組合事務ニ關シテ爲シタル命令又ハ處分ヲ停止シ又ハ之ヲ取消スコトヲ得

第七十三條 本法ニ規定スル異議ノ申立又ハ訴願ノ提起ハ處分ヲ爲シ又ハ決定書若ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ其ノ交付ヲ受ケサル者ハ告示ノ日ヨリ十四日以内ニ之ヲ爲スヘシ但シ本法中別ニ期間ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス

2 本法ニ規定スル行政訴願ハ處分ヲ爲シ又ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ其ノ交付ヲ受ケサル者ハ告示ノ日ヨリ二十一日以内ニ之ヲ提起スヘシ

3 本法ニ規定スル異議ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ理由ヲ附シ之ヲ申立人ニ交付スヘシ

4 本法ニ規定スル異議ノ申立ニ關スル期間ノ計算ニ付テハ訴願法ノ規定ニ依ル

5 異議ノ申立アルモ處分ノ執行ハ之ヲ停止セス但シ行政廳ハ其ノ職權ニ依リ又ハ關係者ノ請求ニ依リ必要ト認ムルトキハ之ヲ停止スルコトヲ得

第七十四條 監督官廳ハ必要アル場合ニ於テハ期間ヲ定メテ組合會ノ停會ヲ命スルコトヲ得

第七十五條 內務大臣ハ組合會ノ解散ヲ命スルコトヲ得

2 組合會解散ノ場合ニ於テハ三月以内ニ議員ヲ選舉スヘシ

第七十六條 組合ニ於テ法律勅令ニ依テ負擔シ又ハ當該官廳ノ職權ニ依テ命スル所ノ費用ヲ豫算ニ載セザルトキハ第一次監督官廳ハ理由ヲ示シテ其ノ費用ヲ豫算ニ加フルコトヲ得

2 組合又ハ管理者其ノ他ノ官吏吏員ニ於テ執行スヘキ事件ヲ執行セザルトキハ第一次監督

官廳ニ於テ之ヲ執行スルコトヲ得但シ其ノ費用ハ組合ノ負擔トス

3 本條ノ處分ニ不服アル組合又ハ管理者其ノ他ノ官吏吏員ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得(大正十五年法律第七十九號改正)

第七十七條 組合ニ於テ負債ヲ起シ竝起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ又ハ變更セムトスルトキハ內務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クシ但シ第六十二條第三項ノ借入金ハ此ノ限ニ在ラス

第七十八條 左ニ掲クル事件ハ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

一 組合同規約ヲ設定改正スル事

二 不動産ノ管理及處分ニ關スル事

三 不均一ノ賦課ヲ爲シ又ハ組合内ノ一部ニ對シ特ニ賦課ヲ爲ス事

四 加入金使用料手数料ヲ新設シ増額シ又ハ變更スル事

五 積立基金ノ設置管理及處分ニ關スル事

六 寄附及補助ヲ爲ス事

七 繼續費ヲ定メ又ハ變更スル事

第七十九條 組合ノ事務ニ關シ監督官廳ノ許可ヲ受クヘキ事件ニ付テハ監督官廳ハ許可申請ノ趣旨ニ反セスト認ムル範圍内ニ於テ更正シテ許可ヲ與フルコトヲ得

第八十條 組合ノ事務ニ關シ監督官廳ノ許可ヲ受クヘキ事件中其ノ輕易ナルモノハ命令ノ規定ニ依リ其ノ許可ノ職權ヲ下級監督官廳ニ委任スルコトヲ得



行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責二十五圓以下ノ過怠金及解職トス（大正十五年法律第七十九號改正）

2 府縣知事ノ行ヒタル解職ニ不服アル者ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得（同上）

3 府縣知事ハ吏員ノ解職ヲ行ハムトスル前其ノ停職ヲ命シ且ツ場合ニ依リ給料又ハ報酬ヲ支給セシメサルコトヲ得

4 懲戒ニ依リ解職セラレタル者ハ二年間水利組合ノ公職ニ選舉セラレ又ハ任命セララルコトヲ得ス

第八十二條 組合吏員ノ服務紀律賠償責任身元保證及事務引繼ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

### 第八章 雜 則

第八十三條 本法ノ規定ニ依リ初テ議員ヲ選舉スル場合ニ於テ組合會ノ議決スヘキ事項ハ其ノ成立ニ至ル迄管理者ニ於テ之ヲ行フヘシ

第八十四條 本法ノ規定ニ依リ府縣知事ノ職權ニ屬スル事件ニシテ數府縣ニ涉ルモノアルトキハ關係府縣知事ノ具狀ニ依リ内務大臣ニ於テ其ノ事件ヲ管理スキ府縣知事ヲ指定スヘシ

第八十五條 本法ハ市制町村制ヲ施行セサル地ニハ之ヲ施行セス勅令ヲ以テ別ニ其ノ制定ム

### 附 則

第八十六條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（明治四十一年勅令第九十號ヲ以テ同年十月一日施行）

2 水利組合條例ハ之ヲ廢止ス

第八十七條 本法施行ノ際現ニ存スル水利組合ハ本法ニ依リ設置シタルモノト看做ス

第八十八條 水利組合條例ニ依リ爲シタル諸般ノ行爲ハ仍其ノ效力ヲ有ス

第八十九條 水利組合條例ニ依リ爲シタル處分ニ對スル異議訴願又ハ訴訟ニ關シテハ水利組合條例ニ依ル

第九十條 本法施行ノ際現ニ存スル舊町村會又ハ水利土功會ニシテ其ノ目的トスル事業カ本法ノ規定ニ牴觸セサルトキハ之ヲ本法ノ規定ニ依リ設置シタル水利組合ト看做ス

2 前項ノ場合ニ於テ從來ノ吏員及議員ハ總テノ職ヲ失フモノトス

3 第一項ノ水利組合及其ノ管理者ハ府縣知事ニ於テ直ニ之ヲ告示スヘシ

4 前項ノ告示アリタルトキハ管理者ハ遲滞ナク組合規約ヲ定メ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

附 則 （大正十五年六月法律第七十九號附則）

1 本法ハ郡長廢止ノ日ヨリ之ヲ施行ス

2 本法施行ノ際必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム



### ●水利組合法ニ依リ豫算調製ノ式及費目流用其ノ他 財務ニ關スル件

(沿革) 大正元年十一月内務省令第十號改正

明治四十一年八月三日  
内務省令第十三號

- 水利組合法第七十條ニ依リ豫算調製ノ式及費目流用其ノ他財務ニ關スル件左ノ通り定ム
- 第一條 組合費其ノ他一切ノ收入ヲ歲入トシ一切ノ經費ヲ歲出トシ歲入歲出ハ豫算ニ編入スヘシ
- 第二條 各年度ニ於テ決定シタル歲入ヲ以テ他ノ年度ニ屬スヘキ歲出ニ充ツルコトヲ得
- 第三條 各年度ニ於テ歲計ニ剩餘アルトキハ翌年度ノ歲入ニ編入スヘシ
- 第四條 歲入ノ誤納過納ト爲リタル金額ノ拂戻ハ各之ヲ收入シタル歲入ヨリ支拂フヘシ  
歲出ノ誤拂過渡ト爲リタル金額現金前渡前金拂概算拂繰替拂ノ返納ハ各之ヲ支拂ヒタル  
經費ノ定額ニ戻入スヘシ
- 第五條 出納閉鎖後ノ收入支出ハ之ヲ現年度ノ歲入歲出ト爲スヘシ第四條ノ拂戻金戻入金  
ノ出納閉鎖後ニ係ルモノ亦同シ
- 第六條 繼續費ハ毎年度ノ支拂殘額ヲ繼續年度ノ終リ迄遞次繰越使用スルコトヲ得
- 第七條 歲出豫算ハ經常臨時ノ二部ニ大別シ其ノ各部及歲入豫算ハ之ヲ款項ニ區分シ第一  
號ノ式ニ依リ之ヲ調製スヘシ但シ必要アルトキハ歲入豫算ヲ經常臨時ノ二部ニ大別シ各  
部ヲ更ニ款項ニ區分スルコトヲ得
- 第八條 歲入歲出豫算ヲ提出スルトキハ豫算説明ヲ付スヘシ

第九條 繼續費ノ年期及支出方法ハ第二號ノ式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第十條 豫算ハ會計年度經過後ニ於テ更正又ハ追加ヲ爲スコトヲ得ス

第十一條 豫算ニ定メタル各款ノ金額ハ彼是流用スルコトヲ得ス豫算各項ノ金額ハ組合會  
ノ議決ヲ經テ之ヲ流用スルコトヲ得

第十二條 決算ハ豫算ト同一ノ區分ニ依リ之ヲ調製シ豫算ニ對スル過不足ノ説明ヲ付スヘ  
シ

第十三條 會計年度經過後ニ至リ歲入ニ不足ヲ生シ歲出ニ充ツルニ足ラサルトキハ翌年度  
ノ歲入ヲ繰上ケ之ニ充用スルコトヲ得

第十四條 組合ノ出納ハ毎月例日ヲ定メテ検査シ且毎會計年度少クトモ二回臨時検査ヲ爲  
スヘシ

検査ハ管理者之ヲ爲シ臨時検査ニハ組合會ニ於テ選舉シタル議員二人以上立會ハシムヘ  
シ

第十五條 組合ニ屬スル現金ノ出納及保管ノ爲組合會ノ議決ヲ經テ組合金庫ヲ置クコトヲ  
得

第十六條 金庫事務ノ取扱ヲ爲サシムヘキ銀行ハ組合會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第十七條 金庫事務ノ取扱ヲ爲ス者ハ現金ノ出納保管ニ付責任ヲ有ス

第十八條 金庫事務ノ取扱ヲ爲ス者ハ擔保ヲ組合ニ提出スヘシ其ノ擔保ニ關シテハ第一次  
監督官廳ノ許可ヲ經テ管理者之ヲ定ム

第十九條 管理者ハ組合金庫ヲ監督シ定期及臨時ニ現金帳簿ヲ検査シ又必要ト認ムルトキ



ハ臨機ノ處分ヲ爲スコトヲ得  
 第二十條 本令ニ規定スルモノノ外組合ハ府縣知事ノ認可ヲ得テ必要ナル規定ヲ設クルコトヲ得

(第一號)

昭和何年度某府(縣)某市  
 郡某町村 某普通水利組合  
 水害豫防組合 歲入 歲出 豫算書

第一款 組合費金

第一項 段別割金

但田段別何程一段歩ニ付金何程畑段別何程一段歩ニ付金何程其ノ他準之

第二項 地價割金

但地租額ノ地價百分何程地租壹圓ニ付金何程

第三項 家屋割金

但家屋坪數(又ハ棟數)何程一坪(一棟)ニ付何程

第四項 何々々々金

但

第二款 夫役金

第一項 夫役金

但夫役何人一人ニ付金何程

第三款 現品金

第一項 現品金

但何品何程一箇(一件)ニ付金何程

第四款 財産ヲ生スル收入金

第一項 貸地料金

第二項 小作米金

第三項 貸付金穀利子金

第四項 公債利子金

第五項 何々々々金

第五款 使用料及手數料金

第一項 堤塘使用料金

第二項 用惡水路使用料金

第三項 何使用料金

第四項 何手數料金

第五項 何々々々金

第六款 雜收入金

第一項 不用品賣却代金

第二項 加入金

第三項 何々々々金



第七款 前年度繰越金 金  
 第一項 前年度繰越金 金  
 第八款 補助金 金  
 第一項 國庫補助金 金  
 第二項 府(縣)補助金 金  
 第三項 郡補助金 金  
 第九款 寄附金 金  
 第一項 寄附金 金  
 第十款 組合債金 金  
 第一項 組合債金 金  
 第十一款 何々金 金  
 第一項 何々金 金  
 歲入總計金

歲出

經常部

第一款 管理費 金  
 第一項 給料 金  
 第二項 雜給 金  
 第三款 需用費 金

第四項 何々金 金  
 第二款 會議費 金  
 第一項 會議費 金  
 第三款 事業費 金  
 第一項 用惡水路費 金  
 第二項 樋管費 金  
 第三項 堰埭費 金  
 第四項 排水機費 金  
 第五項 堤防費 金  
 第四款 警備費 金  
 第一項 警備費 金  
 第五款 諸稅及負擔金 金  
 第一項 諸稅 金  
 第二項 負擔金 金  
 第六款 財產費 金  
 第一項 維持費 金  
 第二項 管理費 金  
 第七款 積立基金蓄積金 金  
 第一項 積立基金蓄積金 金







金

昭 and 何年度支出額  
同 何年度支出額

NO

右云々(議決ヲ要スヘキ事業ノ大要ヲ記載ス)

昭 and 何年何月何日提出

某府(縣)某市 郡某町村 某普通水利組合 水害豫防組合 管理者 氏 名 印

某府(縣)某市 郡某町村 某普通水利組合 水害豫防組合 繼續費某費年度割

昭 and 何年度

科	目	豫算額	附記
第一款 某	費	円	
第二項 何	々		
第二項 何	々		

昭 and 何年度

科	目	豫算額	附記
第一款 某	費	円	
第二項 何	々		
第二項 何	々		

### 水利組合會議員ノ資格及組合費賦課ノ資料

#### 調査方ノ件

明治四十年六月七日  
岐阜縣訓令第三十六號

明治二十三年六月法律第四十六號水利組合條例ニ依リ管理者ヨリ其ノ市町村内ニ於ケル組合會議員ノ被選舉權ノ資格及組合費ヲ賦課スヘキ資料等ノ調査ヲ要求シタルトキハ其ノ需メニ應スヘシ

### 水利組合吏員服務紀律

明治四十一年八月三日  
內務省令第十四號

水利組合吏員服務規律ニ關シテハ府縣吏員服務規律ノ規定ヲ準用ス

#### 府縣郡吏員服務紀律

明治三十五年二月十四日  
內務省令第三號

- 第一條 府縣吏員ハ法令ニ從ヒ忠實ニ其ノ職務ヲ盡スヘシ
- 府縣吏員ハ其ノ職務ニ付指揮監督者ノ命令ヲ遵守スヘシ
- 第二條 府縣吏員ハ職務ノ内外ヲ問ハス職權ヲ濫用シ廉耻ヲ破リ其ノ他品位ヲ傷フノ所爲アルヘカラス
- 第三條 府縣吏員ハ總テ公務ニ關スル機密ヲ私ニ漏洩シ又ハ未發ノ事件若ハ文書ヲ私ニ漏洩スルコトヲ得ス其ノ職ヲ退クノ後ニ於テモ亦同シ但シ裁判所ノ召喚ニ依リ職務上ノ秘密ニ付訊問ヲ受ケタル場合ニ於テ指揮監督者ノ許可ヲ得タル事件ニ付テハ此ノ限ニ在ラス



第四條 府縣吏員ハ職務ノ爲出張ヲ命セラレタル場合ヲ除ク外指揮監督者ノ許可ヲ受クルニ非サレハ其ノ職務ノ地ヲ離ルルコトヲ得ス

第五條 府縣吏員ハ其ノ職務ニ關シ直接ト間接トヲ問ハス自己若ハ其ノ他ノモノノ爲ニ贈與其ノ他ノ利益ヲ供給セシムルノ約束ヲ爲スコトヲ得ス

府縣吏員ハ指揮監督者ノ許可ヲ受クルニ非サレハ其ノ職務ニ關シ直接ト間接トヲ問ハス自己若ハ其ノ他ノモノノ爲ニ贈與其ノ他ノ利益ヲ受クルコトヲ得ス

第六條 左ニ掲クル者ト直接ニ關係ノ職務ニ在ル府縣吏員ハ其ノ者又ハ其ノ者ノ爲ニスルモノハ獲燕ヲ受クルコトヲ得ス

一、府縣ノ爲ニ工事又ハ物件調達ノ請負ヲ爲ス者  
二、府縣ニ屬スル金錢ノ出納保管ヲ擔任スル者

三、府縣ヨリ補助金又ハ利益ノ保證ヲ受クル起業者  
四、府縣ト土地物件ノ賣買贈與貸借若ハ交換ノ契約ヲ爲ス者

五、其ノ他府縣ヨリ現ニ利益ヲ得又ハ得ントスル者  
第七條 有給ノ府縣吏員ハ指揮監督者ノ許可ヲ受クルニ非サレハ營業ヲ爲シ若ハ家族ヲシテ營業ヲ爲サシメ又ハ給料若ハ報酬ヲ受クヘキ他ノ事務ヲ行フコトヲ得ス

第八條 本令ニ於テ指揮監督者ト稱スルハ府縣吏員ニ付テハ府縣知事ヲ謂フ

### ●水利組合吏員賠償責任及身元保證令

明治四十一年八月三日  
勅令第九十一號  
大正十五年六月二十四日  
勅令第二百二十號改正

第一條 組合吏員ハ本令ノ定ムル所ニ依リ組合ニ對シ現金、證券又ハ物品ノ亡失又ハ毀損ニ付賠償ノ責任ヲ有ス

第二條 組合ノ會計事務ヲ掌ル吏員其ノ管掌ニ屬スル現金、證券又ハ物品ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ管理者ニ於テ期間ヲ指定シ其ノ賠償ヲ命スヘシ但シ避クヘカラサル事故ニ原因シタルトキ又ハ其ノ亡失若ハ毀損シタル物品組合吏員其ノ他ノ者ノ使用ニ供シタルモノニシテ合規ノ監督ヲ怠ラサル場合ニ在リテハ組合會ノ議決ヲ經テ其ノ賠償ノ責任ヲ免除スヘシ

組合ノ會計事務ヲ掌ル吏員以外ノ吏員ニシテ其ノ執務上必要ナル物品ノ交付ヲ受ケタル者其ノ物品ヲ故意又ハ怠慢ニ因リ亡失又ハ毀損シタルトキハ管理者ニ於テ期間ヲ指定シ其ノ賠償ヲ命スヘシ  
本條管理者ノ處分ニ不服アル吏員ハ第一次監督官廳ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ內務大臣ニ訴願スルコトヲ得

本條ノ訴願ハ命令書又ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ提起スヘシ  
第三條 賠償金ノ徵收ニ關シテハ水利組合法第五十六條第一項、第五十七條及第五十九條第四項第五項ノ例ニ依ル

第四條 組合ノ會計事務ヲ掌ル吏員ニ對シ身元保證ヲ徵スルノ必要アリト認メタルトキハ組合ハ第一次監督官廳ノ許可ヲ得テ其ノ種類、程度其ノ他身元保證ニ關シ必要ナル規定ヲ設クルコトヲ得

附 則



本令ハ明治四十一年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

附 則 (大正十五年六月勅令第二百二十號附則)

本令ハ大正十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

從前ノ規定ニ依リ郡長ニ爲シタル許可ノ申請又ハ訴願ニシテ大正十五年六月三十日迄ニ許可ヲ得ス又ハ裁決ナキモノハ之ヲ府縣知事ニ爲シタル許可ノ申請又ハ訴願ト看做ス從前ノ規定ニ依リ郡長ノ爲シタル裁決ニ關スル訴願ニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ル此ノ場合ニ於テハ訴願ノ提起ハ裁決ヲ爲シタル行政廳ヲ經由スルコトヲ要セス前項ノ訴願ノ裁決ニ對スル訴願ニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ル

### ●水利組合條令施行ノ件

明治三十年十一月一日  
縣告示第二百六號

內務大臣ノ指揮ニ依リ本年十一月一日ヨリ本縣管下ニ水利組合條例ヲ施行ス

### ●水利組合法施行ニ關スル手續

明治四十一年十月九日  
訓令甲第十一號

(郡) 市 役 所  
町 村 役 場  
水利組合管理者

明治四十年(四月)法律第五十號水利組合法施行ニ關スル手續左ノ通定ム

第一條 (郡長)又ハ市町村長ニ於テ水利組合設置ノ必要アリト認ムルトキハ關係市町村長

ノ意見ヲ聞キ其ノ答申書ノ謄本及左記ノ調書ヲ添へ關係(郡長又ハ)市町村長連署ノ上知事ニ具申スヘシ

一、組合ノ種別及名稱

二、組合ノ設置ヲ要スル事由及其ノ目的

三、組合ノ區域及沿革並圖面

四、組合區域内市町村別土地<sup>官有ト民有トニ區分</sup>地目毎ノ段別及地價額

五、同上市町村別戸數及組合員ノ數

六、水害豫防組合費ヲ賦課セントスル工作物アルトキハ其ノ種類及員數

七、一ケ年度經費ノ概算額及組合費賦課ノ方法

八、組合ノ財産トナスヘキモノアラハ其ノ種別及價格

第二條 水利組合法第十一條ニ依リ關係者、總代人ノ集會ヲ以テ總會議ニ充テムトスルノ申請書ニハ總代人選舉方法書ヲ添付スヘシ

第三條 水害豫防組合ニ於テ灌漑排水ニ關スル事業ヲ兼營セシムルノ許可申請書ニハ左記ノ調書ヲ添付スヘシ

一、事業ノ種類及沿革並圖面

二、兼營ヲ要スル事由及其ノ目的

三、兼營ノ爲ニ要スル一ケ年經費ノ概算額及組合費賦課ノ方法

四、事業ニ屬スル財産ノ種別及其ノ價格

第四條 普通水利組合ノ廢置分合又ハ區域變更ノ許可申請書ニハ左記ノ調書ヲ添付スヘシ



但シ廢止ノ場合ハ第四號以下ノ調書ヲ要セス

- 一、廢置分合又ハ區域變更ヲ要スル理由
- 二、組合會議事録又ハ協議錄謄本
- 三、民法上ニ於ケル權利義務ノ關係及其ノ處理方法
- 四、分合又ハ變更ヲ要スル區域及圖書
- 五、同上區域内市町村別土地官有ト民有トニ區分地目毎ノ段別及地價額
- 六、同上區域内戸數及組合員ノ數
- 七、一ケ年經費ノ概算額及組合費賦課ノ方法
- 八、組合財産ノ種別及其ノ價格

新ニ普通水利組合ノ區域へ編入セラルル土地ニ對シテハ前項調書ノ外尙其ノ土地關係者ノ同意又ハ關係者ノ總會議若ハ總代人會ノ同意ヲ證シ得ヘキ書面ヲ添付スヘシ

普通水利組合ノ處置分合又ハ區域變更ノ爲組合規約ノ設定若ハ改正又ハ財産處分ヲ要スルトキハ同時ニ許可ヲ申請スヘシ但シ廢置分合又ハ區域變更ノ許可前ニ議決シ得ヘカラサルモノハ此ノ限ニ在ラス

第五條 水害豫防組合ノ廢置分合又ハ區域ノ變更ヲ要スルトキハ前條第一項(第二號ヲ除ク)ノ調書ヲ添ヘ管理者ヨリ知事ニ具申スヘシ

前項ニ依リ財産處分ヲ要スルトキハ該財産暫ノ處分方法見込書ヲ添付スヘシ

第六條 水利組合ノ事務ニ關シ町村長又ハ水利組合ノ管理者タル町村長ヨリ本縣へ提出スル書面中重要ナルモノニ對シテハ(郡長)意見ヲ副申スヘシ

### ●選舉錄樣式

大正十五年十二月二日  
縣訓令甲第百五十二號

水利組合會議員ノ選舉錄ハ大正十五年六月内務省令第十九號市制町村制施行規則ニ定ムル市町村會議員ノ選舉錄樣式ニ準シ調製スヘシ

選舉錄樣式

昭  
和  
何  
年  
何  
月  
何  
日  
何  
組  
合  
會  
議  
員  
選  
舉  
會  
選  
舉  
錄

一 選舉會場ハ何市役所(何町(村)役場)(何ノ場所)ニ之ヲ設ケタリ

住 所 氏 名

選舉會ヲ開クヘキ時刻ニ至リ選舉立會人中何人參會セサルニ依リ市(町)(村)長ハ臨時ニ選舉人名簿ニ登録セラレタル者ノ中ヨリ左ノ者ヲ選舉立會人ニ選任シタリ

住 所 氏 名

三 選舉會ハ昭和何年何月何日午前(午後)何時ニ之ヲ開キタリ

四 選舉立會人中氏名ハ一旦參會シタルモ午前(午後)何時何々ノ事故ヲ以テ其ノ職ヲ辭シタル爲其ノ定數ヲ闕キタルニ依リ市(町)(村)長ハ臨時ニ選舉人名簿ニ登録セラレタル者ノ中ヨリ午前(午後)何時左ノ者ヲ選舉立會人ニ選任シタリ

住 所 氏 名

選舉立會人中氏名ハ一旦參會シタルモ午前(午後)何時何々ノ事故ヲ以テ其ノ職ヲ辭シタ



ルモ尙選舉立會人ハ二人(三人)在リ其ノ闕員ヲ補フノ必要ナキト認メ其ノ補闕ヲ爲ササル旨ヲ宣言シタリ

五 選舉長ハ選舉立會人ト共ニ投票ニ先チ選舉會ニ參會シタル選舉人ノ面前ニ於テ投票箱ヲ開キ其ノ空虛ナルコトヲ示シタル後内蓋ヲ鎖シ選舉長及選舉立會人ノ列席スル面前ニ之ヲ置キタリ

六 選舉長ハ選舉立會人ノ面前ニ於テ選舉人ヲ選舉人名簿ニ對照シタル後(到着番號札ト引換ニ)投票用紙ヲ交付シタリ

七 選舉人ハ自ら投票ヲ認メ選舉長及選舉立會人ノ面前ニ於テ之ヲ投函シタリ

八 左ノ選舉人ハ選舉人名簿ニ登録セラルヘキ確定裁決書(判決書)ヲ所持シ選舉會場ニ至リタルニ依リ選舉長ハ之ヲシテ投票ヲ爲サシメタリ

住 所 氏 名

九 左ノ選舉人ハ點字ニ依ル投票ヲ爲サントスル旨ヲ申立テタルヲ以テ選舉長ハ投票用紙ニ點字投票ナル旨ノ印ヲ押捺シテ交付シ投票ヲ爲サシメタリ

住 所 氏 名

十 左ノ選舉人ニ對シテハ何々ノ事由ニ因リ選舉立會人ノ決定ヲ以テ(選舉立會人可否同數ナルニ依リ選舉長ノ決定ヲ以テ)投票ヲ拒否シタリ

住 所 氏 名

十一 左ノ選舉人ニ對シテハ何々ノ事由ニ因リ選舉立會人ノ決定ヲ以テ(選舉立會人可否同數ナルニ依リ選舉長ノ決定ヲ以テ)點字投票ヲ拒否シタリ

住 所 氏 名

十二 左ノ選舉人ハ誤リテ投票用紙(封筒)ヲ汚損シタル旨ヲ以テ更ニ之ヲ請求シタルニ依リ其ノ相違ナキヲ認メ之ト引換ニ投票用紙(封筒)ヲ交付シタリ

住 所 氏 名

十三 左ノ選舉人ハ選舉會場ニ於テ演說討論ヲ爲シ(喧擾ニ涉リ)(投票ニ關シ協議ヲ爲シ)(何々ヲ爲シ)選舉會場ノ秩序ヲ紊シタルニ依リ選舉長ニ於テ之ヲ制止シタルモ其ノ命ニ從ハサルヲ以テ投票用紙(到着番號札)ヲ返付セシメ之ヲ選舉會場外ニ退出セシメタリ

住 所 氏 名

十四 選舉長ハ選舉會場外ニ退出ヲ命シタル左ノ選舉人ニ對シ選舉會場ノ秩序ヲ紊スノ虞ナシト認メ投票ヲ爲サシメタリ

住 所 氏 名

選舉長ニ於テ選舉會場外ニ退出ヲ命シタル左ノ選舉人ハ最後ニ入場シテ投票ヲ爲シタリ

住 所 氏 名

十五 午前(午後)何時ニ至リ選舉長ハ投票時間ヲ終リタル旨ヲ告ケ選舉會場ノ入口ヲ鎖シタリ

十六 午前(午後)何時選舉會場ニ在ル選舉人ノ投票終了シタルヲ以テ選舉長ハ選舉立會人ト共ニ投函ノ内蓋ノ投票口及外蓋ヲ鎖シタリ

十七 投票函ヲ閉鎖シタルニ依リ其ノ内蓋ノ鑰ハ左ノ立會人之ヲ保管シ外蓋ノ鑰ハ選舉長之ヲ保管ス



十八 選舉會ニ於テ投票ヲ爲シタル選舉人ノ總數

何 氏  
人 名

内

選舉人名簿ニ登録セラレタル選舉人ニシテ投票ヲ爲シタル者  
確定裁決書(判決書)ニ依リ投票ヲ爲シタル者

何 何  
人 人

投票拒否ノ決定ヲ受ケタル者ノ總數

何 人

十九 各投票分會長ヨリ投票函等左ノ如ク到着セリ

第一(何々)投票分會ノ投票函ハ投票分會長職氏名及投票立會人氏名携帶シ何月日午前  
(午後)何時著之ヲ檢スルニ異狀ナシ

第二(何々)投票分會ノ投票函何々

二十 昭和何年何月何日選舉長ハ(總テ)投票函ノ送致ヲ受ケタルヲ以テ其ノ當日(翌日)  
午前(午後)何時ヨリ開票ヲ開始シタリ

二十一 選舉長ハ選舉立會人立會ノ上逐次投票函ヲ開キ投票ノ總數ト投票人ノ總數トヲ計  
算シタルニ左ノ如シ

投票總數

何 票

投票人總數

何 人

外

假ニ爲シタル投票數

何 票

假ニ爲シタル投票人數

何 人

投票總數ト投票人總數ト符合ス(投票總數ト投票人總數ト符合セス即チ投票總數ニ比シ  
何票多シ(少シ)(其ノ理由ノ明カナルモノハ之ヲ記載スヘシ)

二十二 投票分會ニ於テ拒否ノ決定ヲ受ケタル者ニシテ假ニ投票ヲ爲シタル者左ノ如シ

住 所 氏 名  
住 所 氏 名

選舉長ハ右ノ投票ヲ調査シ選舉立會人左ノ通り之ヲ決定シタリ(選舉長ハ右ノ投票ヲ調  
査シ選舉立會人ノ決定ニ付シタルニ可否同數ナルニ依リ選舉長左ノ通之ヲ決定シタリ)

受理セシモノ

事由何々

住 所 氏 名

事由何々

住 所 氏 名

受理セサリシモノ

事由何々

住 所 氏 名

二十三 選舉長ハ(假ニ爲シタル投票ニシテ投票受理スヘキモノト決定シタル投票ノ封筒  
ヲ開披シタル上)總テノ投票ヲ混同シ選舉立會人ト共ニ之ヲ点檢シタリ

二十四 選舉事務ニ従事スル職氏名及職氏名ノ二人ハ各別ニ同一被選舉人ノ得票數ヲ計算  
シタリ

二十五 有效又ハ無効ト決定シタル投票左ノ如シ

(一) 選舉立會人ニ於テ決定シタル投票數

何 票



内

- 一 有效ト決定シルモノ
- 一 無效ト決定シルモノ

何 何  
票 票

内

- 一 成規ノ用紙ヲ用ヒサルモノ
- 二 現ニ組合會議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シルモノ
- 三、、、、、

何 何 何  
票 票 票

(二) 選舉立會人ノ決定ニ付シタルニ可否同數ナルニ依リ選舉長ニ於テ決定シタル投票數

内

- 一 有效ト決定シタルモノ
- 一 無效ト決定シタルモノ

何 何  
票 票

内

- 一 成規ノ用紙ヲ用ヒサルモノ
- 二 現ニ組合會議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シルモノ
- 三、、、、、

何 何 何  
票 票 票

(三) 投票總數

内

- 一 有效ト決定シタルモノ

何  
票

内

- 一 無效ト決定シタルモノ
- 一 成規ノ用紙ヲ用ヒサルモノ
- 二 現ニ組合會議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シルモノ
- 三、、、、、

何 何 何 何  
票 票 票 票

二十六 午前(午後)何時投票ノ点檢ヲ終リタルヲ以テ選舉長ハ各被選舉人ノ得票數ヲ朗讀シタリ

二十七 各被選舉人ノ得票數左ノ如シ

何 何 氏 氏  
票 票 名 名

二十八 選舉長ハ点檢済ニ係ル投票ノ有效無效及受理スヘカラスト決定シタル投票ヲ大別シ尙有效ノ決定アリタル投票ニ在リテハ得票者毎ニ之ヲ區別シ無効ノ決定アリタル投票ニ在リテハ之ヲ類別シ各之ヲ一括シ更ニ有效無効及受理スヘカラスト決定シタル投票別ニ之ヲ封筒ニ入レ選舉立會人ト共ニ封印ヲ施シタリ

二十九 選舉長ハ選舉立會人立會ノ上逐次開票分會長ノ報告ヲ調査シ自ラ開票ヲ行ヒタル部分ニ付各被選舉人ノ得票數ヲ朗讀シタル後開票分會毎ニ各被選舉人ノ得票數ヲ朗讀シ終リニ各被選舉人ノ得票數ヲ朗讀シタリ

三十 開票分會長ノ報告ノ結果ト選舉會ニ於テ爲シタル点檢ノ結果ト併セタル各被選舉人ノ得票總數左ノ如シ



何 票 何 氏 名  
 何 票 何 氏 名  
 右ノ内有效投票ノ最多數ヲ得タル左ノ何人ヲ以テ當選者トス

但シ氏名及氏名ハ得票ノ數相同シキニ依リ其ノ年齢ヲ調査スルニ氏名ハ何年何月何日生、氏名ハ何年何月何日生ニシテ氏名年長者ナルヲ以テ氏名ヲ以テ當選者ト定メタリ  
 (同年月日ナルヲ以テ選舉長ニ於テ抽籤シタルニ氏名當選セリ依テ氏名ヲ以テ當選者ト定メタリ)

三十一 午前(午後)何時選舉事務ヲ結了シタリ  
 三十二 左ノ者ハ選舉會ノ事務ニ從事シタリ

三十三 選舉會ニ臨監シル官吏左ノ如シ  
 職 氏 名  
 職 氏 名

選舉長ハ此ノ選舉錄ヲ作り之ヲ朗讀シタル上選舉立會人ト共ニ茲ニ署名ス

昭和何年何月何日  
 選舉長  
 何府(縣)何市(何郡何町(村))長 氏 名

選舉立會人

氏 名  
 氏 名

備考

一、様式ニ掲クル事項ノ外選舉長ニ於テ選舉ニ關シ緊要ト認ムル事項アルトキハ之ヲ記載スヘシ

●水利組合法第八十條ニ依ル命令ノ件

(大正元年十一月二十七日) 改(大正九年四月勅令第九號、  
 勅令第五十號) 正(十五年六月同第二百十九號)

第一條 水利組合ノ事務ニ關シ主務大臣ノ許可ヲ要スル事項中左ニ掲クルモノハ府縣知事  
 之ヲ許可スヘシ

- 一 退隱料、退職給與金、死亡給與金、遺族扶助料及其ノ支給方法ニ關スル事
- 二 借入ノ翌年度ニ於テ償還スル負債ニ關スル事但シ借入金ヲ以テ償還スルモノニ付テハ此ノ限ニアラス
- 三 急施ヲ要スル災害復舊工事費ニ充ツル爲借入ルル償還期限三年以内ノ負債ニ關スル事(大正九年四月十七日勅令第九號追加)
- 四 府縣【郡】ノ基金ヨリ借入ルル負債ニ關スル事(同上)

附 則  
 本令ハ大正二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス



附 則 (大正十五年六月勅令第二百十九號附則)

四六

- 1 本令ハ大正十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 2 従前ノ規定ニ依リ郡長ニ爲シタル許可ノ申請ニシテ大正十五年六月三十日迄ニ許可ヲ得サルモノハ之ヲ府縣知事ニ爲シタル許可ノ申請ト看做ス

●水利組合豫算編成ニ關スル件

明治四十三年十二月七日  
岐阜縣内務部長通牒

郡市町村水利組合豫算ノ金額ハ圓位ニ止ムル方便利ト存候條明治四十四年度豫算ヨリ左記標準ニ依リ御取扱可相成依命此段及通牒候

記

- 一 豫算ニ掲上スル金額ハ各目ニ於テ圓位未滿ノ端數ヲ切捨テ圓位ニ止ムルモノトス
- 一 繼續費ニシテ既定ノ年度割額ニ圓位未滿ノ端數アルモノハ之ヲ切捨テ圓位ニ止ムルモノトス
- 一 一定ノ換算率ニ依リ算定ヲ要スルモノ及契約其他ノ事由ニ依リ定額ノ支出ヲ要スルモノ等ニシテ圓位未滿ノ端數切捨ノ爲實際不足ヲ生スルモノハ之ヲ切上ケ圓位ニ止ムルモノトス但シ此ノ場合ニ在リテハ其ノ事由ヲ豫算説明書或ハ備考ニ記載ヲ要ス

●土木工事取締規則

大正十一年七月五日  
縣令第三十五號

第一條 公共ノ利害ニ關係アル施設物ニシテ左ニ掲クルモノ、新築、改築、修繕、浚渫、變更、廢止若ハ除却ヲ爲サムトスル者ハ法令ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外本則ニ依

リ知事ノ許可ヲ受クヘシ

- 一、道路、橋梁、河川、堤防、制水、護岸、運河、溝渠、除桁、揚水機、排水機、鑿泉  
(水量毎秒一立方尺以上ノモノ) 樋管、閘門、堰埭、溜池
- 二、河川溝渠、溜池等ヨリ引水、揚水又ハ之ニ注水若ハ遮斷シ或ハ之ニ流入又ハ是等ヨリ流出スル水ノ状態ヲ阻害スル施設物
- 三、河川、堤防、溝渠、溜池等ノ施設物又ハ敷地ニ固着シ若ハ其ノ床下ニ於テ施設スル工作物
- 四、河川、堤防ヲ横過シテ施設スル工作物

第二條 前條ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ願書ニ左ノ事項ヲ記載シタル書類及圖面ヲ添付スヘシ

- 一、目的、名稱、事由
- 二、施設物名
- 三、着手、竣工豫定年月日
- 四、設計書及圖面(設計書ニハ工事ノ種類、位置、工法、材料及員數工費ヲ記シ圖面ニハ工事施行ノ區域及附近ノ狀況ヲ示シタル實測平面圖、斷面圖並施設物ノ構造圖)但シ輕易ナル工事ノ圖面ハ平面見取圖ノミニテ妨ケナシ
- 五、敷地、潰地ハ一筆限リ郡、市、町、村、大字、地番、地目、臺帳面段別(三斜ヲ記入シタル千分ノ一ノ實測平面圖)及潰地トナルヘキ段別
- 六、公共團體ノ出願ニ於テハ其ノ議會ノ決議書寫



第三條 許可ヲ受ケタル者工事ニ着手セムトスルトキハ着手前ニ竣工シタルトキハ直ニ其ノ旨知事ニ届出テ竣功検査ヲ受クヘシ

第四條 天災其ノ他不可抗力ノ事故ニ因リ期間内ニ工事ニ着手又ハ竣工スルコト能ハサルトキハ出願ニ依リ相當ノ延期ヲ許可スルコトアルヘシ

第五條 許可ヲ受ケタル事項ヲ變更セムトスルトキハ更ニ知事ノ許可ヲ受クヘシ工事着手前事業ヲ廢止シタルトキハ許可書ヲ添ヘ其ノ旨知事ニ届出スヘシ

第六條 工事施行中又ハ工事竣功後ニ於テ他ニ障害ヲ及ホシ又ハ及ホサムトスル虞アリト認ムルトキハ知事ハ許可ヲ受ケタル者ヲシテ其ノ障害ヲ除却セシメ又ハ之ヲ豫防スル爲ニ必要ナル設備ヲナサシメ若ハ既設工作物ノ改築、變更又ハ除却ヲ命スルコトアルヘシ

第七條 知事ニ於テ公益上必要アリト認ムルトキハ前條ノ外更ニ必要ナル命令ヲ發シ又ハ既ニ發シタル命令ヲ變更スルコトアルヘシ

第八條 左ノ場合ニ於テハ許可ヲ取消スコトアルヘシ  
一、期間内ニ工事ニ着手セス又ハ竣功ノ見込ナシト認メタルトキ

二、本則又ハ許可ノ條件若ハ本則ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキ

三、詐欺ノ手段ニ依リ許可ヲ受ケタルトキ

四、工事施行ノ方法適當ナラサルトキ

五、公益上必要アリト認メタルトキ

第九條 許可ヲ受ケスシテ施行シタル工事又ハ前條ニ依リ許可ヲ取消サレタル作業ハ原狀ニ復舊スヘシ

前項ノ場合ニ於テ原狀ヲ失ヒタルトキハ知事ノ命スル所ニ依ルヘシ

第十條 本則又ハ本則ニ基キテ發スル命令ノ義務ヲ履行セス若ハ履行ノ方法適當ナラスト認ムルトキハ知事ハ義務者ニ代ツテ之ヲ執行シ又ハ第三者ヲシテ代テ之ヲ執行セシムルコトアルヘシ

前項ノ費用ハ許可ヲ受ケタル者若ハ前條ニ依リ原狀ニ復舊ノ命ヲ受ケタル者ノ負擔トス

第十一條 本則ニ依リ與ヘタル許可ニ依リテ生スル權利義務ハ知事ノ許可ヲ受クルニアラサレハ之ヲ他人ニ移スコトヲ得ス

第十二條 數人共同シテ許可ヲ受ケタルトキハ許可ニ因リテ生スル義務ハ連帶シテ之ヲ負擔スヘシ

第十三條 本則又ハ本則ニ基キテ發スル命令ニ依リ知事ノ爲シタル處分ノ爲ニ損害ヲ被ムルコトアルモ之カ賠償ヲ請求スルコトヲ得ス

第十四條 工事竣功後ノ維持ハ特別ノ規定又ハ慣習アルモノヲ除クノ外許可ヲ受ケタル者ノ負擔トス

第十五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五拾圓以下ノ罰金又ハ拘留若ハ科料ニ處ス  
一、第一條ノ規定ニ違反シタル者

二、第五條前段ノ規定ニ違反シタル者

三、第八條第三號ノ規定ニ該當スル者

四、本則ニ違反スル行爲ヲ教唆若ハ幫助シタル者

前項ノ規定ハ未成年者ノ違反行爲ニ對シテハ之ヲ法定代理人ニ適用シ法人ノ代表者其ノ



他ノ從業者ノ違反行爲ニ對シテハ之ヲ法人ニ適用ス但シ法人ヲ處罰スヘキ場合ハ其ノ代表者ヲ以テ被告人トス

第十六條 本則ニ依リ知事ニ提出スヘキ願、届書ハ所轄町村役場、市役所、支廳ヲ經由スヘシ

附 則

第十七條 本則ハ大正十一年七月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第十八條 本則施行前ニ許可ヲ受ケタル工事ハ本則ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス  
明治二十四年(即)縣令第二十七號明治二十八年(即)縣令第四十五號ハ本則施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

●土木工事取締規則ニ據リ提出スル

願書ニ關スル件

大正十一年九月十二日  
土第七八七〇號通牒

內務部長ヨリ各(郡)市長宛

本年七月五日縣令第三五號ヲ以テ公布相成候標記ノ件ニ關シテハ爾今右願書ニ該取締規則第一條ニ據リ許可ヲ受ケタキ旨記載セシメ進達相成度此段通牒候也

●堰埭竝水路設置ニ關スル書類進達方ノ件

大正十二年六月十二日  
土第三〇二三號通牒

內務部長ヨリ各(郡長)宛

水車運轉ノ爲メ之カ引水設備出願書類ハ客年七月縣令第三五號土木工事取締規則第二條ニ

依ルヘキモノニ有之候處近來進達書類中往々規定要項ノ具備ヲ缺キ爲メニ往復ヲ重ネ處理上支障不尠候ニ付爾來該規定ニ依リ書類ノ具備ヲ爲サシムルハ勿論尙左記事項ニ付充分調査ヲ遂ケ進達相成度此段及通牒候

追テ河川法施行竝同法準用河川ニ於ケル此種工事ハ工事取締規則ニ依ラサルモ書類ハ本件同様ノ取扱トシ本文ノ趣旨ニ依ルコト御了知相成度

記

一、堰埭竝溝渠新設(變更)願書 一通

二、川敷(又ハ溝渠)使用願書正副二通提出スルコト

一、堰埭竝溝渠(新設又ハ變更)工事設計書 一通

一、左記圖面添付ノコト

イ、工事施行ノ位置竝附近ノ景況ヲ示シタル實測平面圖又ハ陸地測量部圖

ロ、地番、地目、字界ヲ記入シタル字圖寫ニ堰埭及水車竝水路位置記載ノコト

ハ、施設物ノ構造圖、堰埭設置個所ニ於ケル河川橫斷圖(兩岸ニ堤防アル個所ハ堤防迄

堤防ナキ個所ハ少クトモ兩岸高水位ノ達スル位置迄、川底、平水位、洪水位及堰埭位置ヲ明示ノコト)

一、水路敷地一筆限潰地調書(所有者記載)添付ノコト

一、水路敷地ノ地主ハ願人ナルヤ賃貸借地ナルヤ願書ニ明記シ賃貸借地ナルトキハ地主ノ承諾書ヲ添付セシムルコト

一、堰埭設置ノ流域ニ於テ木材川下及魚簇湖上ノ有無若シヤトスレハ夫ニ對スル除害ノ設



備方法

- 一、隣地其ノ他利害關係者ノ有無若シアリトスレハ其ノ承諾書（承諾ヲ爲ササルトキハ其ノ理由書）
- 一、地元町村長ノ意見書添付ノコト
- 一、用悪水路ヨリ取水シ若ハ之ニ放水スルモノハ該水路管理者ノ承諾書添付ノコト
- 一、使用水量ノ有效落差、理論馬力數

●縣稅土木費支辨規則

（明治三十二年三月二十日縣令第十號）

（沿革） 明治三十五年三月縣令第一九號、大正三年三月同第一二號、大正八年十二月同第五三號、大正九年三月同第二〇號、大正十年五月同第一九號改正

第一條 道路法及河川法ニ依リ縣ノ負擔ニ屬スルモノノ外左ニ掲タル工事ノ費用ハ縣費ヲ以テ之ヲ支辨ス

- 一、長良川堤防 左岸武儀郡安曾野村大字曾代 右岸同 郡同 村大字安毛 以下河川法施行區域ニ至ル區間
- 二、砂 防

第二條 積雪留ノ道路ノ附屬物トシ制水、護岸ハ堤防ノ一部トス

第三條 堤防工事ヲ施行スルトキハ市町村若ハ水利組合ヲシテ一年度ヲ通シ地元ノ地價百圓ニ付金貳拾五錢ヲ納付セシム但シ其ノ納付金額ハ豫定工費ノ半額ヲ限リトス

前項ノ地元ハ堤防工事施行地ノ大字（大字ナキトキハ市町村）トシ地價ハ前年度一月一日ノ現在額ニ據ル

第四條 洪水防禦ノ費用ハ縣稅ヲ以テ支辨セス

第五條 左ノ場合ニ於テハ第三條ヲ適用セサルコトアルヘシ

- 一、非常災害ニ基ク復舊工事
- 二、利害ノ關係重大ナル改良工事
- 三、地元ノ利害ニ關係少ナシト認ムル工事

第六條 此ノ規則ハ明治三十二年四月一日ヨリ施行ス從前ノ令達ニシテ此規則ニ抵觸スルモノハ此規則施行ノ日ヨリ廢止ス

●土木費補助規則

大正十一年三月二十八日縣令第十一號

（沿革） 明治三十二年三月縣令第十一號、大正十五年四月縣令第二三號、同年七月同第八九號改正

第一條 公共團體（市町村及其ノ他ノ公共團體）ノ負擔ニ屬スル土木費ニ對シテハ他ニ規定アル場合ヲ除クノ外本則ニ依リ縣費豫算ノ範圍内ニ於テ其ノ工事費ノ一部ヲ補助スルコトアルヘシ

- 第二條 前條ニ依リ補助スヘキ工事費左ノ如シ
- 一、道路ノ新設、改築工事費
  - 二、橋梁ノ新設、架換、修繕工事費
  - 三、河川又ハ堤防、水制、護岸ノ新築、改築、増築、浚渫、工事費
  - 四、樋門（河川ノ堤防ニ設置スルモノ）ノ新設、改築工事費
  - 五、樋門（前號ノ樋門ヲ除ク）用悪水路、溜池、常設堰埭揚水機、排水機ノ新設、改築工事費



六、砂防工事費

第三條 前條第一號及第二號ニ依ル補助ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ限ル

一、主要ナル道路、橋梁ノ新設、改築、架換ニ在リテハ幅員二間以上ニシテ勾配及屈曲部中心線ノ半徑耐荷重等ハ道路構造令ニ適合スルモノ

二、副員九尺以上ニシテ其ノ他前號ニ同シキモノ

三、橋梁ノ修繕ニ在リテハ其ノ幅員九尺以上ニシテ其ノ他ノ構造ハ道路構造令ニ準スルモノ

第四條 左ノ各號ニ該當スルモノニ付テハ縣費ヨリ補助セス

一、一箇所ノ工事費五百圓未滿ノモノ

二、堤防工事ニ要スル敷地竝地上物件移轉補償金

三、利害ノ關係小ナリト認ムル工事

第五條 補助金ハ工事費(縣ノ査定額)ニ對シ左ノ率ニ依リ之ヲ定ム

一、第三條第一號ノ工事 工事費ノ十分ノ六以内

二、第三條第二號及第三號ノ工事 工事費ノ十分ノ五以内

三、一等河川ニ於ケル第二條第三號ノ工事 工事費ノ十分ノ六以内

四、二等河川ニ於ケル第二條第三號ノ工事 工事費ノ十分ノ四以内

五、第二條第五號ノ工事 工事費ノ十分ノ二、五以内

六、第二條第六號ノ工事 工事費ノ十分ノ六以内

七、第二條第四號ノ工事 工事費ノ十分ノ四以内

前項ノ補助金ハ工事費精算ノ結果其ノ精算額カ査定額ヲ超過スル場合ハ査定額ニ依リ之ヲ定メ査定額ヨリ減少スル場合ハ精算額ニ依リ之ヲ定ム

本條第一項河川ノ等級ハ別ニ之ヲ公示ス

第六條 左ニ掲クルモノハ第五條ノ工事費ヨリ之ヲ控除ス

一、當該土木補助工事ニ對シ特定ノ受益者ヨリ供給若ハ寄附スル勞力、物件、金員

二、當該土木工事ニ對スル補助金

三、道路法第三十九條及第四十一條ニ依ル負擔金

前項ノ勞力及物件ハ時價ニ換算ス

第七條 本則ニ依リ縣費ノ補助ヲ受ケントスル公共團體ハ著大工事(工事費金千圓以上ノモノ)ニ在リテ

ハ前々年度中著大ニ非サルモノニ在リテハ前年度中ニ又急破工事ニ在リテハ其ノ事項ノ

生シタル日ヨリ三十日以内ニ申請書(第一號樣式)ヲ知事ニ差出スヘシ

前項ノ申請書ニハ左ノ圖書類ヲ添付スヘシ

一、工事設計書

設計書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

(イ) 工事計畫ノ要領

(ロ) 道路ハ長幅(有效幅員ニ非ラ)最急勾配最小曲線ノ半徑ノ新舊比較(實際ノ幅員)

(ハ) 橋梁ハ橋梁經間ノ長、幅、橋脚數ノ新舊比較及應力計算

(ニ) 河川堤防ハ長、幅、馬踏敷巾、高、洪水位、平水位

(ホ) 工事材料、人夫工事費算出ノ基礎等一切



- (へ) 其ノ他參考トナルヘキ事項
- 二、本則第六條ニ依リ控除スヘキモノノ種別調査
  - 三、工事費ニ對スル財源調査
  - 四、關係議會ノ議決書寫
  - 五、道路、橋梁ノ新設、改築ニアリテハ道路法規定ニ依ル監督官廳ノ認可指令寫及新設ノ場合ハ路線認定並ニ道路區域ノ告示寫
  - 六、用地並地上物件調査
  - 七、工事箇所ヲ表示シタル陸地測量部發行五萬分一圖
  - 八、工事箇所ノ實測平面圖縮尺千二百分一以上
  - 九、工事箇所ノ縱斷面圖縮尺高二百分一以上距離千二百一以上(洪水水位及平水位ヲ示ス)
  - 十、工事箇所横斷面圖縮尺二百分一以上(洪水水位及平水位ヲ示ス)
  - 十一、施設物ノ構造圖縮尺適宜
- 輕易ナル工事ニ付テハ前項中第九號及第十號ノ圖面ヲ省略スルコトヲ得
- 第八條 工事ハ指定ノ期限内ニ竣功スヘシ
  - 第九條 工事ニ着手セントスルトキハ三日以前ニ知事ニ届出(第二號様式)ツヘシ
  - 第十條 本則ニ依リ補助ノ指令ヲ受ケタル工事ハ知事ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ設計ヲ變更スルコトヲ得ス之ヲ變更セムトスルトキハ新舊ノ設計書ヲ添付シ其ノ事由ヲ記シ知事ニ申請(第三號様式)スヘシ
  - 第十一條 天災其ノ他不可抗力ニ因ル事故ノ爲指定ノ期限内ニ竣功スルコト能ハサルトキ

- ハ期限内ニ之カ延期ヲ知事ニ申請(第四號様式)スヘシ
- 前項ノ申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
- 一、期限内ニ竣功シ能ハサル事由
  - 二、延期申請當時ノ出來歩合
  - 三、現場ニ集メタル材料ノ種別、數量
- 第十二條 工事場ニハ設計書ヲ備へ且ツ係員出頭工事ヲ監督スヘシ
  - 第十三條 工事竣功シタルトキハ直ニ知事ニ届出(第五號様式)検査ヲ受クヘシ
  - 第十四條 工事中又ハ竣功検査ノ際工事施行方法設計書ニ違ヒ又ハ工事不完全ナリト認めルトキハ期日ヲ定メ全部又ハ一部ノ改築ヲ爲サシムル事アルヘシ
- 検査ノ爲メ必要ト認めルトキハ工事ノ幾分ヲ取毀タシムルコトアルヘシ
- 前二項ニ基キ要スル費用ニ對シテハ補助金若ハ補償金ヲ交付セス
- 第十五條 竣功検査前天災、地變其ノ他不可抗力ニ因リ損害ヲ受ケタル場合其ノ部分ノ工事完全ニ施行シタルトキハ其ノ出來形ヲ認定シ相當ノ補助金ヲ交付スルコトアルヘシ
  - 第十六條 工事廢止ノ必要ヲ生シタルトキハ知事ニ届出(第六號様式)ツヘシ
- 前項ノ場合ニ於テ其ノ部分工事完全ニ施行シタルトキハ其ノ出來形ヲ認定シ相當ノ補助金ヲ交付スルコトアルヘシ
- 第十七條 竣功検査ヲ受ケタルトキハ十日以内ニ補助金ノ請求書(第七號様式)ヲ知事ニ差出スヘシ
  - 第十八條 補助金ハ竣功検査後ニ於テ交付スルモノトス但シ補助金額千圓以上ニシテ工事



出來形五分以上ニ達シタルトキハ其ノ工事費ニ對スル補助金ノ十分ノ八以内ノ内渡ヲ爲スコトアルヘシ

前項但書ニ依ル補助金ノ交付ヲ受ケムトスルトキハ請求書(第八號様式)ヲ知事ニ差出スヘシ

第十九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ補助ヲ取消シ又ハ停止シ若ハ交付シタル

補助金ノ一部若ハ全部ノ返還ヲ命スルコトアルヘシ

一、工事ヲ中止シ又ハ廢止シタルトキ

二、指定ノ期間内ニ工事ノ竣功ノ見込ナシト認メタルトキ又ハ竣功セサルトキ

三、本則又ハ本則ニ依リ發スル命令ニ違反シタルトキ

四、不正ノ所爲ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタルトキ

五、本縣土木工事取締規則ニ違反シタルトキ

第二十條 本則ニ依リ差出スヘキ書類ハ所轄支廳ヲ經由スヘシ

第二十一條 非常災害ニ因ル工事費ノ補助ニ付テハ第二條、第三條、第四條、第一號及第

五條ノ補助率ヲ適用セサルコトアルヘシ

附 則

第二十二條 本則ハ大正十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二十三條 本則施行前補助ノ指令ヲ受ケタルモノハ本則ニ依リ之ヲ受ケタルモノト看做

ス

第二十四條 郡制ノ廢止ニ因リ郡道ヲ町村道ニ認定シタル道路橋梁ニ關シ縣費ノ補助ヲ受

ケントスル公共團體ノ申請ハ大正十二年度ニ限り本則第七條ノ出願期限ヲ大正十二年五月三十一日迄トス

第一號様式

土木費補助ノ件申請

施行箇所

何都市町村大字、字、市道何路線(何川通)又ハ何々

工事種類

施行ヲ要スル理由

工事總額

金何

補助申請額

金何

市町村(公共團體)負擔額

金何

右ノ通ニ候間工事施行ノ義御許可ノ上縣費ヨリ御補助相成度何會ノ決議ヲ經土木費補助規則及土木工事取締規則ニ依リ此段申請候也

年月日



知事宛

市町村長（公共團體管理者）

氏

名 印

第二號様式

着 手 届

工事番號、土第番號

何郡市町村大字

一、何々工事

此工費 金何程

右工事何年何月何日ヨリ着手致スヘク候ニ付此段及御届候也

年 月 日

市町村長（公共團體管理者）

氏

名 印

知事宛

第三號様式

工事變更ノ件申請

工事番號、土第番號

一、何々工事  
何郡市町村大字 市道 何路線（河川通）又ハ何々

工 費 金 前設計工費金 何 程 （朱書）  
變更設計工費金 何 程 （墨書）

補 助 金 前補助金 何 程 （朱書）  
變更補助金 何 程 （墨書）

負 擔 金 前負擔金 何 程 （朱書）  
變更負擔金 何 程 （墨書）

設計變更ヲ要スル理由（新舊ノ設計書添附スルコト）

右ノ通ニ候間工事變更施行ノ件御許可（認可）相成度此段及申請候也

年 月 日

市町村長（公共團體管理者）

氏

名 印

知事宛

第四號様式

工事竣功期日延期ノ件申請

工事番號、土第番號



何郡市町村大字

一、何々工事

一、竣功シ能ハサル事由

一、申請當時ノ出来歩合

一、現場ニ集メタル材料ノ種別、數量

右工事何年何月何日迄竣功期日延期ノ義御許可(認可)相成度此段及申請候也

年月日

市町村長(公共團體管理者)

氏

名

印

知事宛

第五號様式

工事竣功届

工第 號、土第 號

何郡市町村大字地内

何々路線(河川通)又ハ何々

一、何々工事

此工事費金何程

右工事昭和何年何月何日竣功候ニ付此段及御届候也

年月日

市町村長(公共團體管理者)

氏

名

印

知事宛

前記ノ工事精算額ハ金何程ニ相違無之候也

年月日

市町村長(公共團體管理者)

氏

名

印

第六號様式

工事廢止ノ件届

工第 號、土第 號

何郡市町村大字何々路線

一、何々工事

此工費金何程

工事廢止ノ理由

右工事廢止致度候ニ付此段及御届候也

年月日

市町村長(公共團體管理者)



知事宛

氏 名 印

第七號樣式

請 求 書

工第 號、土第 號、竣功月日

工 事 費 何 程

工 事 精 算 金 何 程

縣 費 補 助 金 何 程

市 町 村 (公 共 團 體) 何 程

一 金 何 程 收 入 役 何 某 渡

但シ何郡市町村地内何路線河川通道路堤防護岸修繕工事縣費補助金竣功ニ付全額  
右金員御渡相成度候也

年 月 日

市町村長 (公共團體管理者)

氏 名 印

知事宛

第八號樣式

請 求 書

工第 號、土第 號、竣功月日

工 事 費 金 何 程

工 事 精 算 金 何 程

縣 費 補 助 金 何 程

市 町 村 (公 共 團 體) 費 金 何 程

金 何 程 收 入 役 何 某 渡

但何郡市町村地内何路線河川通道路堤防護岸修繕工事縣費補助金竣功ニ付出來形何  
分ノ八歩金 (外何程年月日領收濟)  
右金員御渡相成度候也

年 月 日

市町村長 (公共團體管理者)

氏 名 印

知事宛

● 土木補助規則施行細則

明治三十二年三月二十五日訓令第三十號

(沿革)

明治三十九年三月訓令第一二號、同年七月訓令第四九號、同年九月訓令第五九號、同年十一月訓令第七

二號、大正二年二月訓令甲第五號、同四年一月訓令第三號、大正九年三月訓令第一六號、大正十年十月

訓令第三七號改正



第一條 郡市町村若クハ公共組合ノ土木費ニ對シ縣費ノ補助ヲ請ハントスルトキハ設計書及圖面ヲ添ヘ第一號様式ニ據リ二通ヲ作り知事ヘ申請スヘシ  
前項ノ申請書ハ新設若ハ改築ノ著大工事ニ就テハ前々年度中ニ著大ニアラサルモノ及修繕工事ニ就テハ前年度二月末日迄ニ急破工事ニ就テハ事故ノ生シタル日ヨリ三十日以内ニ差出スヘシ

前項ノ著大工事ハ申請補助金千圓以上ノモノトス

第二條 前條ノ設計書ハ第二號様式ニ據ルヘシ

第三條 補助ヲ申請シタル個所ニハ第三號様式ニ據リ標札ヲ建置クヘシ

第四條 破堤ノ區域ヲ増大ナラシメサル爲又ハ破堤後浸水ヲ抑止スル爲メ臨時ニ要スル費用ハ洪水防禦ノ費用トス

第五條 規則第六條ノ道路ハ幅員九尺以上ヲ有スルモノ及九尺以上ニ改築又ハ變更スルモノニ限ル

第六條 郡市町村公共組合負擔ノ費用ハ規則第十條ノ場合ニハ相互通算スルモノトス

第七條 適當ノ注意ヲ缺キタルカ爲メニ生セシ破損ニ對スル費用ハ縣費ヨリ補助セサルモノトス

第八條 知事ハ主務官吏吏員ヲ派遣シ補助工事ヲ監督セシムルコトアルヘシ

第八條ノ二 工事ニ着手セントスルトキハ着手ノ日ヨリ七日以前ニ第三號ノ二様式ニ依リ其ノ旨届出ヘシ

第九條 天災其ノ他不可抗力ニ因ル事故ノ爲指定ノ期限ニ竣功スルコト能ハサル場合ニ限リ相當ノ延期ヲ許可スルコトアルヘシ

第十條 延期ノ申請書ニハ左ノ事項ヲ記スヘシ

一、竣功シ能ハサル事由

二、申請當時ノ出來歩合

三、現場ニ集メタル材料ノ數

第十一條 工場ニハ設計書ヲ備ヘ且ツ掛員ヲ差出シ置クヘシ

第十二條 主務官吏、吏員ニ於テ設計書ニ違ヒタルモノト認ムルトキハ日時ヲ期シ改造修補ヲ命スルコトアルヘシ

第十三條 水利交通其ノ他ノ必要ニ依リ設計ノ變更ヲ命スル場合ニハ補助金額ヲ増減シ工事ノ中止ヲ命スル場合ニハ知事ハ損害ノ責ニ任セス工事ノ廢止ヲ命スル場合ニハ其ノ出來形ヲ認定シテ相當ノ補助ヲナスモノトス

第十四條 設計ヲ變更スルノ必要ヲ生シタルトキハ新舊ノ設計書ヲ添付シ其ノ事由ヲ明記シタル申請書二通ヲ差出スヘシ

第十五條 工事竣功シタルトキハ第四號様式ニ届出検査ヲ受クヘシ

第十六條 工事廢止ノ必要ヲ生シタルトキハ其ノ事由ヲ明記シテ許可ヲ請フヘシ

前項許可ノ場合ニハ其ノ出來形ヲ認定シテ幾分ノ補助ヲナスコトアルヘシ



天災其ノ他抗拒スヘカラサル事由ノ爲流亡又ハ崩潰シタル工事ニ付テハ前項ヲ適用スルコトアルヘシ

第十七條 左ノ場合ニ於テハ補助ノ許可ヲ取消スコトアルヘシ

- 一、第十二條第十三條ノ命令ニ違背シタルトキ
- 二、相當期間ニ着手セス相當材料ヲ備ヘス又ハ相當職工人夫ヲ使用セス事業緩慢ニ涉リテ指定ノ期間ニ竣功セス若ハ竣功シ難キト認メタルトキ

補助ノ許可ヲ取消シタル場合ニハ前條第二項ヲ適用スルコトアルヘシ

第十八條 補助金ハ工事竣功検査済ノ後ニ於テ下付スルモノトス但シ補助金額百圓以上ニシテ工事出来ノ歩合カ郡市町村若ハ公共組合負擔ノ金額ニ相當以上ト認ムルトキ其ノ以上ノ分ニ對シ八分以内渡金ヲナスコトアルヘシ

前項補助金ノ下付ヲ請求セントスルトキハ第五號様式ノ請求書ヲ差出スヘシ

(第一號様式)

土木費補助ノ件申請

施行 個 所

何郡市町村ヨリ何郡市町村ニ至ル何路線ノ何郡市町村大字字(何川通郡市町村字)(郡市町村大字)

工事ノ種類

工費總額

金何 程

施行ヲ要スル事由

關係區域

何郡市町村、何々組合

關係區域ノ地價

金何 程

補助金申請額

金何 程

郡市町村(公共組合)負擔額

金何 程

右ノ通ニ候間縣費ヨリ御補助相成度何會ノ決議ヲ經テ此段申請候也

年 月 日

郡市町村長(公共組合管理者)

備考

第一條第二項ニ依ル著大工事ノ申請書ニハ負擔額ニ對スル詳細ナル財源調査ヲ添付スヘシ

(第二號様式)

何 村







設第 號

何郡市、町、村大字

一、何々工事

此工事費金何 程

右工事何年何月何日竣功候ニ付及御届候也

年 月 日

郡市町村長(公共組合管理者)

前記ノ工事費精算額ハ金何程ニ相違無之候也

年 月 日

郡市町村(公共組合管理者)

知事宛

(第五號様式)

請 求 書

工事費金何 程 (内二第何號)

工事費精算金何程

内 譯 縣費補助金何 程

郡市町村(公共組合)費金何 程

一金何 程 收入役 何 某渡

但何郡市町村地内河川通堤防護岸(何々)修繕工事縣費補助金竣功ニ付全額(出來形何分ノ八歩金)(外金何程年月日領收濟)

右金員御渡相成度候也

年 月 日

郡市町村長(公共組合管理者)

知事宛

備考

一、請求書ニハ收入役ノ印鑑ヲ一葉添付スヘシ

二、領收書ハ請求書ニ倣ヒ調製出納吏宛ニスヘシ

三、(削除)

●樋管工事設計ニ關スル件

(大正十一年四月十八日土第ニ六二九號通牒)

内務部長ヨリ各郡長宛

樋管新築改築修繕工事ニ就テハ漸次改良シ其堅牢ヲ期スルト雖モ浸水漏水等多クアリテ樋管ハ堤防破壊若ハ河水浸入ノ一原因ト見做サルルハ甚タ遺憾トス之畢竟施工法ノ適當ナラサルコトモ主タル原因ニ有之候間將來主要樋管ハ別紙ノ方法ニ依ル防水壁ヲ設クルニ非サレハ補助ノ詮議相成ラサルコトニ決定候間右ニ依リ施行候様關係組合及町村へ洩レナク御指示相成度此段及通牒候也

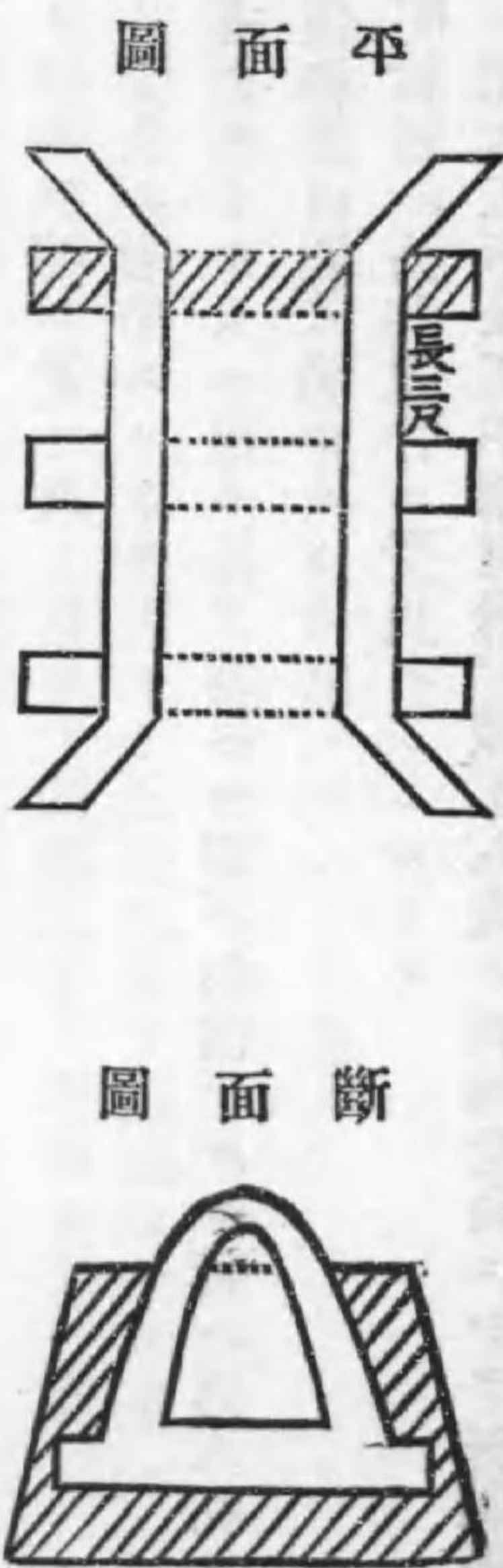
樋管工事施行方法注意事項

一、樋管工事ハ之ヲ大別シテ基礎軀体埋返工事ノ三種トシ之カ施行ニハ假締切堤堀割水替作業等ヲ必要トス現今右施行方法ノ實際ヲ見ルニ起工期一般ニ遲滞シ出水時期ノ切迫



セルニ際シ漸ク起工スルモノアリ假締切工事ノ不充分ナルモノアリ水替作業準備ノ不充分ナルモノアリ基礎工事ノ不完全ナルモノアリ特ニ埋返シ工事ノ不完全ナルハ比々皆然ラサルハナシ蓋シ基礎及軀体工事中ハ起業者及關係者ニ於テ相當注意スルモ埋戻工事ニ至ル時ハ注意頓ニ弛緩シ監督ヲ怠リ工事粗雜ニ流レ甚シキニ至リテハ受負人ニ一任シテ願ミサルカ如キモノアリ元來樋管工事ハ基礎軀体工事ノ重要ナルハ勿論ナリト雖モ埋戻工事モ亦重要ナル最終工事ニシテ之カ完全ナルト否トハ樋管全体ノ強弱ニ關係スル事大ナルヲ以テ特ニ注意セサルヘカララス今縣下ニ於ケル樋管破損ノ狀況ヲ調査スルニ概ネ左ノ如シ

- 一、出水ノ際河川水位昇騰シ水壓増加ノ爲メ基礎工事礫層部ヲ浸透シ土層部ヲ浸蝕シ爲メニ基礎弛緩シテ漸次破損ノ原因ヲ成スコト
  - 二、基礎工事不完全ナル爲メ軀体工ニ龜裂又ハ傾斜ヲ生スルコト
  - 三、埋戻搗固工ノ不充分ナル爲メ土層沈下シ軀体工トノ接觸面ニ間隙ヲ生シ滲透ノ原因トナルコト
  - 四、門扉ニ狂ヲ生シ開閉圓滑ナラサルニ至ルコト
- 前記破損ノ原因ハ基礎、軀体、埋戻三工事中何レカニ缺点アルコトハ勿論ナリ依テ之ヲ改良スル爲メ左ノ工法ニ依ルモノトス
- 一、軀体ノ前部、中部、後部ノ三ヶ所ニ防水壁ヲ設クルコト



(イ) 防水壁樋管ノ幅十二尺ノモノニアリテハ厚サ二尺以上長三尺以上トシ下部ハ礫層下面以下二尺以上トシ上部ハ側壁上面迄トス

(ハ)(ロ) 防水壁ハ軀体工ト同時ニ軀体ヨリ混凝土ニテ造リ出スコト

(ニ) 防水壁ヲ粘土ニテ造ルトキハ長六尺以上厚サ二寸以上ノ矢板ヲ用ヒ間隔三尺ヲ置キテ打チ込ミ其間ニ粘質ニ富メル土ヲ填充スルコト主トシテ木造樋管ニ使用ノコト

(ホ) 防水壁ハ水ノ浸透ヲ豫防スルト同時ニ軀体ノ沈下又ハ傾斜防止ノ目的ナルヲ以テ軀体ト同一物体トナル様構造スルコト

(ホ) 防水壁ノ寸法ハ堤防竝ニ樋管ノ大小及ヒ土質ノ硬軟ニ應シテ定ムルコト

二、基礎工事ハ軟弱ナル地盤ニ在リテハ地形杭、礫混凝土層ヲ用ユルハ從前ノ通ナリト雖モ礫層ノ間隙ニハ小砂利及ヒ砂ヲ入念ニ填充シ毫モ間隙ナカラシムルコト

三、埋戻工事ハ軀体ノ周圍ニ粘質ニ富メル土ヲ卷キ若シ乾燥ニ失スル時ハ適量ノ水分ヲ撒布シ層一尺毎ニ入念ニ搗キ固ムルコト



四、埋戻土中ニハ草根竹、木其他腐蝕シ易キ物質ヲ混入スヘカラス

一、樋管工事記工並ニ竣功期日

樋管工事ハ十月末日迄ニ工事ノ準備ヲナシ十一月初旬工事ニ着手シ遅クトモ翌年二月末日迄ニ竣功セシムルコト

一、假締切工事ハ工事期間同季節中ニ於ケル既往最高水位ヨリ二尺高以上トスルコト

### ●土木受負規則

明治三十一年九月三十日縣告示第二百九十六號

(沿革) 明治二十七年三月告示第三十四號、明治三十二年四月告示第一一八號、同年七月告示第一八四號、同三

十六年七月同第一五六號、大正二年五月告示第一六〇號、同五年九月縣告示第二四七號改正

第一條 土木工事及工用材料職工人夫ノ受負ハ此ノ規則ニ據ル

第二條 土木工事及工用材料職工人夫ヲ受負ハシメントスルトキハ公告シテ競争入札ニ付ス但シ左ノ場合ニ於テハ隨意契約ヲ以テスルコトアルヘシ

一、急施ヲ要スルトキ

二、特別ノ技術ヲ要スルトキ

三、既定ノ受負ニ附帶スルトキ

四、入札者ナキトキ又ハ再入札ヲ爲スモ尙不相當ナルカ若ハ再入札ヲ不利ト認ムルトキ

五、豫定價格參百圓未滿ナルトキ

六、郡市町村若ハ公共組合ニ受負ハシムルトキ

第二條ノ二 土木工事及工用材料、職工人夫ノ供給受負ニシテ無制限ノ競争入札ニ付ス

ルヲ不利ト認メタルトキハ指名競争ニ付スルコトアルヘシ此ノ場合ニ於テハ一般ノ公告ヲ爲サス

第三條 左ニ掲クル者ハ競争入札ニ加ハルコトヲ得ス

一、本縣ト締結シタル土木受負ニ關シ會テ訴訟ヲナシタル者

二、第二十條ノ處分ヲ受ケ其ノ月ヨリ滿壹箇年ヲ經過セサル者

三、第四十條ノ處分ヲ受ケ其ノ月ヨリ滿貳箇年ヲ經過セサル者

第四條 一ノ受負ニ就テ二人以上共同ノ受負ヲ許サス

第五條 時宜ニ依リ入札者ノ資格ヲ定ムルコトアルヘシ

第六條 入札公告ハ左ノ事項ヲ郡市役所若ハ町村役場ニ揭示シ又ハ新聞紙ヲ以テ公告ス但シ再入札ハ此ノ限ニアラス

一、工事箇所又ハ材料職工人夫ノ員數

二、仕様書又ハ注文ヲ示ス場所

三、入札執行ノ場所日時

四、入札者ノ資格ヲ定ムルトキハ其ノ資格

第七條 入札者ハ第一號書式ニ依リタル入札書ニ保證金ヲ封緘添付スヘシ但シ保證金ハ岐阜縣會計規則第三十四條ニ依ルヘシ

第八條 入札者ハ入札場ニ備ヘ付タル仕様書又ハ注文書ヲ熟覽シタルコトヲ證スル爲メ該書ノ末尾ニ記名調印スルモノトス

第九條 入札書ヲ差出シタル後ハ之カ變更又ハ取消ヲ許サス



第十條 入札者ハ開札ニ立會スルコトヲ得

第十一條 入札金額最低ノ者ヲ以テ落札人ト定ム但シ金額不相當ト認ムルトキ又ハ落札人其ノ場ニ於テ受負ヲ辭スルトキハ豫定價格ノ制限ニ達シタル入札ニ就キ順次札ヲ以テ落札者ヲ定メ若ハ即時再入札ニ付ス

落札トナルヘキ入札者二人以上アルトキハ立會人ヲシテ抽籤セシメ落札人ヲ定ム立會人ナキトキハ主務官吏之ヲ行フ

第十二條 一ノ受負ニ就キ同時ニ二個所以上ニ於テ入札ヲ執行スルコトアルヘシ

第十三條 入札者ハ書留郵便ヲ以テ差出スコトヲ得此ノ場合ニ於ケル入札保證金ハ岐阜縣會計規則第三十四條ニ依ル有價證券ニ限ル

第十四條 入札ノ執行ハ時宜ニ依リ中止スルコトアルヘシ

第十五條 左ノ一ニ當ル入札書ハ無効トス

- 一、第八條ニ依リ記名調印セサル者ノ入札書
- 二、仕様書又ハ注文書ノ番號入札金額若ハ入札者ノ住所氏名ノ認印シ難キモノ
- 三、入札書記載ノ金額ヲ増減シタル箇所若ハ名ノ下ニ押印ナキモノ
- 四、書留ニアラサル郵便入札書
- 五、貳人以上連名セシモノ
- 六、金高ヲ明記セサルモノ
- 七、入札保證金指定ノ額ニ達セサルモノ
- 八、二口以上合記シ又ハ一口ノ内譯金額ヲ記載シタルモノ

九、郵便入札ノ場合ニ於ケル入札保證金ニシテ第十三條ノ規定ニ依ラサルモノ

第十六條 落札人定マリタルトキハ主務官吏ヨリ直ニ口頭ヲ以テ報告シ特ニ本人ヘ達セス但シ郵便ヲ以テ差出シタル入札人落札シタルトキハ入札場ニ之ヲ揭示ス

第十七條 入札保證金ハ落札人決定ノ後還付ス但落札人ノ入札保證金ハ受負契約締結ノ後ニアラサレハ還付セス

第十八條 落札人ハ落札決定ノ日ヨリ五日以内ニ第二號書式ノ受負契約證書ヲ差出スヘシ但シ隨意契約ニテ受負ハシムル場合ニ於テ受負金貳拾圓未滿ノモノニ對シテハ見積書ヲ以テ契約書ニ代用セシムルコトアルヘシ

受負保證金ハ岐阜縣會計規則第三十四條ニ依リ納付スヘシ

但シ其ノ納付スヘキ期日及場所ハ別ニ之ヲ指定ス

第十九條 郡市町村若ハ公共組合ヲシテ受負ハシムル場合及豫定金額五拾圓未滿ノ受負ハ受負保證金ヲ免除スルコトアルヘシ

第二十條 左ノ一ニ當ルトキハ入札保證金ヲ縣ノ所得トス

一、落札人受負ヲ辭シタルトキ

二、落札人第十八條第一項又ハ第二項ノ手續ヲ履行セサルトキ

第二十一條 受負人ハ工事施行方ニ關シ總テ監督者ノ指揮ニ從フヘシ

第二十二條 受負人ハ監督者ノ許諾ヲ受クルニアラサレハ夜業ヲ爲スコトヲ得ス

第二十三條 受負人ハ毎日工場ニ出頭スルモノトス事故アルトキハ代理人ヲ定メ連署届出ツヘシ



監督者ニ於テ前項代理人ヲ不適當ト認ムルトキハ日時ヲ期シテ交換ヲ命スヘシ

第二十四條 受給人ハ受負事業ノ全部若ハ一部ヲ他人ニ讓渡スコトヲ得ス

第二十五條 工所用材料ハ監督者ノ検査ヲ經ルニアラサレハ使用スルコトヲ得ス

第二十六條 受給人ハ監督者ニ於テ不適當ト認メタル職工人夫ヲ使役スルコトヲ得ス

第二十七條 受給人ハ仕様書中誤謬アリト認メタルトキト雖モ監督者ノ指揮ヲ受クルニアラサレハ斷行スルコトヲ得ス

前項ニ背キタルトキハ改造ヲ命スルコトアルヘシ之カ爲ニ要スル費用ハ總テ受給人ノ負擔トス

第二十八條 竣功後其ノ適否ヲ判知シ得サル工事ハ着手ノ際監督者ノ臨檢ヲ受クヘシ前項ニ背キタルトキハ監督者ニ於テ其ノ適否ヲ判知シ得ヘキ方法ヲ行ハシムルコトアルヘシ之カ爲ニ要スル費用ハ總テ受給人ノ負擔トス

第二十九條 工事受負ニ於テハ竣功検査前又材料受負ニ於テハ受渡前ニ係ル損害ハ總テ受給人ノ負擔トス但縣廳ニ於テ非常天災其ノ他避クヘカラサル事故ノ爲ニ生シタルモノト認ムルトキハ其ノ幾分ヲ補給スルコトアルヘシ

第三十條 工事施行中他ニ損害ヲ與ヘタルトキハ受給人ニ於テ賠償ノ責ニ任スルモノトス

第三十一條 工事ノ廢止又ハ仕様ノ全部變更ヲ要スルトキ若ハ材料職工人夫ノ供給ヲ要セサルニ至リタルトキ其ノ受負ヲ解除シ受負保證金ヲ還附ス之カ爲ニ生スル損害アルモ賠償セス

已ニ着手セシ工事ハ縣廳ニ於テ認定シタル出來形ニ對シ材料ハ受渡濟職工人夫ハ使役濟

ノモノニ限り其ノ代價ヲ拂渡スモノトス

第三十二條 仕様書又ハ注文書ヲ増減變更セントスルトキハ更ニ其ノ部分ニ對スル仕様書又ハ注文書ヲ下附ス此ノ場合ニ於テハ其ノ日ヨリ三日以内ニ第三號書式ニ依リ受負變更契約證書ヲ差出スヘシ但シ受負日數ノ伸縮及保證金ノ増減ハ縣廳ノ定ムル所ニ依ルヘシ受給人ニ之ヲ肯セサルトキハ前條ニ準シ處分ス

第三十三條 必要ト認ムル場合ニ於テハ工事施行又ハ材料職工人夫供給ノ中止ヲ命スルコトアルヘシ之カ爲ニ生スル損害アルモ賠償セス

前項中止日數約期限ノ十分ノ三以上ニ渉ルヘキトキハ受給人ハ契約ノ解除ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第三十一條ニ準シ處分ス

中止ヲ解ク場合ニ於テ契約期限ハ縣廳ノ定ムル所ニ依ル

第三十四條 工事竣功シタルトキハ受給人ハ監督者ヲ經由シテ竣功届書ヲ差出スヘシ

第三十五條 工事竣功シタルトキハ主務官吏之ヲ検査ス受給人ハ竣功検査證ノ交附ヲ求めルコトヲ得工事竣功検査ハ受給人ヲシテ立會セシム受給人立會セサルトキハ検査ノ結果ニ對シ異議ヲ申立ツルコトヲ得ス

材料ノ受渡ハ第一項第二項ニ準ス

第三十六條 竣功検査上必要ト認ムルトキハ既成工事ノ幾分ヲ取毀タシムルコトアルヘシ之カ爲ニ要スル費用ハ總テ受給人ノ負擔トス

第三十七條 仕様書ニ違ヒ若ハ工事粗惡ト認ムルトキハ主務官吏ニ於テ日時ヲ期シ改造修補ヲ命シ之カ爲ニ要スル費用ハ總テ受給人ノ負擔トス



第三十八條 工事全體ニ對シ出來形十分ノ三以上ナルトキハ其ノ十分ノ八以内ヲ標準トシ  
 受負金ノ内渡シヲ爲スコトアルヘシ但シ出來形ノ認定ハ竣功検査ニ關係ナキモノトス  
 材料職工人夫ノ受負ハ前項ニ準ス

第三十九條 受負人契約期限内ニ工事ヲ竣功スルコト能ハス又ハ材料職工人夫ヲ供給スル  
 コト能ハサル爲メ其ノ期限内ニ延期ヲ出願スルトキハ許可スルコトアルヘシ此ノ場合ニ  
 於テハ契約期限外ノ日數ニ對シ一日ニ付受負金額ノ十分ノ三ヲ違約金トシテ受負金額ヨ  
 リ減殺ス但シ非常天災其ノ他避クヘカラサル事故ノ爲メニ生シタルモノト縣廳ニ於テ認  
 ムル日數ニ對シテハ之ヲ減免スルコトアルヘシ

前項ニ依リ延期許可日限中ハ非常天災其ノ他避クヘカラサル事故ノ爲メニ生シタル損害  
 アルモ第二十九條但書ヲ適用セス但シ前項但書ニ依リ違約金減免ノ處分ヲ受ケタルモノ  
 ハ此ノ限ニアラス

必要ト認ムル場合ニ於テハ契約ニ定ムル竣功又ハ供給期日外ニ若干ノ日數ニ對シテ本條  
 第一項ヲ適用セスシテ延期スルコトアルヘシ

第四十條 左ノ一ニ當ルトキハ受負契約ヲ解除シ受負保證金ヲ縣ノ所得トス但シ此ノ場合  
 ニ於テハ前條ヲ適用セス

一、受負人契約ノ解除ヲ請フトキ

二、受負人第二十一條第二十二條第二十五條及第二十六條ニ違背シタルトキ

三、受負人第二十三條第二十七條第二十八條第二項第三十三條第一項第三十六條  
 及第三十七條ノ命令ニ從ハサルトキ

四、期限内ニ工事竣功セス又ハ材料職工人夫ノ供給ヲ終ラサルトキ

五、相當材料ヲ備ヘス又ハ相當職工人夫ヲ使役セス其ノ他事業緩慢ニ涉リ期限内ニ竣功  
 シ難シト縣廳ニ於テ認メタルトキ

前項ノ處分ヲ爲シタルトキハ契約履行地ノ市役所又ハ町村役場ニ其ノ旨ヲ揭示シ本人ヘ  
 通達ノ手續ヲ爲サス

第四十一條 前條ニ依リ契約ヲ解除シタルトキハ工事ハ縣廳ニ於テ認定シタル出來形ニ對  
 シ材料ハ受渡濟職工人夫ハ使役濟ノモノニ限り其ノ代價ノ十分ノ八ヲ拂渡スモノトス

第四十二條 第三十二條ニ依リ受負金ヲ増減スルトキ又ハ第三十一條第二項及第四十一條  
 ニ依リ拂渡スヘキ代價ハ縣廳ノ定ムル單價ヲ以テ計算スルモノトス

第四十三條 郡市町村若ハ公共組合ニ工事ノ受負ヲ爲サシムル場合ニ於テハ該受負金額ハ  
 縣廳ノ定ムル所ニ依ル但受負金額ニテ不足ヲ生スル場合ニハ市町村費又ハ公共組合費ヲ  
 以テ補足竣功スルモノトス

前項ノ場合ニ於テハ仕様書下附ノ日ヨリ十五日以内ニ第二號書式ノ受負契約証書ヲ差出  
 スヘシ之ヲ差出ササルトキハ該受負ヲ無効トス

第四十四條 損料ヲ以テ工事ノ受負ヲ爲サシムル場合ニ於テハ竣功検査済ノ上受負金ノ半  
 額ヲ拂渡シ取拂ノ後殘半額ヲ拂渡スモノトス但シ一工事ニ付帶シテ受負ヲ爲サシムルモ  
 ノハ此ノ限ニアラス

取拂期日前工事ノ亡失又ハ毀損ヲ生シタルトキハ主務官吏ニ於テ日時ヲ期シ原形ノ通修  
 補ヲ命スヘシ之カ爲ニ要スル費用ハ受負人ノ負擔トス



受負人前項ニ違背シタルトキハ仕拂殘工費ノ全部若ハ一部ノ拂渡ヲ爲サス但シ受負保證金ノ全部若ハ一部ヲ縣ノ所得トスルコトアルヘシ

材料ヲ損料ニテ受負ヲ爲サシムル場合ニ於テモ第一項第二項第三項ニ準ス

第四十五條 第五條ニ依リ入札者ノ資格ヲ定メタル場合ニ於テ落札人無資格タリシトキハ該落札ヲ無効トシ且入札保證金ヲ縣ノ所得トス

前項受負契約證書差出後ニ在テハ該契約ヲ無効トシ且契約保證金ヲ縣ノ所得トス但既成部分ニ對シテハ第四十一條ニ準シ處分ス

(第一號書式)

入札書

一、仕様書又ハ注文書 第何號

此ノ受負金何圓也

右金額ニテ受負可致候也

年月日

何府(縣)何郡(市)町(村)大字何々何番戸

氏名印

縣知事宛

郵便入札ノ場合ニハ左ノ通封皮ニ記載スヘシ

表

何々(入札執行ノ場所)

岐阜縣土木受負入札執行官 御中

仕様書又ハ注文書 第何號

裏

印封

何府(縣)何郡(市)町(村)大字何々

氏名

(第二號書式)

受負契約證書

印紙

一、受負金額 金何圓也

内譯

縣稅

金何圓也

郡市町村若ハ公共組合費

金何圓也



一、契約保證金 金何圓也

但現金若ハ無記名何々公債證書額面何程何圓券何枚

何號何番

契約保證金免除

一、工事施行方法

工事出來 別冊仕様書通  
竣功期日 何年何月何日

材料職工人夫供給方法

供給物件種類數量及場所又  
供給職工人夫員數及場所

別冊注文書通

供給期日

何年何月何日

右ノ通受負契約致候就テハ明治三十一年(丑)岐阜縣告示第二百九十六號土木受負規則ヲ遵守スルコトヲ承諾ス依テ證據トシテ本證書差出置候也

年月日

何府(縣)何郡(市)町(村)大字何々何番戸

氏

名

印

(何會管理者)

氏

名

印

縣知事宛

郡市町村若ハ公共組合ノ受負ニハ括弧内ノ文字ヲ記載スヘシ  
仕様書又  
ハ注文書 謄本添付本紙ニ掛ケ繼印スヘシ

(第三號書式)

受負契約變更證書



一、受負金額 増加若ハ減少 金何圓也

内 譯

縣 稅

金何圓也

郡市町村若  
ハ公共組合

金何圓也

一、契約保證金 増加若ハ減少 金何圓也

但シ現金若ハ無記名何々公債證書額面何程何圓券 何枚

何號何番

一、何年何月何日契約受負金何圓ニ對スル 工事若ハ材ノ内  
料職工人夫

別冊 仕様書若  
ハ注文書

通變更ニ付前顯受負金額及契約保證金額 増加若  
ハ減少

一、竣功者ハ 竣功期日 何年何月何日ト定ム

一、前項ノ外總テ何年何月何日受負契約證書ノ條項ヲ更メス

右ノ通受負契約變更ノ議承諾ス依テ證據トシテ本證書差出置候也

年月日



何府(縣)何郡(市)町(村)大字何々番戸

氏 名 印

(何會管理者)

何郡(市)町(村)長 氏 名 印

縣知事宛

郡市町村若ハ公共組合ノ受負ニハ括弧内ノ文字ヲ記載スヘシ  
仕様書又 謄本添付本紙ニ掛ケ繼印スヘシ  
ハ注文書



昭和二年八月十七日印刷  
昭和二年八月廿二日發行

岐阜市司町稻葉郡事務所内

發行所 岐阜市 稲葉郡 用排水普通水利組合

岐阜市室町二〇番地

印刷人 武 藤 貞 一

岐阜市室町二〇番地

印刷所 武 藤 印刷所

電話一三八九番



終